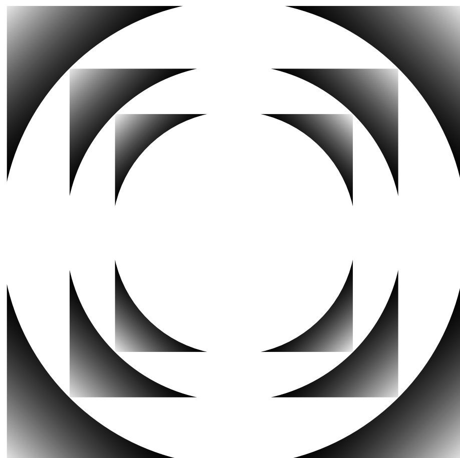
Nikon

Jp

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX5700

クールピクス5700



使用説明書

COOLPIX5700 (Jp)

操作の流れと簡単参照ガイド

カメラの準備をする

撮影前の準備をする	▶ 撮影前の準備	13
カメラの各機能をセットアップする	▶ SET-UP メニュー	117

撮影する

オートで撮影する	▶ 簡単な撮影	22
好みの設定にして撮影する	▶ 撮影機能の詳細	45

再生する

撮影しながら確認する ...	▶ 簡単な再生	31
撮影後まとめて再生する ...	▶ 再生機能の詳細	77

... 削除する

画像の記録中に削除する	▶ 記録中の画像の削除	62
撮影しながら削除する	▶ 簡単な再生	33、34
再生しながら削除する	▶ 再生機能の詳細	78、80
まとめて削除する	▶ 再生メニュー：削除	143

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールする	▶ クイックスタートガイド（付属）
Nikon View を使用する	▶ Nikon View リファレンスマニュアル（CD-ROM）（付属）

撮影した画像を楽しむ

パソコンに接続する	▶ パソコンに転送する	36
撮影した画像をテレビで見る	▶ テレビで見る	44

COOLPIX5700 のマニュアルについて
クールピクス

COOLPIX5700には次の説明書が付属しています。製品をご使用になる前にこれらの説明書をよくお読みいただき、内容をご理解のうえ、正しくお使いください。

クイックスタートガイド
クイックスタートガイドは、COOLPIX5700での撮影・再生から、撮影した画像をパソコンに転送するまでの基本操作をステップごとに簡単に紹介しています。

使用説明書（本説明書）
COOLPIX5700の操作方法と撮影した画像の活用方法について、簡単な操作から応用まで順を追って詳しく説明しています。

Nikon View リファレンスマニュアル（CD-ROM）
COOLPIX5700には、Nikon Viewリファレンスマニュアルが付属しています。Nikon Viewの内容については、リファレンスマニュアルおよび本書の「パソコンに転送する」をご覧ください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

	△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）


分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。


接触禁止


すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電池、電源を抜いて、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターに修理を依頼してください。


電池を取る

すぐに修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。
電池を抜いて、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターに修理を依頼してください。


水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。


使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。


見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。


発光禁止

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。


発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。


保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。


警告

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。


警告

指定の電池または専用 AC アダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。


使用禁止

AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注 意（カメラについて）


感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。


保管注意

製品は、幼児の手の届かないところに置くこと

ケガの原因になることがあります。


保管注意

使用しないときは、レンズにキャップをつけるか、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。


移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。


使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。


禁止

長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。


プラグを抜く

ACアダプタで使用されている場合には、ACアダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。


禁止

本機器や AC アダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。


放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 警告（リチウム電池について）

 禁止	電池を火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 分解禁止	電池をショート、分解しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 警告	電池に表示された警告・注意を守ること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 警告	使用説明書に表示された電池を使用すること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 水かけ禁止	水につけたり、ぬらさないこと 液もれ、発熱の原因となります。
 保管注意	電池は幼児の手の届かない所に置くこと 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
 禁止	充電式電池以外は充電しないこと 液もれ、発熱の原因となります。
 警告	電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠ 危険（専用リチウムイオン充電池について）


禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。


分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。


危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。


危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。


使用禁止

リチャージャブルバッテリー EN-EL1 は、ニコンデジタルカメラ専用の充電式電池で、COOLPIX5700に対応しています。EN-EL1に対応していない機器には使用しないこと。

液もれ、発熱の原因となります。

⚠ 警告（専用リチウムイオン充電池について）


保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。


水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。


警告

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。


警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となります。


警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

ご確認ください

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

● DCF について

COOLPIX5700 は、Design rule for Camera File system（DCF）に準拠しています。DCF は、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（コンバータレンズ、スピードライト、バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプタなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

・ 他社製品との組み合せ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶パネルに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源スイッチをOFFにして電池を入れ直し、電源スイッチをONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますと電池が熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、いったんカメラから取りはずして再度カメラに取り付け、電源スイッチをONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは、失われるおそれがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにお問い合わせください。

目次

ご使用になる前に

この章は次の３部で構成されています。

はじめに
この使用説明書の構成と使用しているマークについて説明しています。

各部の名称と機能
カメラの各部の名称と機能を説明しています。

撮影前の準備
カメラをご使用になる前に、準備する内容を説明しています。

ステップ１	ストラップを取り付けます	13
ステップ２	バッテリーを入れます	14～16
ステップ３	コンパクトフラッシュカードを入れます	17～18
ステップ４	日付と時刻を設定します	19～20

はじめに

このたびはニコンデジタルカメラCOOLPIX5700をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラCOOLPIX5700で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

この使用説明書は、基本操作から応用操作へと順を追って下記のように構成されています。

「ご使用になる前に」では、この使用説明書で使用しているマーク、カメラ各部の名称と機能などを説明しています。

「基本操作」では、COOLPIX5700の基本的な撮影・再生方法を紹介しています。デジタルカメラを初めてお使いになる方でも、ここを順にお読みいただければ、手軽に撮影をお楽しみいただけます。

「撮影した画像の楽しみ方」では、パソコンに画像を取り込んだり、テレビに映したりするなど、撮影した画像の簡単な楽しみ方を紹介しています。

「撮影機能の詳細」では、撮影に関する詳細な機能について説明しています。

「再生機能の詳細」では、画像の再生に関する詳細な機能について説明しています。

「メニュー画面」では、カメラのさまざまな設定ができるメニュー画面について説明しています。

「付録」では、カメラのお手入れ方法や別売アクセサリー、トラブル発生時の対処法などについて説明しています。

本文中のマークについて

この使用説明書では以下のマークを使用しています。

	カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。		カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。
	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。		関連情報を記載した参照ページを記載しています。



カスタマーサポート

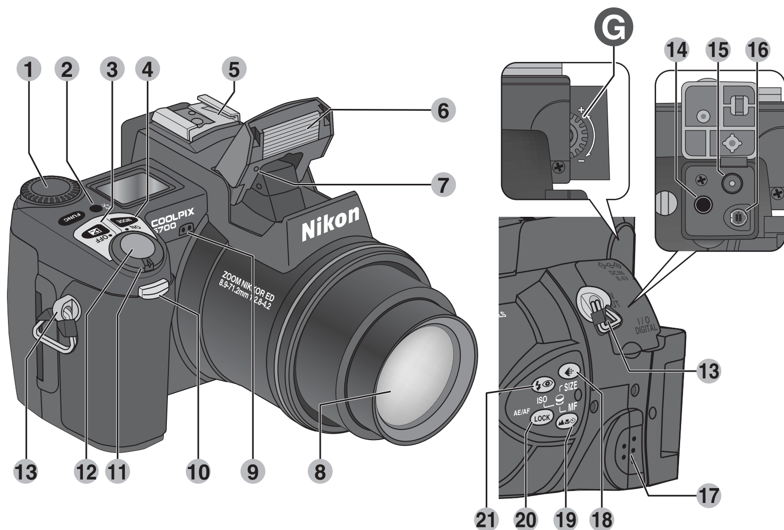
下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

各部の名称と機能

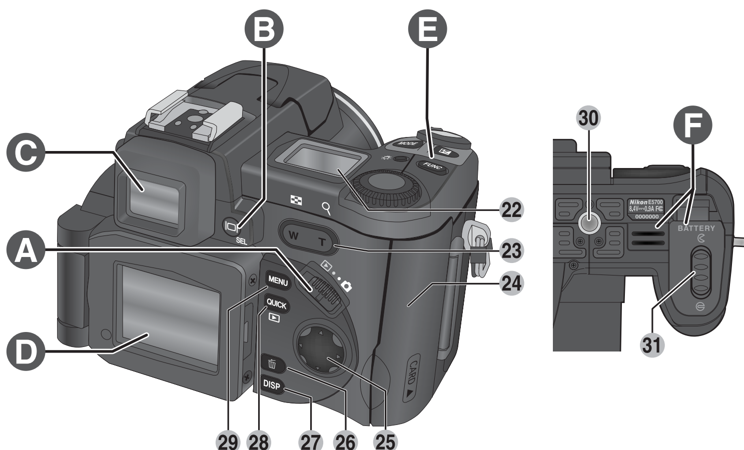
カメラ本体

カメラ本体の各部名称は次のとおりです。機能の詳細は参照ページをご覧ください。



1	コマンドダイヤル
2	イルミネーターボタン 8
3	⊠（露出補正）ボタン 61
4	MODE（露出モード）ボタン 66
5	アクセサリーシュー .... 136、157
6	内蔵スピードライト ....27、59
7	調光センサー .... 26、137
8	レンズ .... 13、170
9	内蔵マイク 73
10	セルフタイマーランプ／赤目軽減ランプ／撮影確認 LED .... 54、59、135
11	電源スイッチ 22
12	シャッターボタン 28
13	ストラップ取り付け部（2ヶ所）.......... 13
14	オーディオビデオ出力端子（カバー下）... 44
15	DC 入力端子（カバー下）.................. 16
16	USB 端子（カバー下）....................... 39
17	内蔵スピーカー 84
18	◆／**SIZE**（画質モード／画像サイズ）ボタン .... 48、50
19	▲✿ⓢ／**MF**（フォーカスモード／マニュアルフォーカス）ボタン ....51、76
20	LOCK（AE ／ AF ロック）ボタン .... 53、128
21	⚡◉／**ISO**（スピードライトモード／感度変更）ボタン ....58、75





22 表示パネル 8
23 ズーム（▦／Q）ボタン
.... 27、34、55、80、81
24 コンパクトフラッシュカードカバー
.... 17
25 マルチセレクター .... 19、92
26 🗑（削除）ボタン .... 33、62、78
27 DISP（表示切換え）ボタン 6
28 QUICK（クイックレビュー）ボタン 31
29 MENU（メニュー）ボタン 91
30 三脚ネジ穴
31 バッテリーカバー開閉ノブ 14

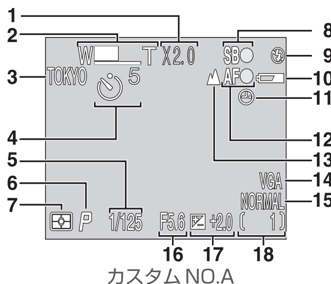
A モードセレクター 9
B ▢（モニタ選択）ボタン 9
C 電子ビューファインダー 10
D 液晶モニタ 10
E FUNC（FUNC）ボタン 11
F バッテリーカバー／バッテリーパック接点カバー 12
G 視度調節ダイヤル 12



液晶モニタ / 電子ビューファインダー表示／表示パネル

(撮影モード)

撮影時に液晶モニタまたは電子ビューファインダーに表示されるカメラの設定内容は、次のとおりです。



カスタム NO.A

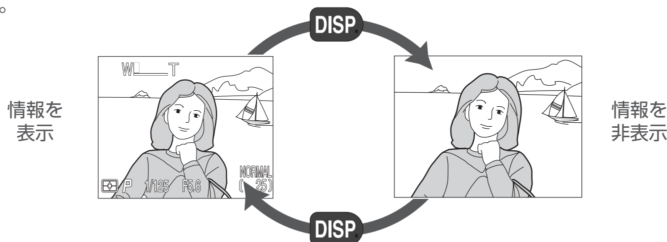
1	電子ズーム倍率	55
2	ズーム表示	55
3	フォルダ名	122
4	セルフタイマー／カウントダウン表示	54
5	シャッタースピード	68
6	露出モード	65
7	測光方式	97
8	スピードライト表示	28
9	スピードライトモード	58
10	バッテリーチェック[1)]	23
11	時計マーク[2)]	20
12	AF表示[3)]	28
13	フォーカスモード	51
14	画像サイズ	50
15	画質モード	48
16	絞り値	70
17	露出補正マーク／露出補正値	61
18	カウンタ（撮影可能コマ数）	23
	動画時間表示	73

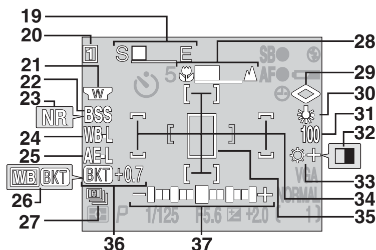
1) バッテリー残量が少なくなった場合に表示されます。
2) 日時が設定されていない場合に点滅します。
3) 半押し時のみ表示されます。



DISP（表示切換え）ボタン

液晶モニタまたは電子ビューファインダーに表示されているカメラの設定内容や画像情報を消すには、DISP（表示切換え）ボタンを押します。もう一度押すと再表示されます。





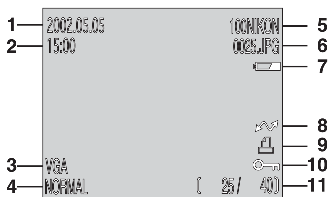
カスタム NO.1、2、3

19	UH 連写	99
20	カスタム NO.	64
21	コンバータ	104
22	BSS	101
23	ノイズ除去	114
24	WB（ホワイトバランス）ロックマーク	105
25	AE ロックマーク	105
26	ホワイトバランスブラケティングマーク	112
27	連写モード	99
28	マニュアルフォーカスインジケータ	76
29	輪郭強調	109
30	ホワイトバランス	96
31	感度変更モード[4]	75
32	モノクロモード	103
33	階調補正	102
34	AF エリア／測光エリア	97、107
35	スポット測光エリア	97
36	ブラケティングマーク	111
37	露出インジケータ	71

4) AUTO 以外で表示されます。AUTO セット時にカメラが自動的に感度を上げているときは、ISO マークが表示されます。

▶（再生モード）

再生時に液晶モニタと電子ビューファインダーに表示される画像情報は次のとおりです。



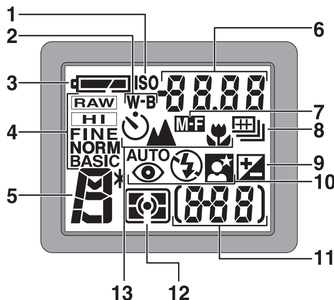
1	撮影日付	19
2	撮影時刻	19
3	画像サイズ	50
4	画質モード	48
5	フォルダ名	83、118、146
6	ファイル名	83
7	バッテリーチェック *	23
8	転送マーク	153
9	プリント表示	151
10	プロテクト表示	149
11	表示画像番号／選択されているフォルダで表示可能な総画像コマ数	

* バッテリー残量が少なくなった場合に表示されます。

表示パネル

液晶パネルに表示されるカメラの設定内容は、次のとおりです。

（説明のため、図は全表示を点灯させた状態を示しています。）



1 感度変更マーク 75
2 ホワイトバランス（FUNC ボタンにホワイトバランス設定時）............ 127
3 バッテリーチェック 23
4 画質モード 48
5 露出モード 66
6 シャッタースピード 68
絞り値 70
画像サイズ 50
露出補正値 61
感度表示 75
ホワイトバランス .... 95、127
通信状態表示 39
7 マニュアルフォーカス 76
8 連写モード 99
9 露出補正マーク 61
10 スピードライトモード 58
11 カウンタ（撮影可能コマ数）...... 23
露出状態表示 71
12 測光方式 97
13 セルフタイマー／フォーカスモード 51

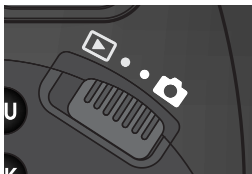
イルミネーターボタン

イルミネーターボタン（ 4）を押すと、表示パネルが約 8 秒間点灯します。

各部詳細

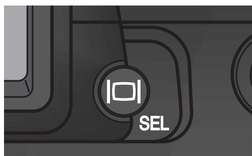
A モードセレクター

撮影モードと再生モードを切り換えます。撮影する場合は 📷（撮影モード）にセットします（👁 22）。再生する場合は ▶（再生モード）にセットします（👁 78）。



B ▣（モニタ選択）ボタン

撮影する画像は液晶モニタまたは電子ビューファインダーに表示されます。液晶モニタと電子ビューファインダーの切り換えは ▣ ボタンで行います。液晶モニタと電子ビューファインダーは同じ情報が表示されますので、撮影状況に応じて使い分けることができます。ただし、液晶モニタと電子ビューファインダーを同時に使用することはできません。また、再生時に▣ボタンで表示を切り換えることはできません。



液晶モニタ使用上のご注意

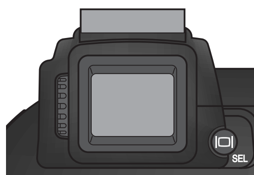
液晶モニタを開いて回転させるときは、回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると、カメラ本体と接続しているヒンジ部の破損の原因となります。

液晶モニタと電子ビューファインダーの自動切換えについて

液晶モニタ点灯中にモニタ画面を内側にしてカメラ本体に収納すると、自動的に液晶モニタが消灯し、電子ビューファインダーが点灯します。この状態で、再び電子ビューファインダー点灯中に液晶モニタを開くと、自動的に液晶モニタが点灯し、電子ビューファインダーが消灯します（ただし▣ ボタンで電子ビューファインダーに切り換えた場合を除きます）。

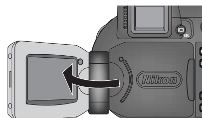
C 電子ビューファインダー

COOLPIX5700は、電子ビューファインダーを装備しています。電子ビューファインダーを使用して撮影する場合には、液晶モニタに画像は表示されません。明るい場所で液晶モニタが見えにくいときなどに、電子ビューファインダーを使用して撮影することをおすすめします。

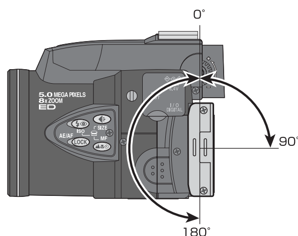


D 液晶モニタ

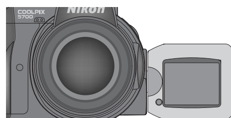
液晶モニタは右図のように開いて使用します。



液晶モニタを開くと、手前に最大90˚、レンズ側に最大180˚回転させることができます。さまざまなアングルからの撮影が可能です。



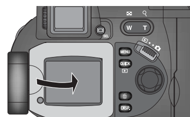
液晶モニタをレンズと同じ方向に向けると、セルフポートレートを撮影できます。



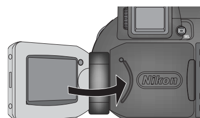
対面時の撮影について

レンズを液晶モニタ側に向けて対面撮影を行う場合は、液晶モニタには鏡に映ったような状態（鏡像）で被写体が表示されますが、撮影画像はレンズの向こう側から見た状態（正像）で記録されます。

右図のように液晶モニタをカメラ本体に折りたたんで撮影や再生することもできます。



液晶モニタを使用しないときは、キズ・汚れ防止のためモニタ画面を内側にして、カメラ本体に収納することをおすすめします。



E FUNC（FUNC）ボタン

カスタム NO. のセットを行います。FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、カスタム NO.A、1、2、3 のいずれかにセットできます。

カメラを初めてご使用になる場合（初期設定の状態）では、各機能がカメラまかせのオート撮影になるカスタム NO.A に設定されています。カスタム NO.1、2、3 にセットすると、撮影意図に合わせて撮影メニュー（63）の各機能の設定を 3 種類に記憶させることができ、簡単に自分の好みの機能設定を呼び出すことができます。

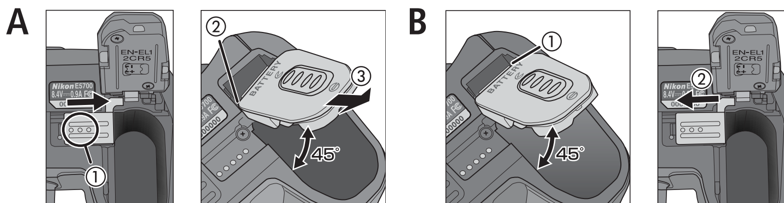
SET-UP メニューの「ボタン設定」（126）により、FUNC ボタンに次の機能を割り当てることもできます。

FUNC の機能	
カスタム NO.（初期設定）	63
（フォーカスモード）	51
（スピードライトモード）	58
ホワイトバランス	95
測光方式	97

F バッテリーカバー・バッテリーパック接点カバー

COOLPIX5700は、単3形電池（アルカリ、リチウム、ニカド、ニッケル水素電池、各6本）を使用できる別売のバッテリーパックMB-E5700を装着することができます。バッテリーパックMB-E5700は、カメラ本体のバッテリーカバーとバッテリーパック接点カバーを取りはずして装着します。

バッテリーカバーは、バッテリーパック接点カバーのA-①部分を押しながらずらしてはずした後、A-②側から斜め上方向（約45度）に引っ張る（A-③）と無理なく取りはずすことができます。装着する場合は、バッテリーカバーを同じ角度でB-①側から取り付けた後、バッテリーパック接点カバーを取り付けてください（B-②）。

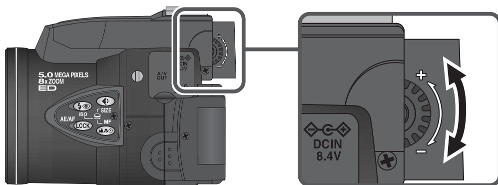


- バッテリーパック接点カバーを装着した状態でバッテリーカバーを無理にはずさないでください。破損の原因になります。
- 詳しくはバッテリーパックMB-E5700の使用説明書をご覧ください。

G 視度調節ダイヤル

電子ビューファインダーの視度が合わず、被写体が見えにくい場合には、ファインダーの視度を調節することができます。被写体が一番よく見える位置まで視度調節ダイヤルを回してください。

電子ビューファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを操作するときは、誤って指で目を傷つけないようにご注意ください。

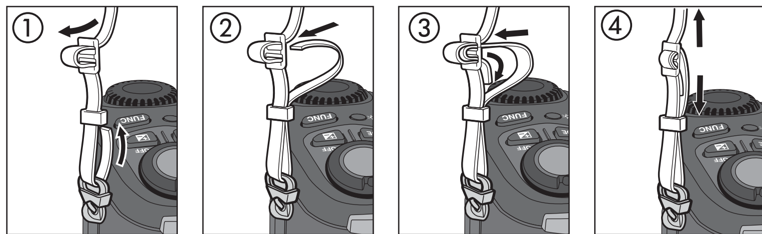


撮影前の準備

撮影前の準備を行います。

ステップ 1：ストラップを取り付けます

カメラの落下を防止するため、図のようにストラップを取り付けます。



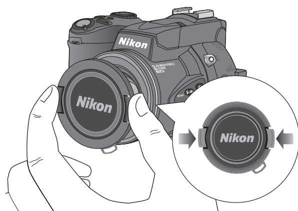
レンズキャップの紛失を防止するため、付属のひもをレンズキャップの穴に通して、ストラップに結んでおくことをおすすめします。





レンズキャップの取り付け・取りはずしについて

レンズキャップの取り付け･取りはずしは、図のようにレンズキャップ装着レバーを押し込んで行います。撮影前に必ずレンズキャップを取りはずしてください。



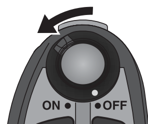
ステップ 2：バッテリーを入れます

COOLPIX5700は、付属の専用Li-ionリチャージャブルバッテリー（リチウムイオン充電池）EN-EL1、または市販の6Vリチウム電池（2CR5）を1個使用します。

2.1 リチャージャブルバッテリー EN-EL1 を充電します。

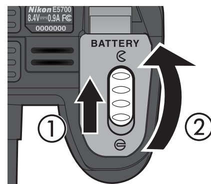
- 付属のバッテリーEN-EL1はフル充電されていません。はじめてご使用になるときやバッテリーの残量が少なくなったときは、付属のチャージャーでバッテリーをフル充電してからご使用ください。充電方法は付属のチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- 市販の 6V リチウム電池（2CR5）は充電できません。

2.2 カメラの電源スイッチをOFFにセットします。



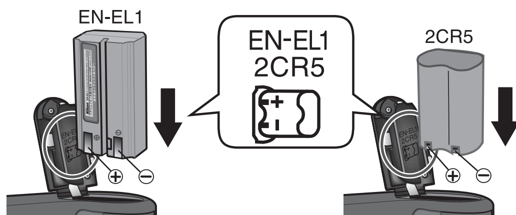
2.3 バッテリーカバーを開けます。

- バッテリーカバー開閉ノブを ⊂ 側にスライドさせて（①）、バッテリーカバーを開けます（②）。

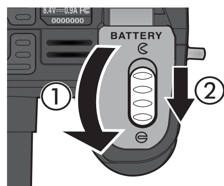


2.4 バッテリーを入れます。

- バッテリーカバーの裏面にある図に合わせて＋と－の方向を正しく入れてください。
- 市販の6Vリチウム電池（2CR5）をご使用になる場合も、EN-EL1同様の向きにして挿入してください。



2.5 バッテリーカバーを閉じます。



- バッテリカバーを閉じて (①)、バッテリーカバー開閉ノブを ⊖ 側にスライドさせます (②)。
- カメラを操作中にバッテリーが落ちないように、カバーが完全に閉じていることを確認してください。

バッテリーについてのご注意

- 専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1の取り扱いについてはバッテリーの使用説明書をご覧ください。また、バッテリーを入れる際は、「安全上のご注意」の「警告」、「危険」(ii～vi) や「バッテリーの取り扱いについて」(160) の注意事項をお守りください。
- バッテリーの特性上、残量がなくなったバッテリーを再度カメラに入れた場合、バッテリーの残量が十分な状態(バッテリー表示が何も表示されない状態)を示すことがありますのでご注意ください。
- カメラの使用直後にはバッテリーが熱くなっていることがあります。バッテリーを取り出す場合は、カメラの電源スイッチをOFFにセットしてバッテリーの温度が下がるのを待ってから取り出してください。
- 三脚のタイプによっては、カメラを三脚に取り付けた状態でバッテリーの交換ができない場合があります。

バックアップ電池について

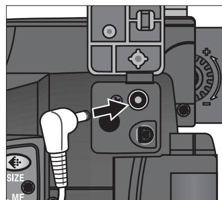
COOLPIX5700 はバッテリーとは別にバックアップ電池を内蔵しており、一時的に電源が供給されない状態でも日時などを記憶しています。このバックアップ電池はバッテリーや AC アダプタでカメラに電源が供給されているときに、約 10 時間で充電されます。充電が完了すると、カメラのバッテリーを取りはずしたり、AC アダプタをはずしても、記憶された日時は約 3 日間保持されます。

購入時や、長時間電源が供給されなかったときなどは、設定内容が消去されますので、再度日時を設定してください。

- 充電が不十分な場合は、一度セットした日時データが失われることがあります。
- 日時の設定が消去されると液晶モニタに時計マーク（ ）が点滅します（20）。

使用できる電源について

- リチャージャブルバッテリーＥＮ-ＥＬ１ の代わりに市販の６Ｖ リチウム電池（2CR5）が 1 個使用できます。
- カメラを長時間ご使用になる場合は別売のＡＣ アダプタEH-53、またはACアダプタ/バッテリーチャージャーEH-21 のご使用をおすすめします。AC アダプタを使用すると家庭用電源（AC100V）からカメラへ電源を供給することができます。
- 別売のバッテリーパックMB-E5700を装着すると、単3形のアルカリ乾電池、リチウム電池、ニカド電池またはニッケル水素電池 6 本を使用してカメラに長時間電源を供給できます。

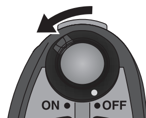


AC アダプタの DC プラグを、カメラの DC 入力端子に差し込んで使用します。

ステップ3：コンパクトフラッシュカードを入れます

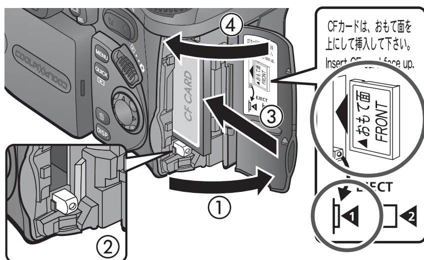
COOLPIX5700はコンパクトフラッシュカードおよびマイクロドライブ（ 157）に画像データを記録します。

3.1 カメラの電源スイッチをOFFにセットします。



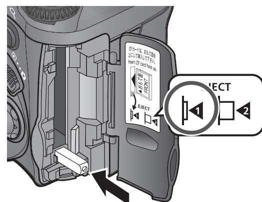
3.2 コンパクトフラッシュカードを入れます。

- コンパクトフラッシュカードカバーを開けて（①）、イジェクトレバーが押し込まれていることを確認します（②）。
- コンパクトフラッシュカードのおもて面を手前（液晶モニタ側）に向けて差し込み、矢印方向にしっかりと奥まで挿入し（③）、コンパクトフラッシュカードカバーを閉じます（④）。



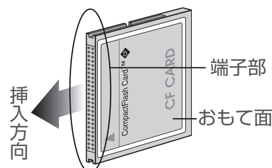
コンパクトフラッシュカードを入れるときのご注意

- イジェクトレバーが飛び出したまま、コンパクトフラッシュカードカバーを閉じると、カードが少しイジェクトされるため、カメラの電源をONにしたときにエラーの原因となります。コンパクトフラッシュカードを入れるときは、必ずイジェクトレバーが押し込まれている（コンパクトフラッシュカードカバー裏側の図 の状態になっている）ことを確認してください。



- コンパクトフラッシュカードを入れるときは、コンパクトフラッシュカードの端子側（右図）からカメラに挿入してください。

  向きを間違えて装着すると、カメラおよびコンパクトフラッシュカードを破損するおそれがあります。正しい方向で挿入しているか、再度ご確認ください。



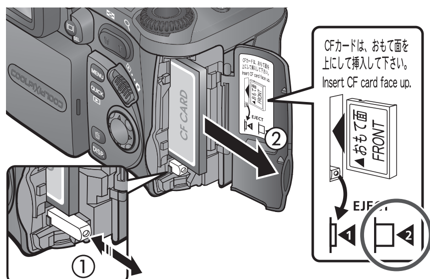
ご使用になる前に—撮影前の準備

コンパクトフラッシュカードのフォーマット（初期化）

付属のコンパクトフラッシュカードはCOOLPIX5700用にフォーマットされています。その他のコンパクトフラッシュカードを初めてCOOLPIX5700で使用する場合は、あらかじめコンパクトフラッシュカードをフォーマットする必要があります。詳しい手順については、「カードフォーマット」（134）をご覧ください。

コンパクトフラッシュカードの取り出し方

コンパクトフラッシュカードを取り出すときは、必ずカメラの電源スイッチをOFFにセットしてください。
コンパクトフラッシュカードカバーを開け、イジェクトレバーを押すとレバーが少し飛び出します（コンパクトフラッシュカードカバー裏側の図 の状態）。
イジェクトレバーをもう一度押し込むと（①）、カードが少し出てきますので（②）、指でつまんでカードを取り出してください。



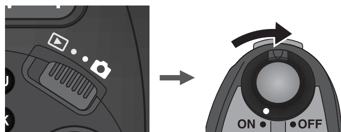
コンパクトフラッシュカードを取り出すときは

カメラの使用直後は、コンパクトフラッシュカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは十分ご注意ください。

ステップ４：日付と時刻を設定します

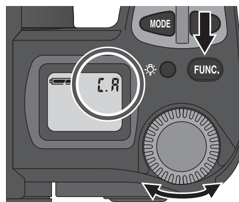
COOLPIX5700には時計が内蔵されており、撮影した画像には撮影日時が記録されます。カメラを初めてご使用になる場合は、時計の日付と時刻が設定されていませんので、以下の手順にしたがって日時をセットしてください。

4.1



モードセレクターを （撮影モード）に合わせて、電源スイッチを ON にします。

4.2



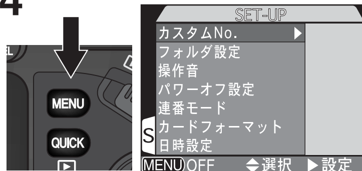
FUNC ボタンを押して、表示パネルに「C.A」（カスタムNO.A）と表示されているのを確認します。「C.1」、「C.2」、「C.3」が 表示されている場合は FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して「C.A」に設定してください。

4.3



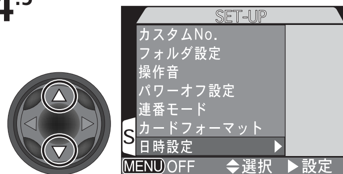
液晶モニタ部を開きます。

4.4



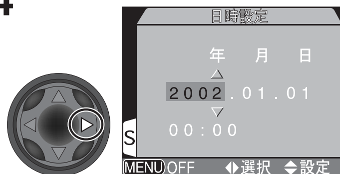
MENU ボタンを押すと、SET-UP メニューが表示されます。

4.5



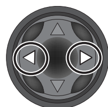
マルチセレクターの▲または▼で「日時設定」を選択します。

4.6



▶を押します。日付の設定画面が表示されます。

4.7



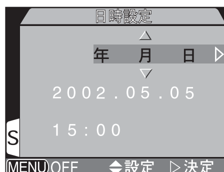

◀または▶で設定する項目（年、月、日、時間、分）を選択します（選択された項目は赤く表示されます）。

4.8




▲または▼で、選択された項目の数字を設定します。手順4.7～4.8を繰り返して、現在の日付・時刻に合わせます。

4.9

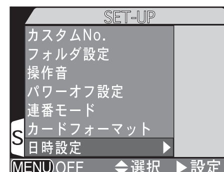
▶を押すと、「年月日」が赤く表示されます。

4.10




▲または▼で、「年月日」「月日年」「日月年」の中から、日付の表示順を選択します。

4.11

▶を押すと、日付と時刻がセットされSET-UPメニュー画面に戻ります。

- 撮影画面に戻るには、MENU ボタンを押してください。

日付と時刻の設定について

日付と時刻の設定は、カスタムNO.1、2、3または再生モード時のSET-UPメニューでも設定可能です（140）。

時計マークについて

日時が設定されていない場合、撮影時に液晶モニタの右上に時計マーク（🕘）が点滅し、撮影した画像の撮影日時に0000.00.00 00：00と記録されます。

基本操作

この章は次のように構成されています。

簡単な撮影

基本的な撮影方法をステップごとに説明しています。

ステップ 1	撮影を始める前に	22～24
ステップ 2	カスタム NO.A（オート撮影）を選択します	25
ステップ 3	カメラの設定を確認します	25
ステップ 4	構図を決めます	26～27
ステップ 5	ピントを合わせて撮影します	28～29
ステップ 6	撮影を終了します	30

簡単な再生

撮影中に簡単に画像を再生したり削除する基本的な操作方法について説明しています。

簡単な撮影

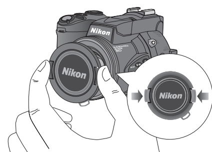
ここでは、液晶モニタを使ってカメラまかせのオート（カスタムNO.A）で撮影する、簡単な撮影方法について説明します。撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的にセットされるので、初めてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

ステップ 1：撮影を始める前に

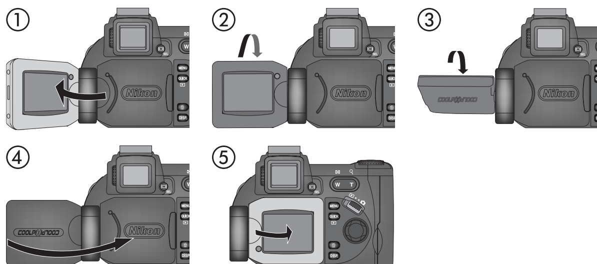
撮影を始める前に次の手順を行ってください。

1.1 レンズキャップを取りはずします。

- レンズキャップの取りはずしは、レンズキャップのレバーを押し込みながら行ってください。



1.2 ①から⑤の手順どおりに液晶モニタ部を開きます。

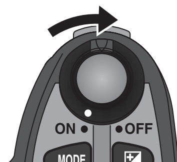


1.3 モードセレクターを 📷（撮影モード）にセットします。



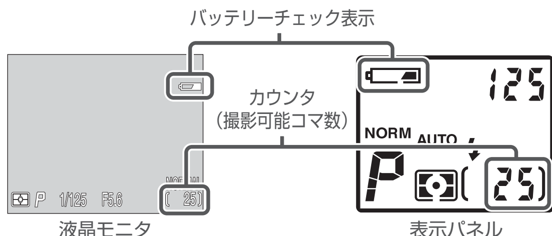
1.4 カメラの電源スイッチをONにします。

- 電源をONにすると、レンズが繰り出し、液晶モニタに撮影画面および現在の設定内容が表示されます。また、表示パネルには現在の設定内容が表示されます。



1.5 バッテリー容量と撮影可能コマ数を確認します。

- 撮影を始める前に、バッテリーチェック表示とカウンタ（撮影可能コマ数）を確認します。



- バッテリーチェック表示については次の表を参考にしてください。

液晶モニタ	表示パネル	意　味	カメラの状態
表示なし	（点灯）	バッテリーの残量は十分です。	通常
（点灯）	（点灯）	バッテリーの残量が少なくなりました。EN-EL1を充電するか、予備のEN-EL1または6Vリチウム電池（2CR5）を用意することをおすすめします。	通常（スピードライト発光後、充電中は液晶モニタが消灯します）
（点滅）	（点滅）	バッテリーの残量がありません。充電済みのEN-EL1または新しい6Vリチウム電池（2CR5）と交換してください。	撮影できません

- 撮影可能コマ数が0になった場合、または液晶モニタに「**メモリー残量がありません**」という警告メッセージが表示された場合は、新しいコンパクトフラッシュカードに交換するか、記録されている画像を削除してください（33、34）。ただし画質モードや画像サイズを変更することによって、撮影できる場合もあります（46）。

 オートパワーオフ機能について

バッテリーの消耗を防ぐため、30秒間（初期設定）何の操作も行わないでいると液晶モニタおよび電子ビューファインダーが自動的に消灯します。再度点灯させるには DISP ボタンを押すか、シャッターボタンを半押ししてください（オートパワーオフ 131）。

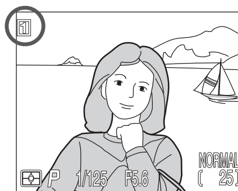
 （モニタ選択）ボタン

ボタンで、液晶モニタと電子ビューファインダーの表示を切り換えることができますので、撮影状況に応じて使い分けてください。液晶モニタと電子ビューファインダーは同じ情報が表示されます。

ステップ 2：カスタム NO.A（オート撮影）を選択します

ここでは、カスタムNO.Aにセットして撮影する方法を説明します。カスタムNO.Aではカメラの各機能がカメラまかせのオート撮影になります。

カメラを初めてご使用になる場合（この状態を初期設定といいます）、カスタム NO.A にセットされています。液晶モニタの左上に 1 2 3 が表示されている場合には、「カスタム NO. の設定」（ 63）の手順にしたがってカスタム NO.A を選択してください。



ステップ 3：カメラの設定を確認します

カスタムNO.Aでは、カメラの各機能は、下表のように設定されています。この「簡単な撮影」の章では、カメラの各機能を下表の初期設定にして撮影する手順について説明します。設定を変更する場合は参照ページをご覧ください。

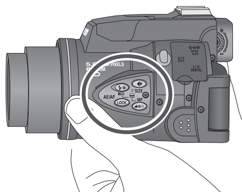
カメラの機能	初期設定	内　容	操作ボタン	
スピードライトモード	自動発光	被写体が暗いときに自動的にスピードライトが上がって発光します。		57
フォーカスモード	通常 AF	カメラとの距離が 50cm 以上の被写体に自動的にピントを合わせます。		51
画質モード	NORMAL	スナップ撮影など通常の撮影に適しています。		47
画像サイズ	FULL	2,560 × 1,920 ピクセルの画像が撮影されます。	SIZE ( ) +	49
連写モード	単写	シャッターボタンを押し込むごとに 1 コマの画像を撮影します。	MENU	98

ステップ 4：構図を決めます

4.1 カメラを構えます。

手ブレを防ぐためカメラを両手でしっかりと持ちます。

撮影画面は、(モニタ選択ボタンのアイコン)（モニタ選択）ボタンで液晶モニタまたは電子ビューファインダーのどちらかに切り換えて、見ることができます。撮影状況によって選択してください。



カメラ本体の左側部には、操作ボタン類があります。撮影時に誤ってボタンを押さないようにご注意ください。



グリップ部には、赤目軽減ランプがあります。赤目軽減ランプの上に指を置かないようにご注意ください。

カスタムNO.Aにセットしている場合、被写体が暗いと内蔵スピードライトが自動的に上がりますので、スピードライト部に指を置かないでください。

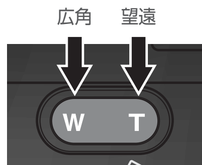
カメラを構えるときのご注意

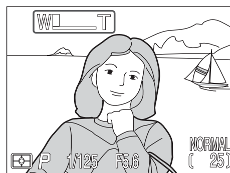
撮影の際に、指や髪、ストラップ、ACアダプタのコードなどでレンズ、スピードライト発光部、調光センサーをさえぎらないようにご注意ください。また、赤目軽減ランプを指でさえぎらないようにご注意ください。

4.2 構図を決めます。

ズームボタンを押して構図を決めます。

- COOLPIX5700は8倍の光学ズームレンズを装備していますので、ズームボタンを押すことにより、撮影範囲を変更することができます。
- W を押すと、レンズが広角側にズーミングして撮影範囲が広くなります。
- T を押すと、レンズが望遠側にズーミングして被写体を大きく映すことができます。
- 最もT側（望遠側）にした状態で T ボタンを2秒以上押し続けると、電子ズームが作動し、さらに4倍（合計32倍）まで被写体を大きく映すことができます（55）。
- 電子ズーム作動中は、ズーム表示の横に倍率が表示されます。

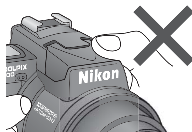




ズームボタンを押すと、液晶モニタにズーム量を示すズーム表示が表示されます。

内蔵スピードライトについてのご注意

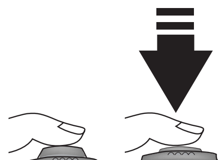
- カスタムNO.Aにセットしているときは、シャッターボタンを半押しすると（軽く押すと）、次の場合に内蔵スピードライトが自動的に上がります（遠景モードセット時を除く）。
  - スピードライトモード（57）を自動発光、赤目軽減自動発光またはスローシンクロモードに設定している場合で、被写体が暗いとき
  - スピードライトモードを強制発光に設定している場合
- 上がっている内蔵スピードライトを指などで押さえて、撮影しないでください。この場合、シャッターボタンを半押ししたときに、液晶モニタに警告が表示されます。



カメラを構えるときはスピードライト部に触れないようご注意ください。また、内蔵スピードライトを無理に手で持ち上げないでください。破損の原因となります。

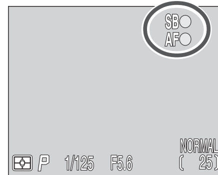
ステップ5：ピントを合わせて撮影します

5.1 シャッターボタンを半押しして、ピントが合っていることを確認します。



シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中はピントと露出は固定されます。

- シャッターボタンを半押ししたときの AF 表示（AF○）、スピードライト表示（SB○）は次の内容を表します。



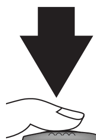
表示		内容
AF表示	緑色点灯	被写体にピントが合っています。
	緑色点滅	被写体にピントを合わせることができません。構図を変えて再度ピントを合わせてください（AFロック撮影 53）。
スピードライト表示	赤色点灯	被写体が暗いため、スピードライトを発光します。
	赤色点滅	スピードライトが充電中です。シャッターボタンから指を離して、もう一度押し直してください。
	非表示	被写体が明るいか、発光禁止に設定されているため、スピードライトは発光しません。

- フォーカスモードが遠景モードに設定されている場合、AF 表示は表示されません。

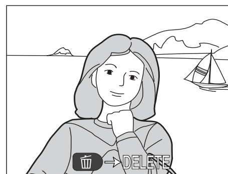
オートフォーカスでピントが合わない場合

オートフォーカスでピントを合わせることができない場合は、カスタムNO.1、2、3のいずれかに設定して、マニュアルフォーカスでピントを合わせることができます（ 76）。被写体が画面の中央にない場合は、AF エリア選択を AUTO または MANUAL に設定して（ 107）、AF ロックを行わずにピントを合わせることができます。

5.2 ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。



- シャッターボタンを最後まで押し込むと撮影できます。
- 内蔵スピードライトが上がって、被写体が暗い場合はスピードライトが発光します。
- シャッターボタンは一気に押し込むと、手ブレの原因となります。ゆっくりと押し込んでください。
- 撮影後画像がコンパクトフラッシュカードへ記録されるまでの数秒間、液晶モニタには、撮影画像と 🗑⇒DELETE（クイックデリートマーク）が表示されます（ 62）。



画像記録中の撮影

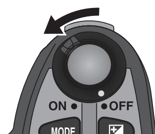
- 液晶モニタに⌛ マークが表示されるまでは撮影を続けることができます。
- ⌛ マークまたは [▲]（画像記録中表示）が表示されている場合は、画像をコンパクトフラッシュカードに記録していますので、コンパクトフラッシュカードを取り出したり、バッテリーを抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像がこわれたりする場合があります。

液晶モニタ・電子ビューファインダーの撮影画面について

液晶モニタや電子ビューファインダーの撮影画面は、撮像素子（CCD）からの映像を処理して表示します。そのため、実際の被写体の動きよりも若干遅れて表示されます。動きの速い被写体の撮影など、表示の遅れを軽減したい場合はSET-UPメニューの「モニタ設定：レリーズ応答速度」をクイックレスポンスに設定してください（ 124）。

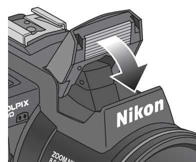
ステップ６：撮影を終了します

6.1 電源スイッチを OFF にセットします。



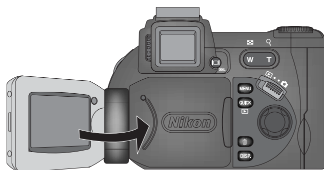
6.2 内蔵スピードライトが上がっている場合は、スピードライトを収納します。

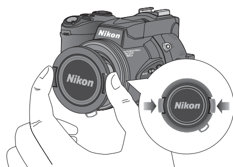
スピードライトは、矢印の方向に押し下げてください。



6.3 液晶モニタを収納して、レンズキャップを取り付けます。

ほこりや汚れがつかないように、液晶モニタの画面側を内側にして収納し、レンズキャップを取り付けることをおすすめします。





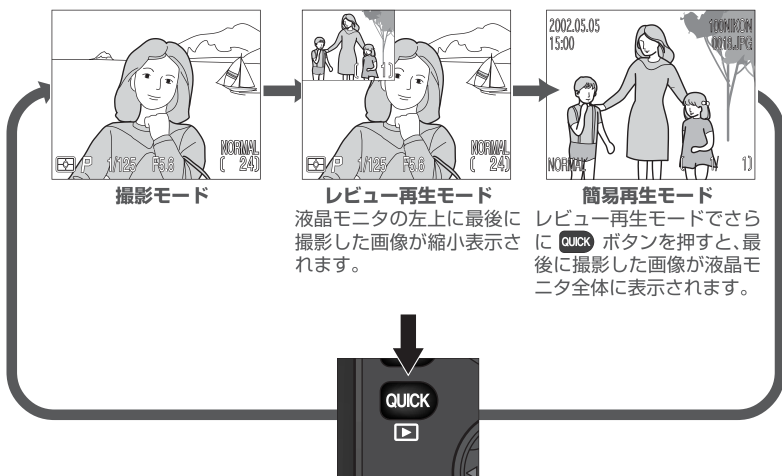
簡単な再生

デジタルカメラは、撮影後すぐに画像を見ることができるので、撮り直したいと思ったときにいつでも次の撮影をすることができます。

撮影後すぐに画像を見るときは、「レビュー再生モード」、「簡易再生モード」を使用します。モードセレクターを（撮影）モードにセットしたままでモードセレクターを（再生）モードに切り換えることなく、すぐに画像を見ることができます。

撮影後、撮影した画像をすぐに見るには、QUICK ボタンを押します。

- QUICK ボタンを押すごとに液晶モニタの表示が下のように切り換わります。



撮影モード

レビュー再生モード
液晶モニタの左上に最後に撮影した画像が縮小表示されます。

簡易再生モード
レビュー再生モードでさらに QUICK ボタンを押すと、最後に撮影した画像が液晶モニタ全体に表示されます。

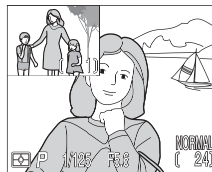
- 表示する画像の切り換えは、マルチセレクターの▲または◀（一つ前に撮影した画像を表示）、▼または▶（一つ後に撮影した画像を表示）で行います。
- レビュー再生モード、簡易再生モード時にシャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻り、いつでも撮影できます。

再生モード（▶）

画像を確認するには、レビュー再生モード、簡易再生モード機能の他に、モードセレクターを（再生）モードに切り換える方法があります（78）。
モードでは、複数の画像の削除や、画像のプロテクト設定、転送画像設定などを行うことができます（143）。

レビュー再生モード

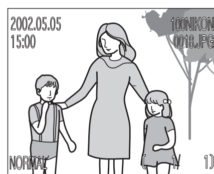
レビュー再生モード時は次の操作が可能です。



目　的	ボタン	内　容
別の画像を見る		マルチセレクターの▲または◀を押すと、液晶モニタに表示されている画像の一つ前に撮影した画像を見ることができます。 マルチセレクターの▼または▶を押すと、現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。
簡易再生モードにする	QUICK	画像を全画面に表示します。
撮影する	シャッターボタン	シャッターボタンを半押しすると、撮影モードに戻ります。

簡易再生モード

簡易再生モード時は次の操作が可能です。

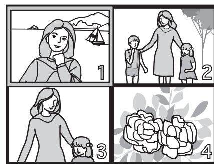


目　的	ボタン	内　容
別の画像を見る	(マルチセレクター)	マルチセレクターの▲または◀を押すと、液晶モニタに表示されている画像の一つ前に撮影した画像を見ることができます。 マルチセレクターの▼または▶を押すと現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。
サムネイル(縮小)表示にする	(W)	(W) ボタンを押すと、4コマの縮小画像が表示される「サムネイルレビューモード」になります（34）。
表示されている画像を削除する	🗑	🗑 を押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」を選択します。▶を押すと、選択が実行されます。 削除 1枚削除します よろしいですか？ いいえ ▷ はい ⬍設定 ▷決定 • いいえ： 選択された画像は削除されず、そのまま保存されます。 • はい： 選択された画像は削除されます。
表示されている画像を拡大する	(T)	(T) ボタンを押すと、画像が最大約6倍まで拡大されます。拡大画面表示で、マルチセレクターを使うと、画面の見たい部分に移動できます。 W ボタンを押すと拡大表示がキャンセルされて通常の表示に戻ります。
画像情報表示を切り換える	(コマンドダイヤル)	コマンドダイヤルを回すと、5種類の画像情報表示が順番に切り換わります（82）。
撮影モードに戻る	シャッターボタン／QUICK	シャッターボタンを半押しするか、QUICK ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

基本操作—簡単な再生

サムネイルレビューモード

簡易再生モード時に ⊞(W) ボタンを押すと、液晶モニタに４コマのサムネイル（縮小）画像が表示される「サムネイルレビューモード」になります。操作は次のとおりです。



目　的	ボタン	内　容
画像を選択する	マルチセレクター	マルチセレクターの▲、▼、◀、▶を押して画像を選択します。
画面をスクロールする	コマンドダイヤル	コマンドダイヤルを回して、１画面分のスクロールを行います。
表示コマ数を変更する	⊞(W) ／ T	サムネイル画像の４コマ表示時に ⊞ を押すと、サムネイル画像の９コマ表示になります。９コマ表示時に T ボタンを押すと４コマ表示に、４コマ表示時に T ボタンを押すと１コマ表示（簡易再生モード）に切り換わります。
選択された画像を削除する	🗑	🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの ▲、▼を押して、「いいえ」か「はい」を選択します。▶を押すと、選択が実行されます。 削　除 / 1枚削除します よろしいですか? / いいえ / はい / ⬍設定 ▷決定 • いいえ：選択された画像は削除されず、そのまま保存されます。 • はい：選択された画像は削除されます。
撮影モードに戻る	シャッターボタン／QUICK	シャッターボタンを半押しするか、QUICK ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

撮影した画像の楽しみ方

パソコンに転送する




36～43

テレビで見る




44

この章では、デジタルカメラで撮影した画像の簡単な楽しみ方について説明します。デジタルカメラで撮影した画像は､テレビに映したり､パソコンに転送して保存することができます。パソコンに転送した画像は、編集したり、プリントしたり、電子メールに添付するなど、さまざまな方法で楽しめます。

パソコンに転送する

Nikon Viewを使って撮影した画像をパソコンに転送する方法を説明しています。

テレビで見る

カメラをテレビやビデオに接続して、撮影した画像をテレビで再生する方法について説明しています。

パソコンに転送する

ここでは、Nikon View を使って画像をパソコンに転送する方法を紹介します。

転送の前に：Nikon View のインストール

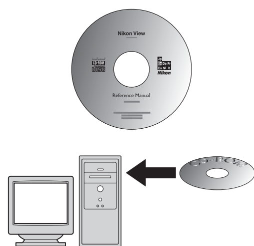
Nikon Viewはコンパクトフラッシュカードに記録されている画像をパソコンに転送したり、画像の一覧表示や編集を行ったりするアプリケーションです。

Nikon Viewは次のOSに対応しています。動作環境の詳細については「主な仕様」(170）をご覧ください。

Windows	Windows XP Home Edition/Professional Windows 2000 Professional、 Windows Millennium Edition（Me)、 Windows 98 Second Edition（SE） Windows 98（一部の機能に制限があります） ※ すべてプリインストールモデルのみ対応
Macintosh	Mac OS 9.0 ～ 9.2、 Mac OS X（10.1.2 ～ 10.2） ※ すべて USB ポート内蔵モデルのみ対応

Nikon View はカメラとパソコンを接続する前に、あらかじめパソコンにインストールしておく必要があります。インストールの方法については、クイックスタートガイド、またはNikon Viewインストールマニュアルをお読みください。インストールマニュアルは、付属のNikon Viewリファレンスマニュアル (CD-ROM) に入っています。

1 Nikon ViewリファレンスマニュアルCD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。



パソコンを起動し、CD-ROMドライブにNikon ViewリファレンスマニュアルCD-ROMを挿入してください。

- Windows の場合
  「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、その中のCD-ROM ドライブ（Nikon）をダブルクリックすると、Nikon フォルダが開きます。
- Macintosh の場合
  Mac OS 9をご使用の場合、デスクトップ上にNikon フォルダが自動的に開きます。Mac OS X をご使用の場合、デスクトップ上の CD-ROM（Nikon）をダブルクリックすると、Nikon フォルダが開きます。

2 Adobe Acrobat Reader をインストールします。

Nikon ViewインストールマニュアルはPDF形式で書かれています。マニュアルを読むには Adobe Acrobat Reader 4.0 以降が必要です。Adobe Acrobat Reader がすでにインストールされている場合は、ステップ3にお進みください。

付属のNikon ViewリファレンスマニュアルCD-ROMには、Adobe Acrobat Reader 5がバンドルされています（Windows版のみ）。Adobe Acrobat Readerをインストールするには、[Acroread] フォルダの [Acro_jp] フォルダ内にあるインストーラアイコンをダブルクリックします。インストール開始画面が表示されますので、画面に表示される指示にしたがってインストールを完了してください。

3 Nikon View インストールマニュアルの指示にしたがって、Nikon View をインストールします。

Nikon フォルダ内の INDEX.pdf アイコンをダブルクリックすると、Nikon Viewリファレンスマニュアルの見出し (INDEX)が表示されます。ご使用のパソコン、システムに応じたインストールマニュアルを参照して Nikon View のインストールを行ってください。インストールマニュアルはAcrobat Readerの［ファイル］メニューにある［プリント...］コマンドでプリントできます。



すでに他の Nikon View がインストールされている場合

ご使用のパソコンに他のニコンデジタルカメラに付属のNikon Viewがすでにインストールされている場合は、COOLPIX5700 に付属の Nikon View にアップグレードする必要があります。詳しくはNikon Viewリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

パソコンに画像を転送する

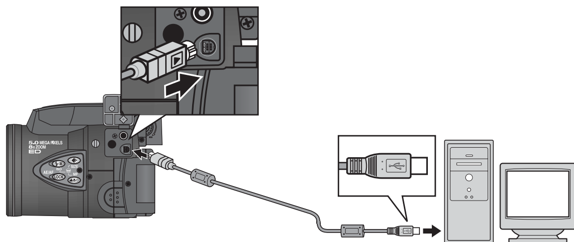
Nikon View のインストールが完了すると画像や動画をパソコンに転送できます。画像や動画は、パソコンとカメラを専用のUSBケーブルで接続して転送します。カメラからコンパクトフラッシュカードを取り出して、カードリーダやPCカードスロットに挿入して転送することもできます。

USB ケーブル UC-E1 で画像を転送する

1 パソコンの電源を入れます。

2 カメラとパソコンを専用 USB ケーブル UC-E1 で接続します。

カメラとパソコンを専用USBケーブルUC-E1で下の図のように接続します。



カメラとパソコンを接続するときのご注意

カメラをパソコンに接続する前に必ずNikon View をインストールしてください。

Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional 、Mac OS X でご使用の場合のご注意

Nikon View をご使用になる場合（インストール / アンインストールする場合も含む）は、「コンピュータの管理者」アカウント（Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalの場合）もしくは「Administrator」アカウント（Windows 2000 Professionalの場合）、または「管理者」アカウント（Mac OS Xの場合）でログオンしてください。

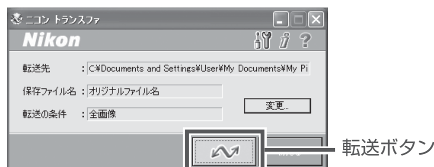
USB ハブについて

USB ハブに接続した場合の動作は、保証しておりません。

3 画像が記録されているコンパクトフラッシュカードをカメラに入れて、カメラの電源をONにします。

- カメラの液晶モニタは消灯し、表示パネルには [: :] （通信状態表示）が表示されます。電源スイッチ以外の操作はできなくなります。
- パソコンが自動的にカメラを認識して、パソコンのモニタ画面にNikon View（ニコントランスファ）を表示します。詳しくは付属のNikon View リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

4 Nikon View（ニコン トランスファ）の [転送アイコン] （転送）ボタンをクリックして、転送を開始します。



5 画像の転送が完了すると、Nikon Viewのニコン ブラウザに転送された画像が表示されます。



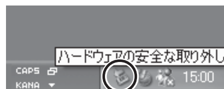
UH連写で撮影された画像の転送

UH連写（ 98）で撮影された画像を転送する場合には、「ニコントランスファ」ウィンドウの「変更...」をクリックして「転送先とファイル名」の画面で「カメラ上で指定したフォルダに分けて転送する」にチェックを入れてください。UH連写で撮影された画像がパソコンに転送されるときに、一連のフォルダごとに転送されて便利です。詳しくは付属のNikon Viewリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

6 カメラとパソコンの接続を終了します。

USB 通信方式（142）を PTP に設定している場合は、カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。USB 通信方式を Mass Storageから変更していない場合は、必ず次の操作をしてからカメラの電源を OFF にして、USBケーブルを抜いてください。

- **Windows XP Home Edition/Professional の場合：**
  パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして「USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ (E:) を安全に取り外します。」を選択してください。



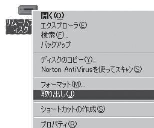
- **Windows 2000 Professional の場合：**
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして「USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を停止します」を選択してください。



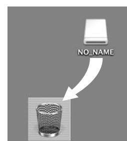
- **Windows Millennium Edition の場合：**
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして「USBディスクードライブ（E:）の停止」を選択してください。
  ※ 「ドライブ（E:）」はご使用のパソコンによって異なります。



- **Windows 98 Second Edition（SE）/Windows 98 の場合：**
  マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。



- **Mac OS X の場合：**
  デスクトップ上の「NO_NAME」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。



- **Mac OS 9 の場合：**
  デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。



画像転送中のご注意

画像の転送中は、次の操作は行わないでください。カメラおよびパソコンが作動しなくなる場合があります。

・ USB ケーブルを抜く
・ カメラの電源を OFF にする
・ コンパクトフラッシュカードを抜く

Mac OS 9 で RAW 画像を再生する場合のご注意

画質モードをRAW（47）に設定して撮影した画像を、Nikon Viewのニコンビューアで再生する場合は、Nikon View へのメモリ割り当てを 72MB 以上にすることをおすすめします。

Nikon Viewのメモリ割り当てを変更せずにRAW画像を開こうとすると、「メモリの割り当てを増やしてください」というメッセージが出て、画像を開くことができませんのでご注意ください。

使用する電源について

カメラからパソコンにデータを転送するときは、確実に電源を供給できるACアダプタEH-53（別売）またはACアダプタ／バッテリーチャージャーEH-21（別売）のご使用をおすすめします（16）。その他の AC アダプタは、絶対に使用しないでください。カメラをバッテリーで操作するときは、バッテリーが十分に充電されていることをご確認ください（予備のバッテリーのご用意をおすすめします）。バッテリーの残量が少なくなったら、手順7（41）に従ってカメラの電源をOFFにした後、バッテリーを交換してください。

カードリーダや PC カードスロットから転送する

コンパクトフラッシュカードリーダや、PCカードスロットが装備されているパソコンをご使用の場合、カメラとパソコンを接続せずに、コンパクトフラッシュカードから直接パソコンに画像を転送できます。カードリーダやPCカードスロットにコンパクトフラッシュカードを挿入する方法については、ご使用のカードリーダやパソコンの使用説明書をご覧ください。

カードリーダをご使用の場合

1 パソコンの電源を入れます。

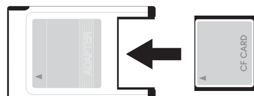
カードリーダが外付けタイプの場合は、パソコンの電源を入れる前にカードリーダを接続しておいてください。

2 カードリーダにコンパクトフラッシュカードを挿入します。

Nikon Viewが自動的にカードを認識して起動します。画像の転送方法については、Nikon View リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

PC カードスロットをご使用の場合

1 コンパクトフラッシュカードを PC カードアダプタに装着します。



PC カードアダプタ
EC-AD1（別売）

2 パソコンの電源を入れます。

3 PC カードスロットに PC カードアダプタを入れます。

Nikon Viewが自動的にカードを認識して起動します。画像の転送方法については、Nikon View リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。



PC カードスロットについて

ノート型パソコンなどの「PCMCIA（Personal Computer Memory Card International Association）」に適合するPCカードスロットを使用する場合、カメラから取り出したコンパクトフラッシュカードを読み込むために、PC カードアダプタ EC-AD1（別売）が必要です。

 コンパクトフラッシュカードを取り出す場合の注意点

カードリーダやPCカードスロットからコンパクトフラッシュカードを取り出すときは、画像の転送が完了していることを確認してください。

また、コンパクトフラッシュカードを取り出す前に、次の操作をしてください。

パソコン画面に転送中を示すインジケータが表示されている場合は、コンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

またカードリーダやPCカードスロットからコンパクトフラッシュカードを取り出す前に、次の操作を行ってください。

- **Windows XP Home Edition/Professional の場合**：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックし、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。



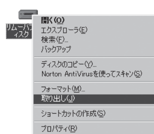
- **Windows 2000 Professional の場合**：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックし、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。



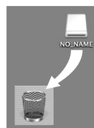
- **Windows Millennium Edition（Me）の場合**：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックし、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。



- **Windows 98 Second Edition（SE）/Windows 98 の場合**：
  マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。



- **Mac OS X の場合**：
  デスクトップ上の「NO_NAME」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。



- **Mac OS 9 の場合**：
  デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

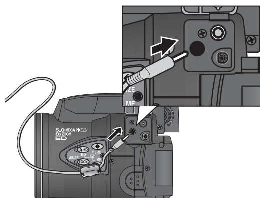


テレビで見る

付属のオーディオビデオケーブル（以下AVケーブル）を使用して、COOLPIX5700をテレビやビデオに接続し、撮影した画像をテレビで再生することができます。

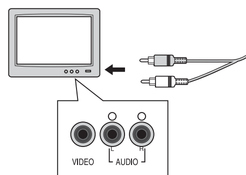
1 AVケーブルをカメラに接続します。

端子カバーを開け、AVケーブルの黒いプラグをカメラのオーディオビデオ出力端子に接続します。



2 AVケーブルをテレビまたはビデオに接続します。

AVケーブルの黄色のプラグをテレビまたはビデオの映像入力端子に、白色のプラグをテレビまたはビデオの音声入力端子に接続します。



3 テレビの入力をビデオ入力または外部入力に切り換えます。

詳細はテレビまたはビデオの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの電源をONにして、モードセレクターを▶にセットします。

テレビには撮影した画像が表示され、液晶モニタは消灯します。

 **バッテリー使用時のご注意**

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1や市販の6Vリチウム電池（2CR5）でカメラをご使用の場合は、「パワーオフ設定」（☞ 131）での設定時間（初期設定は30秒）操作が行われないと、オートパワーオフが作動して自動的にテレビへの出力が停止し、テレビには画像が表示されなくなります。ただしシャッターボタンの半押しやDISPボタンを押すことで再び出力を開始します。バッテリーや電池を使用してテレビで再生する場合は、「パワーオフ設定（30秒／1分／5分／30分）」を変更してください。また長時間テレビで再生する場合は別売のACアダプタのご使用をおすすめします。

 **ビデオモードの選択（☞ 141）**

ビデオの出力形式をNTSC（日本国内）またはPAL（欧州）から選択します。カメラを接続するテレビ、ビデオなどの形式と選択したビデオ出力形式が必ず一致するようにしてください。

撮影機能の詳細

基本的な撮影機能
（カスタム NO.A、1、2、3 設定時）

 46 ～ 62

カスタム NO. の設定

 63 ～ 64

応用的な撮影機能
（カスタム NO.1、2、3 設定時）

 65 ～ 76

撮影モード時、初期設定の状態では各機能がカメラまかせのオート撮影になるカスタムNO.Aに設定されています。カスタムNO.1、2、3に設定すると、連写、ホワイトバランス、ブラケティングなど撮影に関する14項目のメニューを設定できます。この章では、カスタム NO. やさまざまな撮影機能について、次の3部で説明しています。

基本的な撮影機能
（カスタム NO.A、1、2、3 設定時）

撮影モード時に使用できる基本的な撮影機能について説明しています。

カスタム NO. の設定

カスタム NO. の設定方法について説明しています。

応用的な撮影機能
（カスタム NO.1、2、3 設定時）

カスタム NO.1、2、3 設定時にのみ使用できる撮影機能について説明しています。

基本的な撮影機能（カスタムNO.A、1、2、3設定時）

画質モードと画像サイズについて

コンパクトフラッシュカードに記録される画像ファイルの大きさは、画質モードと画像サイズで決定します。そのため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像の数は、画質モードと画像サイズの組み合わせによって変わります。32MB、64MB、128MBのコンパクトフラッシュカードに記録できる画像コマ数の目安は次のとおりです。

カード	画質モード	画像サイズ					
		FULL	UXGA	SXGA	XGA	VGA	3:2
32MBカード	RAW	3	–	–	–	–	–
	HI	2	–	–	–	–	2
	FINE	13	32	50	75	173	14
	NORMAL	26	62	95	139	289	28
	BASIC	51	118	173	243	459	55
64MBカード	RAW	7	–	–	–	–	–
	HI	4	–	–	–	–	4
	FINE	26	65	100	151	347	29
	NORMAL	52	125	190	278	578	57
	BASIC	103	236	347	488	918	111
128MBカード	RAW	15	–	–	–	–	–
	HI	8	–	–	–	–	9
	FINE	52	130	200	303	695	58
	NORMAL	104	252	381	556	1158	115
	BASIC	207	474	695	977	1840	223

※ 上の表はおおよその目安です。撮影可能コマ数は、画像の絵柄によって大きく変化します。液晶モニタに表示されるカウンタ（撮影可能コマ数）表示を確認しながら撮影されることをおすすめします。

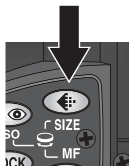
画質モード

画像を記録する際に、処理を施して画像ファイルの容量を小さくすることを圧縮といいます。COOLPIX5700は、NEF形式やTIFF形式で画像を圧縮せずに保存したり、JPEG形式で圧縮して保存することができます。
画像の圧縮率を低くすると、画像ファイルが大きくなり、コンパクトフラッシュカード内の空き容量が減少します。圧縮率が低いため画像の細部が維持され、高画質になります。画像の圧縮率を高くすると、画像ファイルが小さくなり、コンパクトフラッシュカード内の空き容量が増えます。ただし、画像の細部の描写が失われ、画質が低下します。

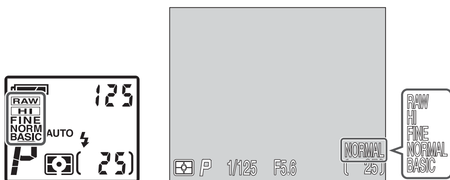
用途に応じて次の5種類から選択できます。

画質モード	ファイル形式	圧縮率	画質	内　容
RAW	NEF	非圧縮	高	画像の処理、圧縮を行わないため、細部の描写が維持されます。CCD（撮像素子）からの生出力をNEF形式（Nikon Electronic Image Format）で保存します。画像サイズがFULLの場合のみ設定できます。画質モードHIの画像に比べてファイルサイズが小さくなります。RAWに設定時は「撮影メニュー：彩度調整」をモノクロに設定しないでください。
HI	TIFF			画像の圧縮を行わないため、細部の描写が維持されます。幅広いアプリケーションに対応できるTIFF形式で保存します。画像サイズがFULL、3：2の場合のみ設定できます。
FINE	JPEG	約1/4	↑	画像を拡大する場合や、細かい模様をプリンタで表現したい場合に適しています。
NORMAL	JPEG	約1/8		通常の記念撮影などの画像をコンピュータ画面に表示したり、プリントする場合に適しています。
BASIC	JPEG	約1/16	↓ 低	電子メールで送る画像やホームページ用の画像に適しています。

画質モードは、ボタンを押して選択します。



- ボタンを押すごとに、**NORMAL → FINE → HI → RAW → BASIC** の順に切り換わります。
- セットしたい画質モードが、表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）に表示されたら、セット完了です。



RAW 画像（NEF 形式）について

CCD（撮像素子）からの生出力を 12bit のデータで記録します。復元には、Nikon View または Nikon Capture 3（別売）が必要です。

RAW 画像を HI 画像に変換する

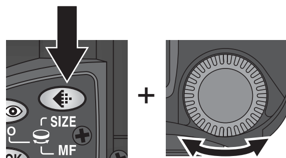
RAW 画像（NEF 形式）を Nikon View または Nikon Capture 3（別売）以外のアプリケーションで再生するには、HI画像（TIFF形式）に変換してください。TIFF形式のファイルはほとんどのアプリケーションに対応します。COOLPIX5700では、再生モードの 1 コマ再生時に RAW 画像を HI 画像に変換することができます（79）。変換すると新しいファイル名となり、画像ファイルの拡張子が .NEF から .TIF に変わります。

画像サイズ

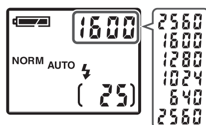
6種類の画像サイズから選択できます。画像サイズを大きくすると、画像ファイルが大きくなり、コンパクトフラッシュカード内の空き容量が減少します。大きくプリントするときなどに適しています。画像サイズを小さくすると画像ファイルが小さくなり、電子メールを送る場合やホームページ用の画像として適しています。ただし、小さい画像サイズで大きくプリントしようとすると、粒子が粗い画像になります。コンパクトフラッシュカードの容量や撮影の状況に応じて画像サイズを選択してください。

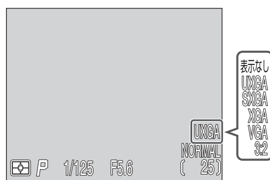
画像サイズ	サイズ（ピクセル）	プリント時のサイズ（300dpi の場合）
FULL	2560 × 1920	約 22 × 16 cm
UXGA	1600 × 1200	約 14 × 10 cm
SXGA	1280 × 960	約 11 × 8 cm
XGA	1024 × 768	約 9 × 6 cm
VGA	640 × 480	約 5 × 4 cm
3 : 2	2560 × 1704	約 22 × 14 cm

画像サイズは ボタンを押しながら、コマンドダイヤルを回して切り換えます。



- ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、**FULL → UXGA → SXGA → XGA → VGA → 3:2** の順に切り換わります。
- セットしたい画像サイズが表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）に表示されたらセット完了です。





- セットした画像サイズは、名称（UXGA、SXGA など）で液晶モニタまたは電子ビューファインダーに表示されます。
- 表示パネルには、ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回しているときに、画像サイズがピクセル数（1600、1280 など）で表示されます。
- FULLにセットした場合、液晶モニタまたは電子ビューファインダーに画像サイズは表示されません。



プリントのサイズ

撮影した画像を印刷するときのプリントのサイズは、プリンタの解像度によって変わります（解像度が高いほどプリントのサイズは小さくなります）。

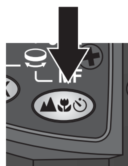
フォーカスモードについて

撮影目的に応じて３種類のフォーカスモードとセルフタイマーが選択できます。

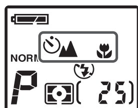
フォーカスモード	機　能	使用場面
（表示なし） 通常 AF	被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。	レンズから50cm以上の被写体を撮影するときに使用します。
遠景	フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます（AF表示は表示されません）。スピードライトは発光しません。	窓越しの景色や風景、建物など、遠くにある被写体を撮影するときに使用します。
マクロ	液晶モニタの マークが黄色で表示されるズーム位置（ミドルポジション）では、レンズ前約3cmまで被写体に近づけます。	花や虫など小さな被写体の近接撮影に使用します。
セルフタイマー	約10秒または約3秒のセルフタイマー撮影が選択できます。マクロ撮影も可能になり、マクロモードマーク（ ）も同時に表示されます。	撮影者自身が写りたいときやシャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防止したいときに使用します。

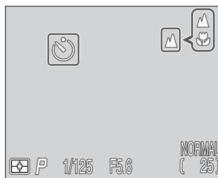
フォーカスモードは ボタンを押して切り換えます。

- ボタンを押すごとに**表示なし**（通常AF）→ → → の順に切り換わります。



- セットしたいフォーカスモード表示が表示パネルまたは液晶モニタに表示されたらセット完了です。





 オートフォーカス（AF）が苦手な被写体について

COOLPIX5700のオートフォーカス（AF）機能は、次の場合は条件によってオートフォーカスでのピント合わせが正常にできないことがあります。

- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠い被写体と近い被写体が混在する場合（オリの中の動物など）
- 被写体の動きが速い場合

オートフォーカスでのピント合わせが正常に行えない場合は、AFロックで撮影したい被写体と同距離の他の被写体にピントを合わせるか、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください（76）。

 マクロモードについて

液晶モニタのマクロモードマーク（）が黄色で表示されるズーム位置（ミドルポジション）では、レンズ前3cmまでの被写体にピントを合わせることができます。

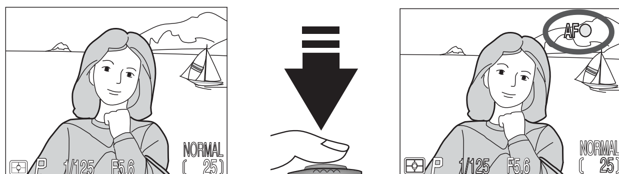
ズーム位置が望遠側より広角側の方が、近距離にある被写体にピントを合わせることができます。ただし、印刷物や名刺などの撮影を行う場合は、ピントが合う範囲で歪曲の少ない望遠側にズームすることをおすすめします。

AF（AE）ロック撮影

AFロック撮影は、被写体を画面の中央以外の場所に配置する場合など構図を工夫したい撮影や「オートフォーカスが苦手な被写体」（52）の撮影などに使用します。

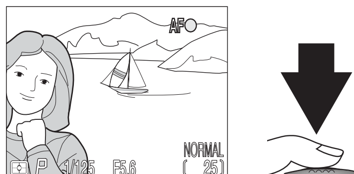
1 **写したい被写体を画面の中央に合わせてシャッターボタンを半押しします。**

- ピントが合うとAF表示が点灯します。
- シャッターボタンを半押ししている間は、ピントと露出が固定されます。



2 **シャッターボタンを半押ししたまま構図を変え、シャッターボタンを押し込んで撮影します。**

- シャッターボタン半押し後は、ピントが固定されていますので、被写体との距離を変えないでください。
- 被写体が動いた場合は、ピントを合わせ直してください。



LOCK（AE/AFロック）ボタン

LOCK ボタンを押すことでAF（AE）ロック撮影が可能です。初期設定では、露出値（AE）とフォーカス（AF）の両方が固定されます。また、SET-UPメニューの「ボタン設定：AE-L, AF-L」（128）を「AE-L」に設定すると、LOCK ボタンを押している間は露出のみを固定するAEロックが可能になります。

AEロック撮影は、特に露出を合わせたい部分に LOCK ボタンを押して露出値を固定し、LOCK ボタンを押したまま構図を変え、ピントを合わせて撮影します。露出を合わせたい部分とその周囲の明るさが著しく異なる場合などに便利です。

中央のAFエリア選択（107）とスポット測光または中央部重点測光（97）を組み合わせると効果があがります。

セルフタイマー撮影

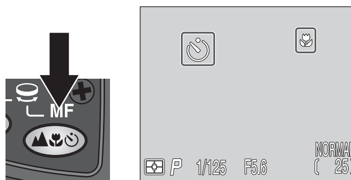
記念写真など、撮影者自身が写りたいときや、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防止したいときなどに使うと便利です。

1 **カメラを固定します。**

- 三脚などを使用してカメラを安定させてください。

2 **ボタンを押して、セルフタイマー表示を点灯させます。**

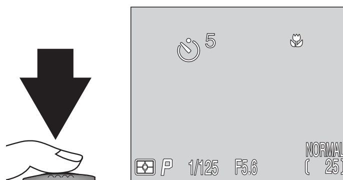
- 同時にマークも表示され、マクロモード撮影も可能になります。



3 **構図を決め、シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。**

4 **シャッターボタンを深く押し込んで、セルフタイマーを作動させます。**

- シャッターボタンを1度押すと10秒タイマーが、2度押すと3秒タイマーが作動します。セルフタイマーが作動し始めると操作音が鳴り、液晶モニタまたは電子ビューファインダーにタイマー時間がカウントダウン表示されます。セルフタイマーランプ（赤目軽減ランプ）は、シャッターが切れる約1秒前まで点滅し、撮影前の約1秒間点灯します。
- 作動中のセルフタイマーを停止するときは、シャッターボタンを10秒タイマー時には2度、3秒タイマー時には1度押します。



ズーム機能について

COOLPIX5700は８倍の光学ズームと、さらに４倍にする電子ズーム（合計32倍）を装備しています。ズームボタンで被写体の大きさを変えることができます。

光学ズーム

８倍の光学ズームは、カメラのズームレンズを使用して、被写体を８倍まで拡大します。

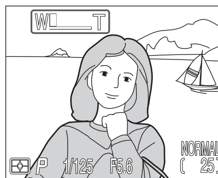


広角



望遠

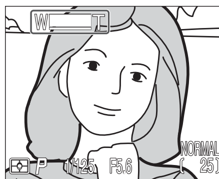
W を押すとレンズが広角側に、T を押すと望遠側にズーミングします。



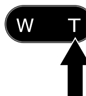
ズームボタンを押している間、液晶モニタまたは電子ビューファインダーにズーム表示が表示されます。

電子ズーム

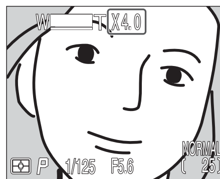
光学ズームを最も望遠側にして、T ボタンを２秒以上押し続けると、さらに４倍までの電子ズーム（合計32倍）が作動します。



T ボタンを押して光学ズームを最も望遠側にします。



T ボタンを２秒間押し続けます。



電子ズームが作動すると、液晶モニタに電子ズーム倍率が表示されます。

- 動画モードの場合、電子ズームで約２倍まで拡大することができます。
- 電子ズームをキャンセルするには、液晶モニタに表示されている電子ズーム倍率が消えるまで W ボタンを押してください。

電子ズームについて

- 電子ズームは、カメラがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を画面全体に拡大するため、電子ズームの倍率が高くなるにつれ、粒子の粗い画像になります。
- 電子ズームの作動中は、AFエリアが中央に固定され、測光モードが中央部重点測光相当になります。

電子ズームを使用できない場合

次の場合は、電子ズームを使用することができません。

- 画質モードがRAW、HIにセットされている場合（47）
- 「連写」がマルチ連写、UH連写に設定されている場合（98）
- 「彩度調整」がモノクロに設定されている場合（103）
- 「コンバータ」がワイドコンバータに設定されている場合（104）
- カスタムNO.1、2、3設定時にSET-UPメニューの「ズーム：電子ズーム」がOFFに設定されている場合（129）

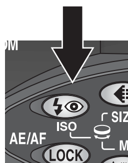
スピードライトモードについて

撮影目的や撮影意図に合わせて5種類のスピードライトモードを選択できます。

スピードライトモード	表示パネル	液晶モニタ	内　容
自動発光	AUTO ⚡	表示なし	被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しすると、内蔵スピードライトが自動的に上がり、撮影時に発光します。内蔵スピードライトが上がっていても、被写体が明るい場合は発光しません。
発光禁止	(発光禁止マーク)	(発光禁止マーク)	内蔵スピードライトの発光を禁止します。
赤目軽減自動発光	AUTO (赤目マーク) ⚡	(赤目マーク)	人物の目が赤く写ってしまう赤目現象を軽減します。撮影直前に赤目軽減ランプを発光させてから内蔵スピードライトが発光します。ポートレート撮影時に使用します（被写体が調光範囲内にいて赤目軽減ランプを見つめると効果的です）。赤目軽減ランプの発光からシャッターがきれるまで多少時間がかかりますので、動いている被写体を撮影する場合や早くシャッターをきりたい場合などにはおすすめできません。
強制発光	⚡	⚡	被写体の明るさにかかわらず、内蔵スピードライトが発光します。逆光時などに使用します。
スローシンクロ	AUTO ⚡ (スローシンクロマーク)	(スローシンクロマーク)	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせることにより、被写体も背景も明るく写します。

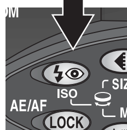
スピードライトモードは ⚡👁 ボタンを押してセットします。

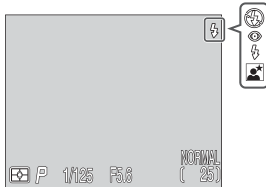
1

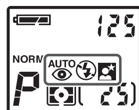


⚡👁 ボタンを押して、セットしたいスピードライトモード表示を表示させます。

2



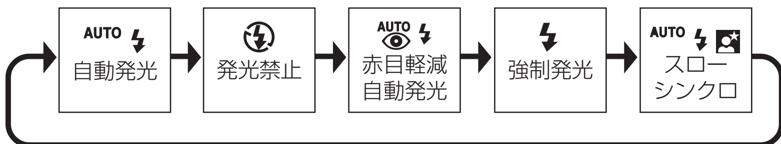




セットするスピードライトモード表示が表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）に表示されるまで、⚡👁 ボタンを押してください。

- スピードライトモードが自動発光にセットされている場合は、液晶モニタにアイコンが表示されません。

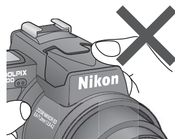
スピードライトモードは次のように切り換わります。



- 内蔵スピードライトを使用しない場合は、スピードライトの保護のため、内蔵スピードライトを収納することをおすすめします。

内蔵スピードライト使用上のご注意

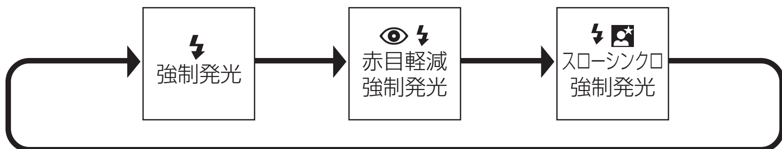
- COOLPIX5700は、初期設定では、被写体が暗いときにシャッターボタンを半押しすると内蔵スピードライトが自動的に上がるAUTOに設定されています（SET-UPメニュー：スピードライト 135）。また、外付けスピードライトを装着した場合にも内蔵スピードライトの調光センサーを使用するため、内蔵スピードライトが自動的に上がります（ 137）。
  内蔵スピードライトを指などで押さえないようにしてください。上がった内蔵スピードライトを指などで押さえてシャッターを切ると、内蔵スピードライトおよび外付けスピードライトは発光しません（画像は撮影されます）。この場合、シャッターボタンを半押ししたときに、液晶モニタに警告が表示されます。撮影の際は、スピードライトに触れないようにご注意ください。



- スピードライト発光部や調光センサーなどに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコードがかからないように注意してください。

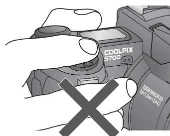
「スピードライト：POPUP」を「MANUAL」に設定している場合

SET-UPメニューの「スピードライト：POPUP」を「MANUAL」に設定している場合（ 135）には、 ボタンを押して内蔵スピードライトを上げた後にスピードライトモードを選択します。なお、この場合は被写体の明るさに関係なく常に発光します。MANUAL時のスピードライトモードは次のように切り換わります。



赤目軽減自動発光モードについて

赤目軽減自動発光モードにセットしたときは、指などで赤目軽減ランプをさえぎらないようにご注意ください。赤目軽減ランプがさえぎられていると、赤目軽減の効果がなくなります。赤目軽減ランプがさえぎられていないことをご確認の上、撮影してください。



低速シャッター時のご注意

- シャッタースピードが1/4秒より遅くなる撮影では、画像の暗い部分に星状のノイズが生じることがあります。このような場合には液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯して警告します。星状のノイズはノイズ除去（ 113）により軽減することができます。
- シャッタースピードが1/30秒より遅くなる撮影では、三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定することをおすすめします。

内蔵スピードライトが自動的に発光禁止になる場合

次の場合は内蔵スピードライトが自動的に発光禁止になります。

- フォーカスモードが遠景モードにセットされている場合（ 51）
- カスタムNO.1、2、3設定時に、BSSがONにセット（ 100）、連写が単写以外にセット（ 98）、コンバータがOFF以外にセット（ 104）、「露出制御：露出固定」がONにセット（ 105）、またはノイズ除去がクリアイメージモードにセット（ 113）されている場合

バッテリー残量が少ない場合

表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）にバッテリーチェック表示［表示パネル： 、液晶モニタ（電子ビューファインダー）： ］が点灯している状態で、内蔵スピードライトを発光した場合、発光後の充電中は液晶モニタが消灯します。ただし、電子ビューファインダー表示に切り換えている場合は、電子ビューファインダーは消灯しません。

スピードライト表示が点滅しているときは

シャッターボタンを半押しして、スピードライト表示が液晶モニタまたは電子ビューファインダーに点滅する場合は、スピードライトが充電中です。いったんシャッターボタンから指を離して、スピードライト表示が点灯してから再度シャッターボタンを押してください。

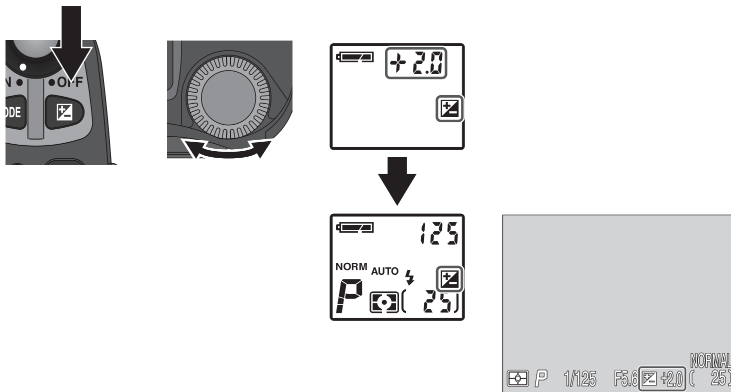


露出補正について

被写体が非常に明るかったり、非常に暗かったりする場合や、被写体の明るさの差が著しく異なる場合には、露出補正の数値を変えることで画像の明るさを調整できます。

ボタンを押しながら、コマンドダイヤルを回して露出補正値を選択します。

- 露出補正値は－2.0EVから＋2.0EVの範囲で1/3ステップごとにセットすることができます。



- ±0.0以外にセットすると、表示パネルには （露出補正マーク）が、液晶モニタ（または電子ビューファインダー）には と補正値が表示されます。



露出補正値の選択

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは露出補正値を＋側にセットしてください。
- 構図の大部分が暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは補正値を－側にセットしてください。

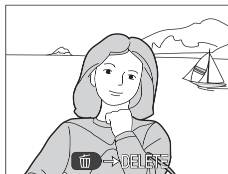


露出補正をキャンセルするには

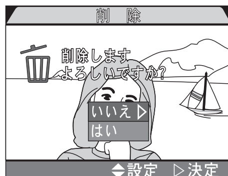
露出補正をキャンセルするときは露出補正値を±0.0にセットしてください。ただし、カスタムNO.Aにセット時は電源をOFFにするとキャンセルされます。

記録中の画像の削除

撮影後画像がコンパクトフラッシュカードへ記録されるまでの数秒間、液晶モニタには、撮影画像と 🗑⇒DELETE （クイックデリートマーク）が表示されます。この間に 🗑 ボタンを押すと、画像を削除することができます。



🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されますので、マルチセレクターの▲または▼を押して、「はい」か「いいえ」を選択します。▼を押すと選択が実行されます。



- 「いいえ」を選択した場合：

  画像は削除されず、コンパクトフラッシュカードに記録されます。

- 「はい」を選択した場合：

  画像は記録されず、削除されます。

カスタム NO. の設定

初期設定では、カメラの各機能がカメラまかせのオート撮影になるカスタムNO.Aに設定されています。カスタム NO.1、2、3 に設定すると、露出モードや撮像感度をセットしたり、マニュアルフォーカスで撮影できるほか、撮影メニューで各機能の設定が行えます。

カスタム NO.1、2、3 設定時のみに使用できる撮影機能は右のとおりです。

撮影機能	👁
露出モード	65
撮像感度	74
マニュアルフォーカス	76
撮影メニュー	94

撮影メニューで設定した項目の一部は、そのとき選択しているカスタムNO.に記憶されます。カメラの電源を OFF にしたり、他のカスタム NO. を選択しても記憶された設定内容は失われず、再度そのカスタムNO.を選択することにより呼び出せます。撮影意図に合わせて撮影メニューの設定の組み合わせをカスタムNO.1、2、3のそれぞれ3通りに設定を記憶させておくと、簡単に自分の好みの設定に切り換えることができて便利です。

カスタム NO. に記憶させることができる撮影メニュー項目は右のとおりです。

- これらのメニュー項目が初期設定以外に設定されると、メニュー画面（次ページの手順３）で表示されているアイコンが赤色表示されます。

  ※ 輪郭強調のアイコンはメニュー画面には表示されませんが、設定内容は記憶されます。

撮影メニュー項目	👁
ホワイトバランス	95
測光方式	97
連写	98
BSS	100
階調補正	102
彩度調整	103
コンバータ	104
輪郭強調	109

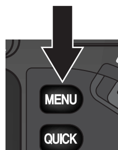


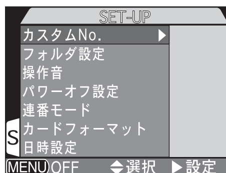
FUNC（FUNC）ボタン（👁 127）

初期設定では、FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより、メニュー画面を表示しなくてもカスタムNO.を変更することができます。FUNC ボタンが押されている間は、表示パネルのシャッタースピード／絞り値表示部に、現在設定されているカスタム NO. が表示されます。

カスタム NO. の設定は次の手順で行います。

1

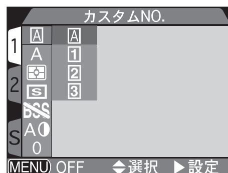




モードセレクターを （撮影モード）にセットして、MENU ボタンを押します。SET-UP メニューまたは撮影メニューが表示されます。

2

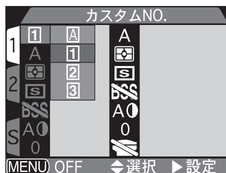




マルチセレクターの▶を押すと、カスタム NO. が表示されます。

3





カスタム NO. を選択します。

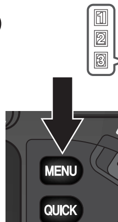
4

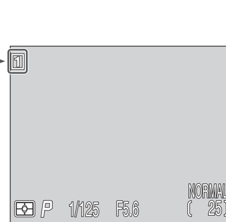




◀または▶を押すと、選択したカスタム NO. の撮影メニューが表示されます。

5





MENU ボタンまたはマルチセレクターを押して、メニュー画面の最終ページ（MENU OFF）を表示させて、MENU ボタンを押すと、撮影メニューが終了し、撮影画面に戻ります。設定したカスタムＮＯ．（A を除く）が液晶モニタまたは電子ビューファインダーに表示されます。

応用的な撮影機能（カスタムNO.1、2、3設定時）

ここでは、カスタムNO.を1、2、3のいずれかに設定した場合のみにできる操作を説明します。カスタムNO.を1、2、3に設定すると、これまで紹介してきた撮影機能の他に、露出モード、撮像感度、マニュアルフォーカスなどを使って撮影できます。

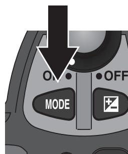
露出モードについて

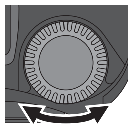
撮影状況に応じて露出モードを次の4種類から選択できます。

露出モード	機　能	使用場面
P プログラムオート	適正露出となるようにシャッタースピードも絞り値もカメラが自動的にセットします。プログラムシフト（67）や露出補正（61）などで、撮影者の意思も反映できます。	ほとんどの撮影状況に対応できます。
S シャッター優先オート	撮影者がセットしたシャッタースピードに合わせて適正露出となるように、カメラが自動的に絞り値をセットします。	動きの速い被写体の瞬間を速いシャッタースピードで撮影したり、遅いシャッタースピードで動きを強調したりする場合などに使用します。
A 絞り優先	撮影者がセットした絞り値に合わせて適正露出となるように、カメラが自動的にシャッタースピードをセットします。	手前から奥まで鮮明に写したり、背景の描写をやわらげたいときなどに使用します。
M マニュアル	シャッタースピードも絞り値も撮影者が自由にセットできます。	露出を自由にコントロールしたい場合に使用します。

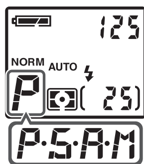
露出モードは MODE ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回してセットします。

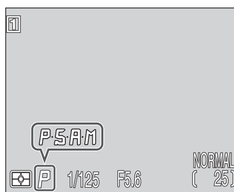
- MODE ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、**P**（プログラムオート）→**S**（シャッター優先オート）→**A**（絞り優先オート）→**M**（マニュアル）の順に切り換わります。





- セットしたい露出モードが、表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）に表示されたらセット完了です。





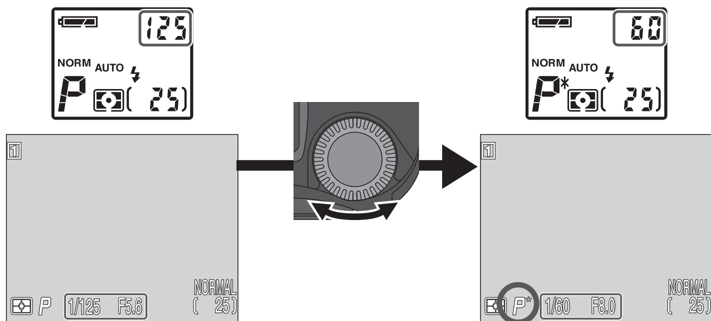
P プログラムオート

被写体の明るさに応じてシャッタースピードと絞り値の最適な組み合わせをカメラが自動的にセットします。ほとんどの撮影状況で対応できます。プログラムシフト、露出補正（61）、ブラケティング（110）などによって、撮影者の意図も反映できます。

プログラムシフトについて

露出モードを**P**にセットし、コマンドダイヤルを回すと、露出値を変えずにシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができるプログラムシフトが可能です。この機能により、プログラムオートのままシャッター優先オート（**S**）や絞り優先オート（**A**）のような使い方ができます。

- プログラムシフトを行うには、表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）に表示されるシャッタースピードと絞り値の表示がセットしたい組み合わせになるまで、コマンドダイヤルを回してください。プログラムシフト中は、表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）の露出モード表示（**P**）の横にプログラムシフトマーク（＊）が点灯します。

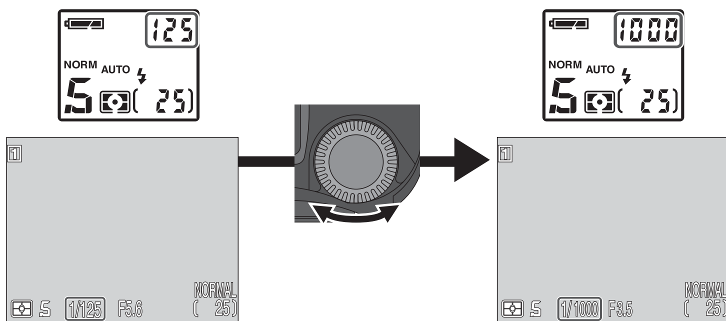


- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク（＊）が消灯するまでコマンドダイヤルを回してください。カスタムNO.の設定を変える、再生モードに切り換える、露出モードを変える、電源スイッチをOFFにするなどでも解除できます。
- 表示パネル上にはシャッタースピードか絞り値のどちらか一方が表示されます。表示を切り換えるには MODE ボタンを押します。
- カスタム NO.A に設定時は、プログラムシフトはできません。

S シャッター優先オート

撮影者が任意にセットしたシャッタースピード（8秒～1/4000秒）に合わせて、適正露出になるように、カメラが絞り値を自動的に設定します。被写体の動きを速いシャッタースピードで写し止める、または遅いシャッタースピードで流動感を強調するなど、好みのシャッタースピードにセットできます。スポーツシーンの撮影などシャッタースピードを重視した撮影に最適です。

露出モードを **S** にセットし、コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを8秒～ 1/4000 秒の範囲で1段ごとにセットできます。



- **設定したシャッタースピードが暗すぎたり、明るすぎたりしてカメラの制御範囲を超えている場合：**
  シャッターボタンを半押しすると、表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）上のシャッタースピード表示が点滅します。この場合は適正な露出が得られませんので、設定したシャッタースピードを変えてください。
- **1/4 秒より低速のシャッタースピードに設定する場合：**
  撮影画像に星状のノイズが出ることがあるため、液晶モニタ（または電子ビューファインダー）上のシャッタースピード表示が黄色く点灯して警告します。この場合は、ノイズ除去（113）を ON に設定することをおすすめします。

シャッタースピードの使用制限

連写モードでUH連写または動画を設定した場合（98）、1秒間に撮影されるコマ数は一定になります。1コマが進む速さ（UH連写では1/30秒、動画では1/15秒）以下の低速にシャッタースピードをセットすることはできません。

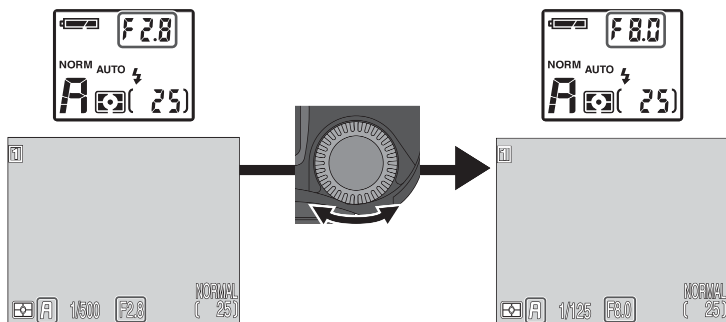
1/4000の高速シャッタースピード

1/4000の高速シャッタースピードでは絞りに制限がかかります。ズームを最も広角側にしたときはF5.0～F8.0、最も望遠側にしたときはF7.4で絞り値が制御されます。

A 絞り優先オート

撮影者が任意にセットした絞り値（開放絞り〜最小絞り）に合わせて、適正露出になるように、カメラがシャッタースピード（8 秒〜 1/4000 秒）を自動的に設定します。開放絞り側（小さい数値）にして背景をボカした美しいポートレート写真を撮ったり、最小絞り側（大きい数値）で奥行きのある風景を鮮明に写すなど、好みの絞りにセットできます。被写界深度（ピントの合う前後の範囲）を優先した撮影に最適です。

露出モードを**A**にセットし、コマンドダイヤルを回すと、絞り値を開放絞り（最も数値の小さい絞り）〜最小絞り（最も数値の大きい絞り）の範囲で、1/3 段ごとにセットできます。



- **設定した絞り値がカメラの制御範囲を超えている場合：**
  シャッターボタンを半押しすると、表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）上の絞り値表示が点滅します。この場合は適正な露出は得られませんので、設定した絞り値を変えてください。

絞りとズーム

絞り値（F 値）とはレンズの明るさを示す値で、数値が小さくなるにしたがって明るくなり、大きくなるにしたがって暗くなります。また、レンズの絞りの一番小さい数値を開放絞り値といい、一番大きい数値を最小絞り値といいます。COOLPIX5700 のレンズ（8.9 〜 71.2mm F2.8 〜 4.2）はズーミングによって絞り値が変化します。通常、望遠側にすると絞り値が大きくなり、広角側にすると、絞り値が小さくなります。SET-UP メニューの「ズーム：ズーム時 F 値保持」（130）をONにすると、この絞り値の変化を最小限におさえることができます（制御できる絞り値の範囲は F5 〜 F8 です）。

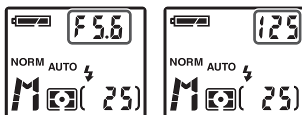
M マニュアル

シャッタースピードも絞り値も撮影者が自由にセットします。シャッタースピードは、最長５分までの長時間露出（BULB）および８秒～1/4000秒の範囲で１段ごとに、絞り値は開放絞り～最小絞りの範囲で1/3段ごとにセットできます。個性的な映像表現をしたいときに効果的です。

1 露出モードをMにセットした後、いったん MODE ボタンから指を離します。

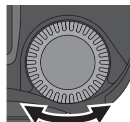
2 MODE ボタンを押します。

シャッタースピード表示または絞り値表示が選択されます。

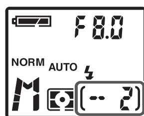


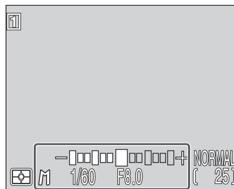
- 表示パネルでは、MODE ボタンを押すごとにシャッタースピード表示と絞り値表示が切り換わります。
- 液晶モニタおよび電子ビューファインダーでは、MODE ボタンを押すごとにシャッタースピード表示と絞り値表示が交互に緑色に表示されます。

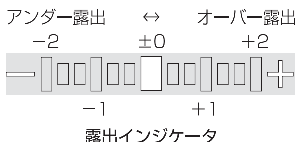
3 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピードまたは絞り値をセットします。



- 設定した絞り値とシャッタースピードの組み合わせによる露出値と、カメラが測光した適正露出値の差が、表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）に表示されます。
- 表示パネルではEV値（EV近似値）で表示され、８秒経過すると撮影可能コマ数表示に変わります。露出値の差が9EV以上の場合は「－９」または「＋９」が点滅警告します。
- 液晶モニタ（または電子ビューファインダー）では露出インジケータに－2EVから＋2EVの範囲で1/3段ごとに表示されます。







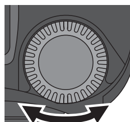
露出インジケータ

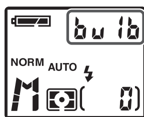
4 ステップ2、3を繰り返して、絞り値とシャッタースピードの両方をセットします。

マルチセレクターで設定する

シャッタースピードと絞り値をマニュアルでセットするときは、マルチセレクターを使用すると便利です。MODE ボタンを押しながらマルチセレクターの◀または▶を押すと、シャッタースピードと絞り値のうち、表示パネルまたは液晶モニタ（または電子ビューファインダー）上で選択されていない方をセットすることができます（シャッタースピードが緑色で表示されているときは絞り値を、絞り値が緑色で表示されているときはシャッタースピードをマルチセレクターでセットできます）。

長時間露出撮影（BULB）について





シャッタースピードを8”（8秒）の次のbulbにセットすると最長5分までの長時間露出になり、シャッターボタンが押されている間はシャッターが開いたままになります。

- 撮影を終了するにはシャッターボタンから指を離してください。
- 長時間露出撮影（BULB）時は、三脚とリモートコードMC-EU1（別売）をご使用ください。
- 長時間露出撮影時に、画像の暗い部分に発生する星状のノイズを軽減するため、ノイズ除去（113）をONにすることをおすすめします。
- 長時間露出撮影（bulb）が設定できるのは、連写モードが単写の場合（98）に限られます。
- 撮影メニューの「露出制御：BULB時間制限」で撮影時間［1分（初期設定）･5分］を変更できます（106）。



動画撮影

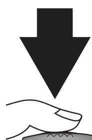
画像サイズQVGA（320×240ピクセル）の動画を音声付きで約60秒間撮影できます。

1 撮影メニューの「連写」を「動画」に設定します。

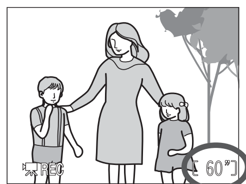


- メニューの操作方法については「メニュー操作」をご覧ください（91）。

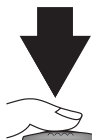
2 シャッターボタンを深く押し込むと、動画の撮影を開始します。



- 液晶モニタには撮影可能コマ数のかわりに、記録可能な時間が表示されます。



3 シャッターボタンをもう一度深く押し込むと、動画の撮影を終了します。



- 動画の撮影は約60秒で自動的に終了します。また、コンパクトフラッシュカードの記録容量がなくなった場合も自動的に終了します。
- 動画の再生については「動画再生」をご覧ください（84）。



動画撮影時について

- 電子ズーム（55）で約2倍まで拡大することができます。
- スピードライトは発光しません。
- 対面撮影を行った場合は、液晶モニタに表示される画像と再生される画像はいずれも上下逆になります。
- 動画は画像サイズ320×240で15フレーム／秒で撮影されます。拡張子は「.MOV」の「Quick Time ムービーファイル」として記録されます。

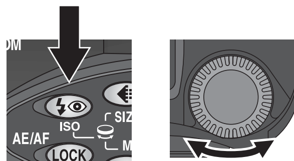
撮像感度について

撮像感度は、カメラが光に対して反応する感度を表したものです。感度が高くなればある一定の露出を行うために必要な光の量は少なくなり、より高速のシャッタースピード、またはより絞った絞り（大きい数値の絞り）で適正露出を得ることができます。高い撮像感度は高速シャッターを可能にしますが、撮影された画像にはノイズが出て、粒子が粗くなることがあります。

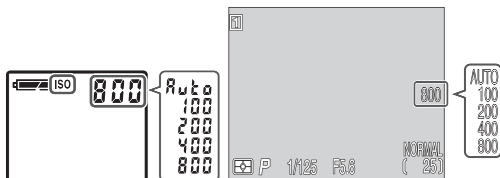
標準ではISO100相当の撮像感度を、撮影目的に応じて変更することができます。撮像感度は次の５種類から選択できます。

撮像感度	内　容
AUTO	通常はISO100相当に設定されますが、低輝度時には自動的に感度アップします（ISO400 相当まで）。
100	ISO100相当。低輝度時や、高速シャッタースピードが必要な場合（例：動いている被写体を撮影する場合）以外の通常の撮影では、この感度に設定することをおすすめします。この感度より高い感度で撮影するとノイズが出る場合があります。
200	ISO200 相当
400	ISO400 相当
800	ISO800相当。画像に目立つほどのノイズが出るため、液晶モニタまたは電子ビューファインダー上に「800」と赤色で表示されます。低輝度時に自然光で撮影する場合や高速シャッタースピードで手ブレを防止したい場合のみご使用ください。ザラついた画像になるため撮影メニューの「輪郭強調」（109）をOFF にして撮影することをおすすめします。

撮像感度はISO（⚡◉）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回してセットします。



- **ISO**（⚡◉）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、**AUTO→800→400→200→100**の順に切り換わります。
- セットしたい撮像感度が表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）に表示されたら、セット完了です。



- 撮像感度を**AUTO**にセットして、自動的に100より高くなった場合は、表示パネルに**ISO**（感度変更マーク）が表示されます。

撮像感度を上げたときに生じる星状ノイズについて

撮像感度を上げると、撮影画面上に星状ノイズが生じる場合があります。撮影時のシャッタースピードが1/30秒以下の低速シャッタースピードであれば、ノイズ除去をONにすることにより星状ノイズを軽減することができます（113）。

露出モード

露出モードを**S**（シャッター優先オート）か**M**（マニュアル）に設定すると、撮像感度はAUTO設定時も明るさによって変化せず100のままとなります。

スピードライトを使用する場合について

スピードライトの撮像感度連動範囲は**AUTO**、**100**、**200**、**400**です。スピードライトを使用する場合は撮像感度を**AUTO**、**100**、**200**、**400**のいずれかに設定してください。**800**は自然光での撮影を目的とした感度ですので、おすすめできません。

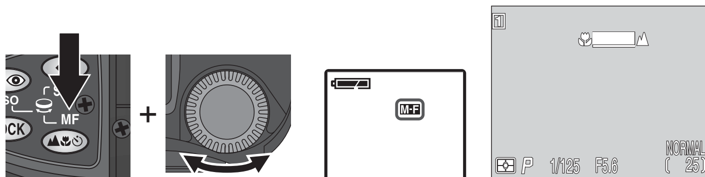
マニュアルフォーカスについて

初期設定ではカメラが被写体に自動的にピントを合わせるオートフォーカスに設定されています。マニュアルフォーカスに設定すると、撮影意図に合わせて撮影者自身が被写体にピントを合わせることができます。被写体との撮影距離をあらかじめ想定して撮影する場合や、オートフォーカスではピントが合わない場合に便利です。

1 MFボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すとマニュアルフォーカスに切り換わり、液晶モニタまたは電子ビューファインダーにはマニュアルフォーカスインジケータが、表示パネルには M·F マークが表示されます。

2 MFボタンを押したまま、マニュアルフォーカスインジケータを目安にして、写したい被写体のピントが合うまでコマンドダイヤルを回してください。

- セットできる撮影距離（レンズ前面より被写体までの距離）は、約3cm（🌷）（ズーム位置はミドルポジション）から無限遠（▲）までです。



- マニュアルフォーカスで撮影すると、液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭が強調されてピントが確認しやすいピーキング（👁 108）に自動的にセットされます（撮影メニューの「フォーカス：ピーキング」でOFFセット時を除く）。
- マニュアルフォーカスを解除するには **MF** ボタンを押してください。



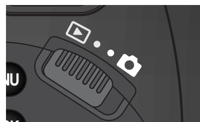
マニュアルフォーカス時のご注意

- マニュアルフォーカスとセルフタイマー（👁 51）を併用する場合は、セルフタイマーをセットしてからマニュアルフォーカスをセットしてください。
- マニュアルフォーカスインジケータの 🌷 側にセットすると、ズームの領域によってピントが合わない場合があります。この場合、液晶モニタまたは電子ビューファインダーにマニュアルフォーカスインジケータが赤く表示されます。
- マニュアルフォーカスをセットした後にズーミングした場合は、マニュアルフォーカスを再度セットし直してください。

再生機能の詳細

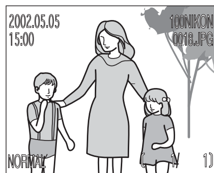
モードセレクターを ▶（再生モード）にセットしたときのさまざまな操作について説明します。

モードセレクターを ▶（再生モード）にセットすると再生モードになり、液晶モニタには最後に撮影された画像が表示されます。ここでは、マルチセレクターやボタンを使用する再生モードの操作について説明します。



1 コマ再生モード

1 コマ再生モード時は次の操作が可能です。



目　的	ボタン	カメラの動作
別の画像を見る	▲◀▶▼	▲または◀を押すと、現在液晶モニタに表示されている画像の一つ前に撮影した画像を見ることができます。▼または▶を押すと、現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。
サムネイル表示にする	▦（W）	▦（W）ボタンを押すと４コマの縮小した画像が表示されるサムネイルモードになります（80）。
表示されている画像を削除する	🗑	🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▶を押すと、選択が実行されます。 削　除 1枚削除します よろしいですか? いいえ ▷ はい ⇕設定　▷決定 • いいえ：表示されている画像は削除されず、そのまま保存されます。 • はい：表示されている画像は削除されます。
動画を再生する	QUICK	QUICK ボタンを押すと動画の再生を開始します（84）。
表示されている画像を拡大する	Q（T）	Q（T）ボタンを押すと、画像が最大6倍まで拡大されます（81）。

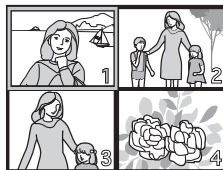
目　的	ボタン	カメラの動作
画像情報表示を切り換える	(コマンドダイヤル)	コマンドダイヤルを回すと、5 種類の画像情報表示が順番に切り換わります（☞ 82）。
再生メニューを表示する	MENU	MENU ボタンを押すと、再生メニューが表示されます（☞ 143）。
RAW 画像を HI 画像に変換する	QUICK	RAWで撮影された画像は、1コマ再生モード時にHI画像に変換することができます。 **1** QUICK ボタンを押すと、「RAW 画像を HI 画像に変換しますか？」という画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▶を押すと、選択が実行されます。 RAW→HI / RAW画像を HI画像に 変換しますか？ / いいえ / はい ▷ / ⬍設定 ▷決定 • いいえ：再生している RAW 画像は HI に変換されません。 • はい：再生している RAW 画像を H I に変換して別画像として保存します。 **2** RAW画像をHIに変換すると、「RAW画像を削除しますか？」という削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▶を押すと、選択が実行されます。 • いいえ：元のRAW画像は削除されず、保存されます。 • はい：元の RAW 画像は削除されます。

RAW 画像を HI 画像に変換する場合のご注意

RAW画像をHI画像に変換すると、新しいファイル名となり、画像ファイルの拡張子が.NEFから.TIFに変わります。HI画像に変換された画像ファイルは、コンパクトフラッシュカードに記録されますので、コンパクトフラッシュカードの空き容量を十分に確保してから変換してください（1画像あたり、約15MBの空き容量が必要です）。

サムネイルモード

1コマ再生モード時に ▦（W）ボタンを押すと、液晶モニタに最大9コマまでの縮小した画像（サムネイル画像）が表示される「サムネイルモード」になります。

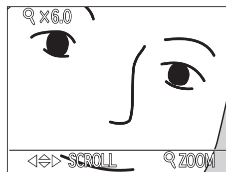


操作は次の表のとおりです。

目　的	ボタン	カメラの動作
画像を選択する	マルチセレクター	マルチセレクターの▲、▼、◀、▶を押して画像を選択します。
画面のスクロール	コマンドダイヤル	コマンドダイヤルを回すと、1画面分のスクロールを行います。
表示コマ数を変更する	▦（W）／T	サムネイル画像の4コマ表示時に ▦（W）を押すと、サムネイル画像の9コマ表示になります。9コマ表示時に T ボタンを押すと4コマ表示に、4コマ表示時に T ボタンを押すと1コマ表示（1コマ再生モード）に切り換わります。
選択された画像を削除する	🗑	🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの ▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」を選択します。 ▶を押すと、選択が実行されます。 （画面：削除　1枚削除します　よろしいですか?　いいえ ▷　はい　⬍設定 ▷決定） • いいえ：選択された画像は削除されず、そのまま保存されます。 • はい：選択された画像は削除されます。

拡大表示

1 コマ再生モード時に Q(T) ボタンを押すと、表示された画像を拡大表示できます。



目　的	ボタン	カメラの動作
画像を拡大表示する	Q(T)	T ボタンを押すごとに画像を拡大表示します。最大約6倍まで拡大されます。拡大表示中は Q 表示と拡大倍率が液晶モニタの左上に表示されます。
画像の他の部分を表示する	マルチセレクター	マルチセレクターの◀、▼、▲、▶を押すと、画像をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。
拡大表示を終了する	W	拡大表示時に W ボタンを押すと、拡大表示を終了して 1 コマ再生モードに戻ります。



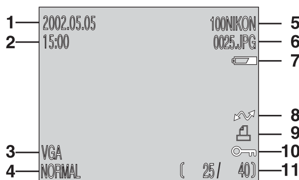
拡大表示モードについて

- 拡大表示の状態から前後の画像を表示する場合は、いったん拡大表示モードを終了してから画像の表示を切り換えてください。
- 画像モードがRAWおよびHIの画像では、拡大画像の表示までに時間がかかることがあります。
- UH 連写の画像、動画の拡大表示はできません。

画像情報

再生モードで表示される画像には画像情報が表示され、5種類の画像情報表示画面に切り換えることができます。
コマンドダイヤルを回すと、画像情報表示画面は次のように切り換わります。
1. 基本画面→2. 詳細情報表示画面 1 →3. 詳細情報表示画面 2 →4. ヒストグラム表示画面→5. ピーキング表示画面

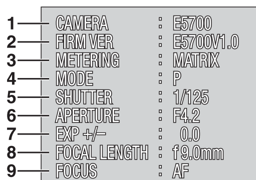
1. 基本画面



1 撮影日付
2 撮影時刻
3 画像サイズ
4 画質モード
5 フォルダ名
6 ファイル名
7 バッテリーチェック表示*
8 転送マーク
9 プリント表示
10 プロテクト表示
11 表示画像番号／選択されたフォルダで表示可能な総画像コマ数

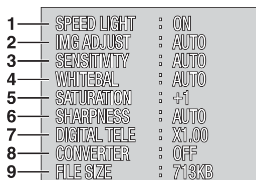
* バッテリー残量が少なくなった場合に表示されます。

2. 詳細情報表示画面 1



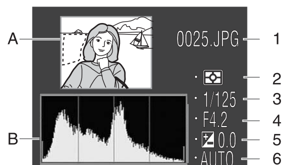
1 撮影カメラの機種
2 カメラのファームウェアのバージョン
3 測光方式
4 露出モード
5 シャッタースピード
6 絞り値
7 露出補正値
8 焦点距離
9 フォーカスモード

3. 詳細情報表示画面 2



1 スピードライト
2 階調補正
3 撮像感度
4 ホワイトバランス
5 彩度調整
6 輪郭強調
7 電子ズームの倍率
8 コンバータ
9 撮影画像のファイルサイズ

4. ヒストグラム表示画面



A 画像のハイライト部分を白黒の点滅で表示します。

B 画像の輝度分布をヒストグラムで表示します。横軸は輝度（0～255）を、縦軸はドット数を表します。軸のスケールはドット数の最大値により変わります。

1 ファイル名
2 測光方式
3 シャッタースピード
4 絞り値
5 露出補正値
6 撮像感度

5. ピーキング表示画面



画像中でピントが合っている被写体の輪郭を強調して表示します。

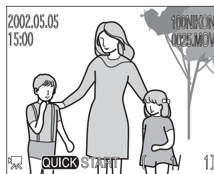
1 ファイル名
2 焦点距離
3 シャッタースピード
4 絞り値
5 フォーカスモード
6 ノイズ除去
7 選択 AF エリア（赤色で表示）

再生画像のファイル名とフォルダ名

COOLPIX5700で撮影した画像はDSCN0001～DSCN9999という名前で記録されます。このファイル名はカメラが自動的に作成するもので、4桁の番号は撮影順に連番で付けられます。各ファイル名の最後には画像のタイプを示す拡張子が付きます。静止画の場合、画質モードがFINE、NORMAL、BASIC時は.JPG、HI時は.TIF、RAW時は.NEF、動画の場合は.MOVです。また、ファイルを保存するフォルダ名には3桁のフォルダ番号（100～999）が付けられます。

動画再生

1 コマ再生モードでは、撮影された音声付き動画を液晶モニタで再生することができます。液晶モニタには動画であることを示す 🎬 が表示されます。音声は内蔵スピーカーで再生されます。



動画再生するには次の表の操作を行います。

目　的	ボタン	カメラの動作
動画再生を開始する	QUICK	QUICK ボタンを押すと、動画の再生が開始されます。再生が終了すると、最後のフレームが約 1 秒間表示された後、最初のフレームが静止画表示されます。
再生中に一時停止 / 再開する	QUICK	動画を一時停止します。
一時停止中に 1 フレーム戻る	▲ ◀	動画を一時停止している間に▲または◀を押すと、動画中の1フレーム前の画像をコマ送りで戻します。
一時停止中に 1 フレーム送る	▶ ▼	動画を一時停止している間に▼または▶を押すと、動画中の 1 フレーム後の画像をコマ送りで再生します。最後のフレームが表示されて一時停止している場合は再生が終了し、最初のフレームに戻ります。
音量を変える	W T	QUICK ⏸ 動画再生中に W ボタンを押すと音声が小さくなり、T ボタンを押すと音声が大きくなります。音声の大きさは大 ( )、中 ( )、小 ( )、音声なし ( ) の中から選択できます。

メニュー画面

この章では、カメラの液晶モニタまたは電子ビューファインダーに表示されるメニュー画面について、次の5部で説明しています。

メニュー一覧
COOLPIX5700で操作できるメニューを一覧で紹介します。

メニュー操作
メニュー画面の操作方法を説明します。

撮影メニュー
撮影に関する詳細な設定を行う撮影メニューの各項目について説明します。

SET-UP メニュー
カメラの基本的な機能の設定を行うSET-UPメニューの各項目について説明します。

再生メニュー
撮影された画像に関する設定を行う再生メニューの各項目について説明します。

メニュー一覧

撮影メニュー

撮影に関する設定を行う撮影メニューは、14項目（2ページ）のメニューがあります。撮影モード（📷）にセットして、カスタムNO.1、2、3のいずれかに設定した場合に使用できます。

- マークが付いている項目は、メニュー画面でコマンドダイヤル操作によって設定内容を切り換えることができます。

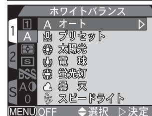


カスタムNO.

カメラまかせのオート撮影を行うにはカスタムNO.Aを、撮影メニューで各機能を設定するにはNO.1、2、3を選択します。

63

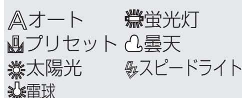




ホワイトバランス

撮影状況に合わせて、ホワイトバランスを選択します。

95





測光方式

露出を検出する測光方式を、撮影状況に応じて選択します。

97



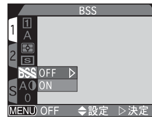


連写

撮影状況に合わせて単写、連写などの連続撮影モード、および動画を選択します。

98



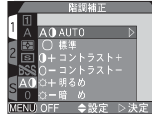


BSS

BSS（ベストショットセレクタ：手ブレの影響が最も少ない画像を選択して記録する機能）を設定します。

100

OFF
ON

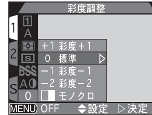


階調補正

画像のコントラストや明るさを調整します。

102

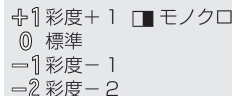




彩度調整

画像の鮮やかさを調整します。

103

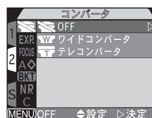




撮影モード（📷）
カスタム NO.1、2、3
設定時（1 ページ目）



撮影モード（📷）
カスタム NO.1、2、3
設定時（2 ページ目）



コンバータ 

コンバータの取り付けに合わせて、カメラを最適な状態にセットします。

 104

▶ OFF / ワイドコンバータ / テレコンバータ



露出制御

露出をコントロールします。

 105

露出固定	▶ OFF/ON/ リセット
BULB 時間制限	▶ 1 分 /5 分

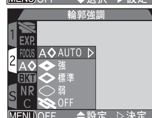


フォーカス

ピント合わせについて設定します。

 107

AF エリア選択	▶ AUTO/MANUAL/OFF
AF-MODE	▶ C-AF/S-AF
ピーキング	▶ MF/ON/OFF



輪郭強調 

撮影した画像の輪郭を強調する度合いを設定します。

 109

▶ AUTO / 強 / 標準 / 弱 / OFF



ブラケティング

露出またはホワイトバランスを自動的にずらした複数の画像の撮影をします。

 110

OFF	▶ 3, ± 0.3/3, ± 0.7
ON	▶ 3, ± 1.0/5, ± 0.3
WB-BKT	▶ 5, ± 0.7/5, ± 1.0

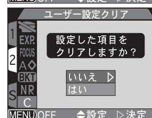


ノイズ除去

デジタル画像特有のノイズを軽減することができます。

 113

▶ OFF / ON / クリアイメージ



ユーザー設定クリア

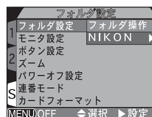
カスタム NO.1、2、3 に記録した設定を初期設定に戻します。

 115

▶ いいえ / はい

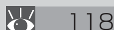
SET-UP メニュー

カメラの基本的な機能の設定を行う 14 項目［カスタム NO.A 設定時は「カスタム NO.」（ 63）を含む 7 項目］のメニューがあります。
セットしているモードやカスタム NO. によって表示されるメニュー項目は異なります。

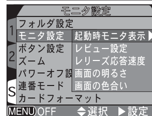


フォルダ設定

撮影･再生に使用するフォルダの選択や操作を行います。

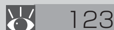

118

フォルダ操作（フォルダ選択）	新規作成 / 名称変更 / フォルダ削除

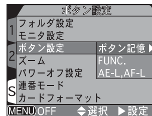


モニタ設定

液晶モニタと電子ビューファインダーに関する各種設定を行います。

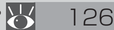

123

起動時モニタ表示	モニタ表示 /EVF 表示
レビュー設定	レビューON/レビューOFF
レリーズ応答速度	ノーマル/クイックレスポンス
画面の明るさ	（5 段階にセット可能）
画面の色合い	（11 段階にセット可能）

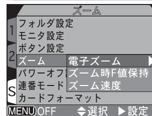


ボタン設定

各ボタンの設定状態の記憶と、FUNC ボタンの割り当てを行います。

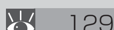

126

ボタン記憶	/　/MODE/
FUNC.	カスタム NO./　/　/ホワイトバランス/測光方式
AE-L，AF-L	AE-L&AF-L/AE-L/AF-L

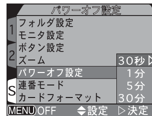


ズーム

電子ズームのON/OFF、F値保持、速度を設定します。


129

電子ズーム	ON/OFF
ズーム時F値保持	OFF/ON
ズーム速度	H/L

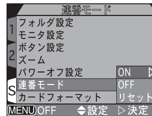


パワーオフ設定

液晶モニタや電子ビューファインダーのオートパワーオフ機能（省電力モード）が作動するまでの時間をセットします。

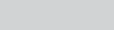

131

30 秒
1 分
5 分
30 分

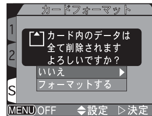


連番モード

画像ファイルに連続する通し番号を自動的に付けます。

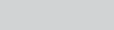

132

ON
OFF
リセット

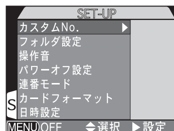


カードフォーマット

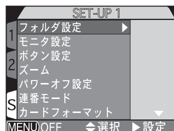
コンパクトフラッシュカードのフォーマット（初期化）を行います。


134

いいえ
フォーマットする



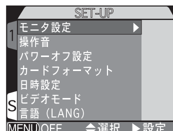
撮影モード（📷）カスタム NO.A 設定時



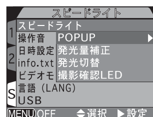
撮影モード（📷）カスタム NO.1、2、3 設定時（1 ページ目）



撮影モード（📷）カスタム NO.1、2、3 設定時（2 ページ目）



再生モード（▶）時

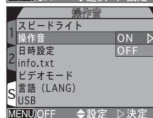


スピードライト

内蔵または外付けスピードライトに関する設定を行います。

 135

POPUP	AUTO/MANUAL
発光量補正	－2.0 〜＋2.0
発光切替	AUTO/ALL
撮影確認 LED	ON/OFF



操作音

カメラの状態を知らせる操作音を設定します。

 139

ON
OFF

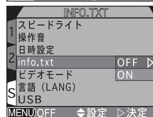


日時設定

カメラに内蔵された時計の日時を設定します。

 140

年・月・日・時・分
日付表示順



info.txt

撮影データをテキストファイルとしてコンパクトフラッシュカードに記録します。

 140

OFF
ON



ビデオモード

ビデオ出力方式を選択します。

 141

NTSC
PAL



言語（LANG）

メニューなど液晶モニタに表示する言語を選択します。

 141

De（ドイツ語）
En（英語）
Fr（フランス語）
日（日本語）
Es（スペイン語）

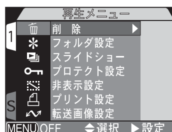


USB

カメラをパソコンに接続するときの USB 通信方式を選択します。

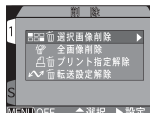
 142

PTP
Mass Storage



再生メニュー

撮影された画像に関する設定や操作を行う7項目のメニューがあります。再生モード時に使用できます。

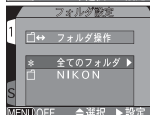


削除

複数の画像の同時削除や全画像削除、転送設定・プリント指定を解除します。

 143

 選択画像削除
 全画像削除
 プリント指定解除
 転送設定解除



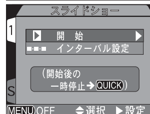
フォルダ設定

画像を再生するフォルダの選択や、フォルダの操作を行います。

 146

 フォルダ操作 ▶  新規作成 /名称変更/フォルダ削除

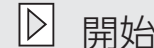
全てのフォルダ（フォルダ選択）



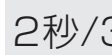
スライドショー

画像を一定間隔で順番に再生します。

 147

 開始

 インターバル設定 ▶ 2秒/3秒/5秒/10秒





プロテクト設定

記録画像を不用意に削除しないように保護します。

 149

（画像の選択）



非表示設定

記録されている画像が再生画面や選択画面で表示されないように設定します。

 150

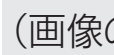
（画像の選択）

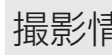


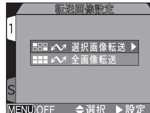
プリント指定

DPOF対応のプリンタでプリントする画像の選択とプリント枚数を設定します。

 151

（画像の選択とプリント枚数の設定） ▶ 撮影情報 日付



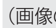


転送画像設定

パソコンに転送するための、転送マークを付ける画像を指定します。

 153

 選択画像転送 ▶ （画像の選択）
 全画像転送



メニュー操作

ここでは、メニュー画面を表示してカメラの各機能設定を行う方法について説明します。メニュー画面には、撮影メニュー画面、再生メニュー画面、SET-UP メニュー画面の 3 種類があります。

- 撮影メニュー画面はモードセレクターを撮影モード (📷) 時にセットして、カスタム NO. を 1、2、3 のいずれかに設定した場合のみ表示されます。
- 再生メニュー画面はモードセレクターを再生モード (▶) にセットすると表示されます。
- SET-UP メニューはすべてのモード、カスタム NO. で表示されますが、モード、カスタム NO. によって表示される項目が異なります。詳しくは「SET-UP メニュー」をご参照ください (117)。

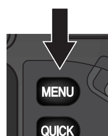
1 メニュー画面を表示します。

1.1



表示したいメニューに合わせ、撮影または再生モードにセットします。

1.2





MENU ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

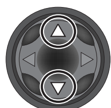
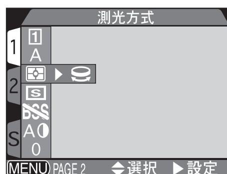
- 撮影モードで、カスタムNO.Aに設定している場合は SET-UP メニュー画面が、カスタム NO.1、2、3 に設定している場合は、撮影メニュー画面が表示されます。
- 再生モードにセットしている場合は、再生メニュー画面が表示されます。

メニュー画面表示中に撮影するには

📷(撮影モード)時にメニュー画面を表示している場合、シャッターボタンを半押しすると撮影画面に切り換わり、すぐに撮影できます。撮影後はメニュー画面に戻ります。

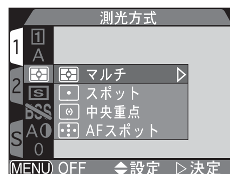
2 メニュー項目の内容を設定します。

2.1

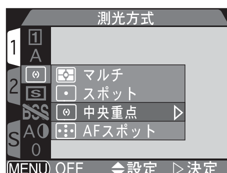
▲または▼で設定するメニュー項目を選択します。

2.2

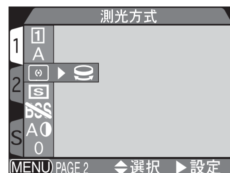
▶を押すと設定内容の選択肢が表示されます。

2.3

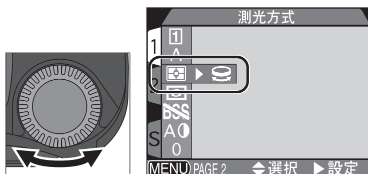
▲または▼で設定内容を選択します。さらに選択肢が表示される場合は、手順2.2～2.3を繰り返してください。

2.4

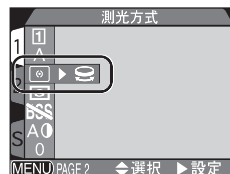
◀または▶を押すと、選択された設定内容が決定され、メニュー画面に戻ります。

- 撮影メニュー項目の横に アイコンが表示されている場合は、項目の選択がコマンドダイヤルでも行えます。コマンドダイヤルを回すと、画面上のメニュー項目を示すアイコンが切り換わります。



コマンドダイヤルを回します。





設定したいメニュー項目のアイコンが表示されたら設定完了です。

3 メニュー画面を終了します。

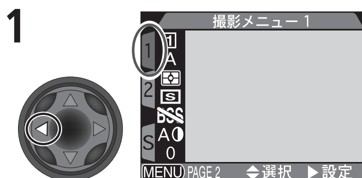
メニュー画面を終了して撮影モードまたは再生モードに戻るには、MENU ボタンを押します。

- **PAGE 2** が画面の下に表示されている場合は、MENU ボタンを2回押すと、撮影モードまたは再生モードに戻ります。
- MENU **OFF** が表示されている場合は、MENU ボタンを1回押すと、撮影モードまたは再生モードに戻ります。

メニュー画面のページ切り換え

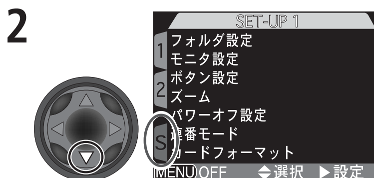
- メニュー画面の2ページ目を表示する場合、撮影メニュー画面や再生メニュー画面からSET-UPメニュー画面を表示する場合は次の操作を行います。

1



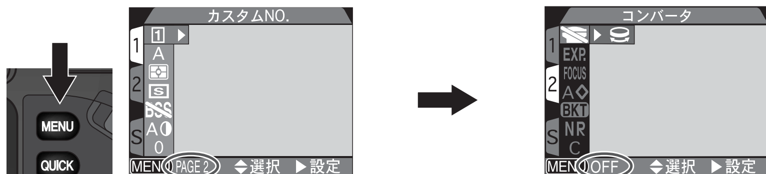
マルチセレクターの◀を押して画面左側のタブを選択状態にします。

2



▼で「2」のタブを選択すると2ページ目に、「S」のタブを選択するとSET-UPメニューに切り換わります。タブを選択した状態で▶を押すと、選択したタブのメニュー項目の選択画面に移行できます。

- **PAGE 2** が画面の下に表示されている場合、MENU ボタンを押して次のページに切り換えることができます。



- 最後のページでは画面の下に MENU **OFF** が表示されます。この場合、MENU ボタンを押すことにより、撮影モードまたは再生モードに戻ります。

撮影メニュー

ここでは、撮影モード時（カスタムNO.1、2、3設定時）に使用する撮影メニュー項目について紹介します。



メニュー項目	👁
カスタム NO.	63
ホワイトバランス	95
測光方式	97
連写	98
BSS	100
階調補正	102
彩度調整	103
コンバータ	104
露出制御	105
フォーカス	107
輪郭強調	109
ブラケティング	110
ノイズ除去	113
ユーザー設定クリア	115

ホワイトバランス

ホワイトバランスについて

人間の目は、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。それに対してデジタルカメラで人間の目に白く見える色を画像でも白く見えるようにするには、照明光の色に合わせて調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランス」を合わせるといいます。

ホワイトバランスの設定

撮影時の照明光に合わせてホワイトバランスを選択します。



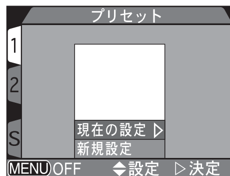
- ほとんどの場合はオート（**A**）で撮影できますが、意図どおりのホワイトバランスにならない場合や、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には他のホワイトバランスにセットしてください。

設　定	内　容
A オート	照明の状態に合わせて、ホワイトバランスを自動的に調整します。
プリセット	撮影者が白い被写体を基準にホワイトバランスを調整します。
太陽光	太陽光の下で撮影するときに使用します。
電球	白熱電球下の室内で撮影するときに使用します。
蛍光灯	蛍光灯下の室内で撮影するときに使用します。
曇天	曇り空の下で撮影するときに使用します。
スピードライト	スピードライト撮影をするときに使用します。

- FUNCボタンにホワイトバランス機能を設定すると、FUNCボタンを押すだけでホワイトバランスがセットできて便利です（127）。

プリセットホワイトバランスについて

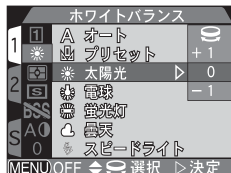
プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下で、ホワイトバランスを調整する場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。「ホワイトバランス」メニューから（プリセット）を選択すると、液晶モニタまたは電子ビューファインダーに右のようなプリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。



設　定	内　容
現在の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	新規にホワイトバランス値を測定するときに設定します。撮影に使用する照明下で紙などの白い被写体をプリセットホワイトバランス設定画面に映し、「新規設定」を選択して、マルチセレクターの▶を押すと、新規にプリセットホワイトバランス値を測定します。プリセット中にはシャッターが切れる音がしてレンズがズーミングしますが、画像は記録されません。

ホワイトバランスの微調整

A（オート）と（プリセット）以外の設定では、ホワイトバランスの微調整が可能です。ホワイトバランスの微調整はコマンドダイヤルを回して行います。微調整は－3～＋3の範囲で1段ごとに行うことができます。＋側に設定すると画像が青みがかり、－側に設定すると赤みがかるか黄色っぽくなります。



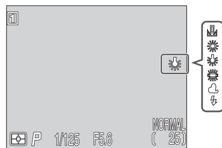
（蛍光灯）に設定した場合は表のように蛍光灯の種類に応じた設定が行えます。

名称	光源
FL1	白色（W）
FL2	昼白色（N）
FL3	昼光色（D）



ホワイトバランス表示について

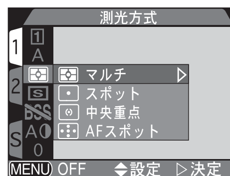
ホワイトバランスをオート以外に設定すると、ホワイトバランス表示が液晶モニタに表示されます。



測光方式

構図や光の状況に適した測光方式を4つの測光方式から選択します。

- カスタムNO.Aに設定時は、自動的にマルチ測光となります。



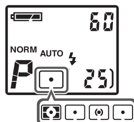
測光方式	機　能	使用場面
マルチ	CCDの撮像領域を256分割して測光し、最適な露出値を決定するマルチ測光になります。	さまざまな撮影状況に対応します。通常の撮影では、マルチ測光をおすすめします。
スポット	撮影画面中心部の、全体の1/32を占める領域のみで測光するスポット測光になります。測光領域は液晶モニタ中央部に表示されます。	被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使用します。露出を合わせたい部分が画像中心部にないときは、AEロック（ 53）を使用してください。
中央重点	撮影画面中央部の、全体の1/4を占める領域に約80%のウェイトを置いて測光する中央部重点測光になります。	ポートレート撮影など重点的に画像中央部に露出を合わせたいときなどに使用します。露出を合わせたい部分が画像中央部にないときは、AEロック（ 53）を使用してください。
AFスポット	選択しているAFエリアのみが測光されるAFスポット測光になります。	撮影メニューの「フォーカス：AFエリア選択」で「AUTO」または「MANUAL」にセットされているときに選択できます（ 107）。AFエリアと連動した測光エリアで撮影する場合に使用します。

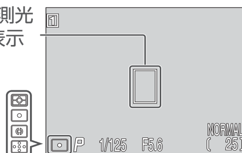


測光方式表示について

測光方式を設定すると、測光方式表示が表示パネルおよび液晶モニタ（または電子ビューファインダー）に表示されます。

AFスポットが設定されているときは、表示パネルに が、液晶モニタまたは電子ビューファインダーに が表示されます。





連写

撮影状況に合わせて単写、連写などの連続撮影モードおよび動画を選択します。



設 定	内 容
単写	シャッターボタンを深く押し込むごとに、1 コマ撮影を行います。
連写 H	シャッターボタンを押し続けると、約 3 コマ／秒で連続 3 コマまでの連続撮影を行います。連写 H で撮影中は、液晶モニタおよび電子ビューファインダーの画面は消えます。画質モードの HI はセットできません。
連写 L	シャッターボタンを押し続けると、約 1.5 コマ／秒で連続撮影を行います。画質モードのHIはセットできません。
マルチ連写	640 × 480 ピクセルのサムネイル画像を約 3 コマ／秒で連続撮影し、16 画面を 2560 × 1920 ピクセルの画像ファイルに保存します。画像サイズが FULL の場合のみ設定できます。画質モードの RAW と HI はセットできません。
UH 連写	シャッターボタンを深く押し込むと、QVGA（320 × 240 ピクセル）サイズの画像を、約 30 コマ／秒で最高 100 コマまで連続撮影します。画質モードは NORMAL にセットされます
動画	QVGA（320 × 240 ピクセル）サイズの音声付き動画を 15 フレーム／秒で記録します。シャッターボタンを深く押し込むと撮影が開始され、再度シャッターボタンを深く押し込むと撮影が終了します。撮影開始後 60 秒経過した場合やコンパクトフラッシュカードの容量がなくなった場合、撮影は自動的に終了します（73）。電子ズームで約 2 倍まで拡大することができます。

画像サイズとシャッタースピードについて

画像サイズをSXGA、XGA、VGAのいずれかに設定して、1/30秒よりも遅いシャッタースピードで撮影を行うときは、単写または連写Lの使用をおすすめします。

連写モードを設定時のご注意

- 連写H、連写Lでは、画質モードのHIを設定できません。
- 連写Hで撮影中は、液晶モニタおよび電子ビューファインダーの画面は消えます。
- マルチ連写では、画質モードのRAWとHIを設定できません。
- UH連写、動画では、撮影メニューの「BSS」(100)、「フォーカス：ピーキング」(108)、「ブラケティング」(110)を設定できません。
- UH連写および動画では、対面撮影を行った場合は液晶モニタに表示される画像と再生される画像はいずれも上下逆となります。
- UH連写で撮影された画像を再生するときには、フォルダ選択を「すべてのフォルダ」にするか、「N_」ではじまる専用フォルダを選択してください。

AF、測光値、ホワイトバランスについて

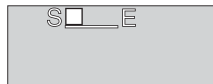
単写および動画以外の場合、AF、測光値、ホワイトバランスはそれぞれ撮影1コマ目の条件に固定されます。

連写時のスピードライト

連写モードを単写以外に設定すると、内蔵スピードライトは使用できません。単写、連写L、連写H、マルチ連写に設定した場合は、外付けスピードライトが使用できます。ただし、内蔵スピードライトの調光センサーを使用するため、内蔵スピードライトが上がった状態でないと外付けスピードライトは発光しません。

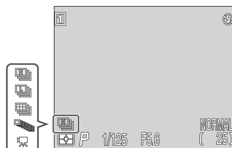
UH連写について

UH連写で撮影を開始すると、液晶モニタまたは電子ビューファインダーにズーム表示がS（start）からE（end）に動いて撮影の進行状況を知らせます。100コマ撮り終わる前に撮影を終了するには、シャッターボタンから指を離してください。

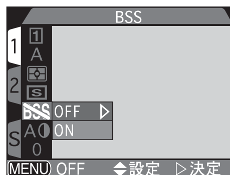


連写表示について

「連写」を単写以外に設定すると、連写モード表示が液晶モニタに表示されます。



BSS



BSSとは「ベストショットセレクタ」(**B**est **S**hot **S**elector)の略で、手ブレなどで鮮明な画像が得られない場合などに使用します。最大10コマまで連続撮影し、その画像の中でカメラが自動的により鮮明な画像を1コマ選び、コンパクトフラッシュカードに記録します。
BSSをONにすると、次のような手ブレをしやすい撮影時に効果的です。

- カメラを望遠側にズーミングしている場合やテレコンバータを使用して望遠撮影を行っている場合
- マクロ撮影時
- 照明が暗いときにスピードライトを使用できない場合(例えば、スピードライトの光が届かないところに被写体があったり、暗い照明で自然な光を撮影する場合など)

設　定	内　容
OFF	BSSをセットしません。
ON	BSSをオンにします。スピードライトは発光禁止となり、フォーカス、測光値、ホワイトバランスは1コマ目の撮影条件に固定されます。

BSS についてのご注意

BSS を設定しても、動いている被写体を撮影したり、連続撮影中に構図を変えると、適切な結果を得られない場合があります。

BSS と同時に設定できない機能

次の設定と BSS は同時に設定することができません。

- 単写以外の連写モード（98）
- ブラケティングの ON または WB-BKT（110）
- ノイズ除去の ON またはクリアイメージ（113）

BSS 表示について

BSSをONに設定すると、液晶モニタまたは電子ビューファインダーに BSS 表示が表示されます。



階調補正

画像のコントラストや明るさを調整します。

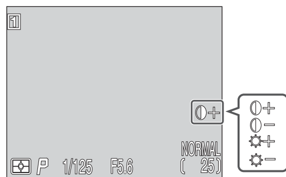


設　定	内　容
A◐ AUTO	撮影状況に応じて、カメラが自動的にコントラストや明るさを調整します。
◯ 標準	標準的な階調に調整します。画像をパソコンでレタッチする場合などに適しています。
◐+ コントラスト+	明暗差を強調してメリハリをつけます。低コントラストの撮影条件や曇天での撮影に使用します。
◐− コントラスト−	明暗差を抑えてコントラストを低くします。被写体の影を抑えたい場合などに効果的です。
☼+ 明るめ	画像のハイライト部やシャドウになっている部分には影響を与えず、中間階調の明るさのみを強くします。画像を暗く出力する傾向のあるプリンタやモニタを使う場合などに効果的です。
☼− 暗め	画像のハイライト部やシャドウになっている部分には影響を与えず、中間階調の明るさのみを弱くします。画像を明るく出力する傾向のあるプリンタやモニタを使う場合などに効果的です。



階調補正表示について

階調補正を設定すると、液晶モニタまたは電子ビューファインダーに階調補正表示が表示されます（AUTOか標準に設定した場合は表示されません）。



彩度調整

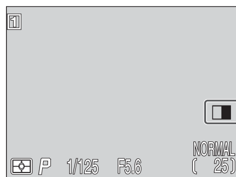
色彩の鮮やかさを調整します。



設　定	内　容
＋１ 彩度＋1	彩度を鮮やかにします。画像をプリンタで直接出力する場合に適しています。
0 標準	標準的な彩度に調整します。通常の撮影ではこの設定を使用することをおすすめします。
－１ 彩度－１	彩度を抑えます。－１よりも－２の方がより抑えられます。画像をパソコンでレタッチする場合などに適しています。
－２ 彩度－２	
◨ モノクロ	撮影画像をモノクロ画像として記録します。ファイルサイズはカラー画像と同様ですが、カラー画像に比べて解像感の高い画像になります。液晶モニタの撮影画面もモノクロ表示になります。モノクロ設定時は、画質モードをRAWに設定しないでください。

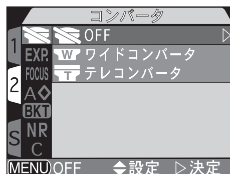
モノクロ

「彩度調整」をモノクロに設定すると、撮影画面もモノクロとなり、各表示が緑色に表示されます。液晶モニタまたは電子ビューファインダー上には ◨（モノクロ表示）が表示されます。



コンバータ

別売のアダプタリングUR-E8を使用して、コンバータを装着する場合に設定します。各コンバータに適したズーミングを自動的に設定することができます。コンバータの使用方法の詳細については、各コンバータの使用説明書をご覧ください。



設　定	装着するコンバータ	内　容
(OFF)	ー	通常のズーミングを行います。コンバータを使用しないときに設定します。
ワイドコンバータ	ワイドコンバータ WC-E80	レンズが自動的に最も広角側にセットされます。ズーム可動範囲は広角側からミドルポジションに制限されます。
テレコンバータ	テレコンバータ TC-E15ED	レンズが自動的に最も望遠側にセットされます。電子ズームが使用できます。

コンバータ装着時のご注意

コンバータ装着時は、オートフォーカスで撮影してください。マニュアルフォーカスモード、遠景モードで撮影することはおすすめできません。

スピードライトの使用について

「コンバータ」設定時は、内蔵スピードライトが自動的に発光禁止になります。スピードライトが必要な場合は、外付けスピードライトをカメラに装着してご使用ください（157）。

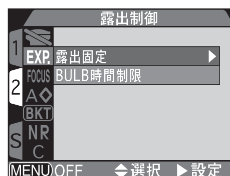
コンバータ表示について

「コンバータ」をOFF以外に設定すると、液晶モニタまたは電子ビューファインダーにコンバータ表示が表示されます。



露出制御

露出に関する設定を行います。



露出固定

一連の画像を同じ絞り値、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランスに固定して撮影します。パソコンに画像を取り込んでパノラマ合成する場合などに便利です。

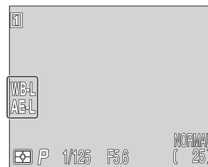


設　定	内　容
OFF	露出固定されず、通常の撮影を行います。
ON	設定後、最初に撮影された画像の絞り値、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランスに固定されます。スピードライトは発光禁止となります。
リセット	設定後、最初に撮影された画像の絞り値、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランスを固定し直します。



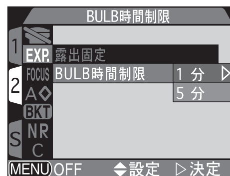
露出固定表示について

露出固定を行うと、液晶モニタまたは電子ビューファインダーにWB-L（ホワイトバランスロック）AE-L（AEロック）マークが黄色で表示されます。撮影を行うと最初に撮影された画像の撮影条件に固定され、WB-L、AE-Lマークは黄色から白色にかわります。以後固定された撮影条件で撮影を行うことができます。



BULB 時間制限

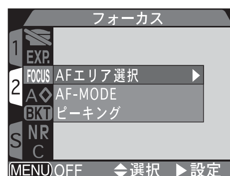
長時間露出撮影（BULB）での時間制限を設定します。



設　定	内　容
1 分	長時間露出撮影を最長 1 分まで行えます。
5 分	長時間露出撮影を最長 5 分まで行えます。

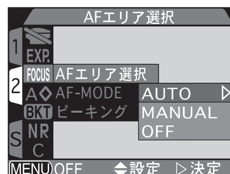
フォーカス

フォーカス関連の設定を行います。



AFエリア選択

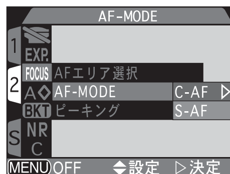
5つのAFエリアから、ピント合わせに使用するAFエリアの選択方法を設定します。ただし、設定にかかわらず、電子ズーム作動中はOFFになります。



設　定	内　容
AUTO	5つのAFエリアのいずれかに重なる被写体のうち、自動的に最もカメラに近い被写体を選択してピントを合わせます。シャッターボタンを半押しすると、カメラが選択したAFエリアが液晶モニタまたは電子ビューファインダーで赤く表示されます。不規則に動き回る被写体の撮影やピント合わせに時間をかけられない場合などに使用します。
MANUAL	撮影者がマルチセレクターを使用して、任意のAFエリアを選択します。比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合やAFロック（53）を使用しないでピント合わせを行う場合に適しています。
OFF	AFエリアは液晶モニタ上に表示されません。中央のAFエリアのみを使用してピント合わせを行います。AFロックを行う場合に便利です。

AF-MODE

ピント合わせの方法を設定します。

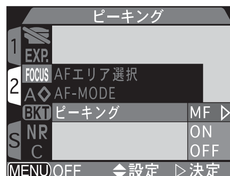


設　定	内　容
C-AF	シャッターボタンの操作にかかわらず､常にピント合わせを繰り返します｡シャッターボタンを半押しするとピントを固定（AF ロック）します。ピントが合っていなくてもシャッターがきれますので､シャッターボタン半押し時にAF 表示の点灯をご確認ください。
S-AF	シャッターボタンを半押ししている間のみピント合わせを行い、ピントが合うとAF ロックを行います。マクロモード時は S-AF に設定して撮影することをおすすめします。ピントが合っていなくてもシャッターがきれますので、シャッターボタン半押し時にAF表示の点灯をご確認ください。

ピーキング

液晶モニタの撮影画面で､ピントが合っている部分の輪郭を強調します。

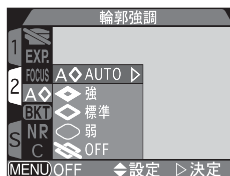
- ピーキングは液晶モニタ上で輪郭を強調表示するもので撮影された画像には影響ありません。



設　定	内　容
MF	マニュアルフォーカス（☞ 76）に設定時のみ、ピントが合っている部分の輪郭が強調されます。
ON	ピントが合っている部分の輪郭が常に強調されます。
OFF	輪郭は強調されません。

輪郭強調

撮影状況や好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。輪郭を強調する度合いを意図的に調整できます。



- 画像をパソコンで加工する場合は、輪郭強調を標準または弱に設定することをおすすめします。
- カスタム NO.A 設定時には、輪郭強調は AUTO にセットされます。

設　定	内　容
AUTO	最適な輪郭をカメラが自動的に調整します。調整は画像によって異なります。
強	輪郭の強調を強めに設定します。個々の被写体の輪郭がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。
標準	撮影した画像を標準的な輪郭に固定します。
弱	輪郭の強調を標準よりも弱めに設定します。個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
OFF	輪郭の強調を行いません。



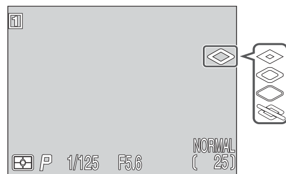
輪郭強調モードについてのご注意

輪郭強調の効果を撮影時に液晶モニタで確認することはできません。



輪郭強調表示について

輪郭強調を AUTO 以外に設定すると、液晶モニタに輪郭強調表示が表示されます。



ブラケティング

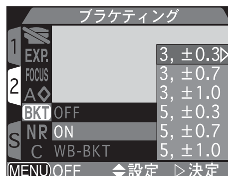
カメラが自動的に露出またはホワイトバランスを一定間隔でずらした連続撮影を行います。露出補正やホワイトバランスの調整を行うのが難しいときや、調整する時間がないときに使用すると便利です。



設　定	内　容
OFF	ブラケティングを行いません。
ON	カメラが表示する適正露出値に対して、標準、＋側、－側の順で自動的に露出をずらしながら、3 コマまたは 5 コマの画像を撮影します。
WB-BKT	ホワイトバランスのブラケティングを行います。1 回の撮影で、設定されているホワイトバランスを中心に、赤味がかった画像、青味がかった画像の 3 コマを自動的に記録します。

ブラケティング ON

露出をずらしたブラケティング撮影を行います。撮影コマ数と補正ステップの組み合わせを次の 6 種類から選択できます。



設　定	撮影コマ数	補正ステップ	撮影順序
3，±0.3	3	± 1/3EV	0，＋0.3，－0.3
3，±0.7	3	± 2/3EV	0，＋0.7，－0.7
3，±1.0	3	± 1EV	0，＋1.0，－1.0
5，±0.3	5	± 1/3EV	0，＋0.7，＋0.3，－0.3，－0.7
5，±0.7	5	± 2/3EV	0，＋1.3，＋0.7，－0.7，－1.3
5，±1.0	5	± 1EV	0，＋2.0，＋1.0，－1.0，－2.0

露出の設定が変更されている場合

露出に関する設定（露出モード、露出補正、シャッタースピード、絞り値、スピードライトモード、発光量補正など）に変更が加えられている場合、補正された露出値を基準に露出補正を行ってからブラケティングを行います。

ブラケティングと同時に設定できない機能

ブラケティング ON は次の設定と同時に設定しないでください。

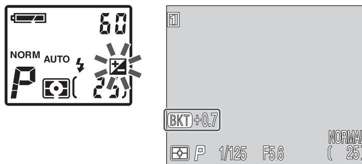
- 連写モードのマルチ連写、UH 連写、動画（98）
- BSS（100）
- 露出固定（105）
- ノイズ除去の ON またはクリアイメージ（113）
- 長時間露出撮影（106）

連写 H と連写 L

連写モードを連写 H、連写 L（98）に設定している場合、ブラケティングはブラケティング設定コマ数を撮影した時点でいったん停止します。なお、連写Hに設定している場合は、ブラケティングは 3 コマまでしか設定できません。

ブラケティング表示について

ブラケティングをONに設定すると、（ブラケティング表示）が表示パネル上で点滅し、液晶モニタまたは電子ビューファインダーに BKT マークと補正ステップが表示されます。



ブラケティングの自動解除

カメラの電源スイッチを OFF にした場合やカスタム NO.A に設定した場合は、ブラケティングは自動的に解除されます。

WB-BKT

ホワイトバランスブラケティング撮影を行います。ホワイトバランスをずらして1回の撮影で3コマの画像が記録されます。



コンパクトフラッシュカードへの書き込み時間

1回の撮影で3コマずつ記録されますので、WB-BKT設定時のコンパクトフラッシュカードへの書き込み時間は通常の約3倍かかります。

WB-BKTと同時に設定できない機能

WB-BKTは次の設定と同時に設定しないでください。

- 画質モードのHI（47）
- 「連写」の単写以外（98）
- BSS（100）
- 露出固定（105）
- ノイズ除去のONまたはクリアイメージ（113）

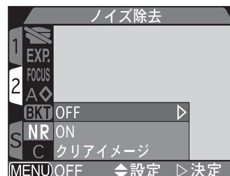
WB-BKT表示について

WB-BKT設定中は、液晶モニタにWB-BKT（ホワイトバランスブラケティング）表示が点灯します。



ノイズ除去

撮影時に生じるデジタル画像特有の星状ノイズを、軽減します。



設　定	内　容
OFF	ノイズ除去機能を OFF にします。
ON	長時間露出撮影時などに撮影画面上の暗部に生じる星状のノイズを軽減します。シャッタースピードが 1/30 秒以下の低速の場合のみ有効です。撮影開始からコンパクトフラッシュカードへの画像の記録が終了するまでに通常より 2 倍以上時間がかかります。
クリアイメージ	ノイズを軽減し、カラーグラデーションを美しく撮影します。シャッターボタンが深く押し込まれると、露光が2回行われ、シャッター幕が閉じてから 3 回目の露光が行われます。これらの 3 つの画像を元に画像処理を行い、ノイズを軽減した 1 コマを作成して記録します。画像サイズがSXGA以下の場合のみ設定できます。撮影開始からコンパクトフラッシュカードへの画像の記録が終了するまでに、通常より 3 倍以上時間がかかります。

ノイズ除去と同時に設定できない機能

次の設定とノイズ除去は同時に設定することができません。

- BSS（☞ 100）
- ブラケティング（☞ 110）
- 単写以外の連写モード（☞ 98）

クリアイメージ使用上のご注意

ノイズ除去をクリアイメージに設定すると、動いている被写体を撮影した場合や、撮影時にカメラがブレた場合に、意図したとおりの結果が得られませんのでご注意ください。

スピードライトの使用について

ノイズ除去をクリアイメージに設定すると、内蔵スピードライト、外付けスピードライトともに自動的に発光禁止になります。

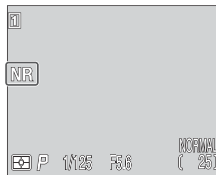
撮像感度を上げたときに生じる星状ノイズについて

撮像感度（☞ 74）を上げると、撮影画面上に星状ノイズが生じる場合があります。この場合、撮影時のシャッタースピードが1/30秒以下の低速シャッタースピードであれば、ノイズ除去をONに設定すると星状ノイズを軽減することができます。

ノイズ除去表示について

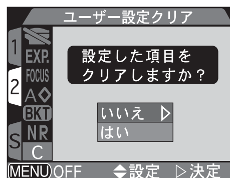
ノイズ除去をONに設定し、シャッタースピードが1/30秒以下の低速時にノイズ除去が行われると、液晶モニタまたは電子ビューファインダーにNR（ノイズ除去表示）が表示されます。

ノイズ除去をクリアイメージに設定した場合には表示されません。



ユーザー設定クリア

現在選択しているカスタム NO. の各項目およびその他の各メニューで設定した内容をクリアして、初期設定に戻します。



設　定	内　容
いいえ	ユーザー設定クリアを行わずにメニューを終了します。
はい	カスタム NO. の記録内容を初期設定に戻します。

• 以下のメニュー項目では、ユーザー設定クリアを実行すると、現在選択しているカスタム NO. に記憶された内容がすべて初期設定に戻ります。選択していないカスタム NO. の内容はリセットされずに保持されます。

撮影メニュー

メニュー項目		初期設定
ホワイトバランス		オート*
測光方式		マルチ
連写		単写
BSS		OFF
階調補正		AUTO
彩度調整		標準
コンバータ		OFF
露出制御	露出固定	OFF

メニュー項目		初期設定
フォーカス	AF エリア選択	AUTO
	AF-MODE	C-AF
	ピーキング	MF
輪郭強調		AUTO
ブラケティング		OFF
		OFF

* 微調整した値もクリアされます。

SET-UP メニュー

メニュー項目		初期設定
フォルダ設定		NIKON
モニタ設定	画面の明るさ	中間値
	画面の色合い	中間値
ボタン設定	ボタン記憶	全ての項目の機能を記憶
ズーム	電子ズーム	ON
	ズーム時 F 値保持	OFF

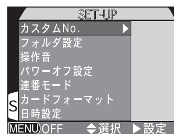
メニュー項目		初期設定
パワーオフ設定		30 秒
スピードライト	発光量補正	±0
	発光切替	AUTO
	撮影確認 LED	OFF
操作音		ON

再生メニュー

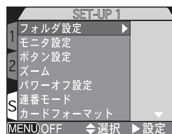
メニュー項目		初期設定
フォルダ設定		全てのフォルダ
パワーオフ設定		30 秒
スライドショー	インターバル設定	3 秒

SET-UP メニュー

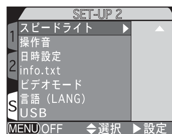
SET-UP メニューは、モードによって表示される項目が異なります。
下の表はモードと表示される項目の関係を表しています。



撮影モード（📷）
カスタム NO.A



撮影モード（📷）
カスタム NO.1、2、3
（1 ページ目）



撮影モード（📷）
カスタム NO.1、2、3
（2 ページ目）



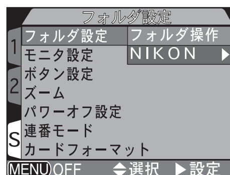
再生モード（▶）

メニュー項目	📷		▶	👁
	カスタム NO.A	カスタム NO.1,2,3		
カスタム NO.	✔	－*1	－	－
フォルダ設定	✔	✔	－*2	118
モニタ設定	－	✔	✔	123
ボタン設定	－	✔	－	126
ズーム	－	✔	－	129
パワーオフ設定	✔	✔	✔	131
連番モード	✔	✔	－	132
カードフォーマット	✔	✔	✔	134
スピードライト	－	✔	－	135
操作音	✔	✔	✔	139
日時設定	✔	✔	✔	140
info.txt	－	✔	－	140
ビデオモード	－	✔	✔	141
言語（LANG）	－	✔	✔	141
USB	－	✔	－	142

*1 カスタム NO.1.2.3 のカスタム NO. は撮影メニュー項目です。
*2 再生モード時に表示される「フォルダ設定」（👁 146）は、再生メニュー項目です。

フォルダ設定

初期設定では、撮影した画像はコンパクトフラッシュカード内の「NIKON」という名称のフォルダに保存されます。再生時に画像を見つけやすくするため、新しくフォルダを作成して、画像を分類して保存することができます。



フォルダ操作

フォルダの新規作成、名称変更、フォルダ削除を行います。



フォルダの新規作成

1

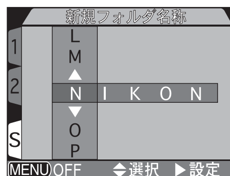




マルチセレクターで、「新規作成」を選択します。

2

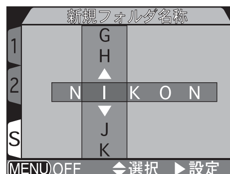




「新規フォルダ名称（NIKON)」画面を表示します。

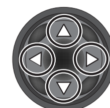
3

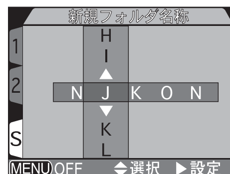




変更する文字を選択します。

4

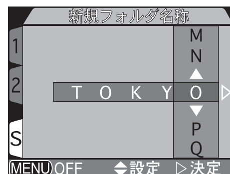




マルチセレクターの▲または▼を押して文字を変更します。フォルダ名にはＡからＺまでの大文字、数字、スペースを使用することができます。▶を押すと変更が確定します。手順３と手順4を繰り返して5文字の名称を完成させせます。

5





右端の文字を選択した状態でマルチセレクターの▶を押すと、新規フォルダが作成されます。「フォルダ設定」で別のフォルダを選択するまで、この新規フォルダにこれから撮影される画像が保存されます。フォルダの新規作成をキャンセルする場合は MENU ボタンを押します。

フォルダの名称変更

1

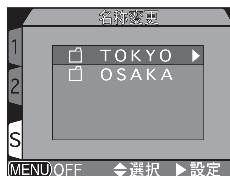




マルチセレクターで「名称変更」を選択します。

2

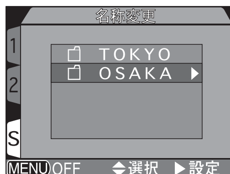




既存のフォルダ名が表示されます（NIKONフォルダを名称変更することはできません）。

3

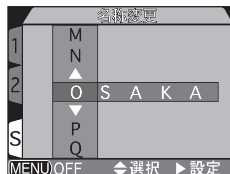




名称変更するフォルダを選択します。

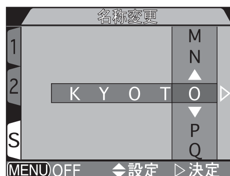
4





「名称変更画面」が表示されます。

5



前ページの「新規作成」の手順3～手順5を行って、新しい名称を完成させます。

フォルダの削除

1





マルチセレクターで「フォルダ削除」を選択します。

2

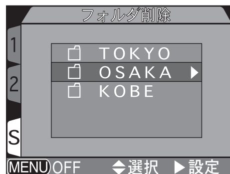




既存のフォルダ名が表示されます。

3

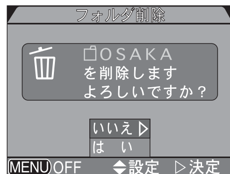




削除するフォルダを選択します（NIKONフォルダを削除することはできません）。

4





「フォルダ削除確認画面」が表示されます。マルチセレクターで「はい」または「いいえ」を選択し、▶ を押して決定します。



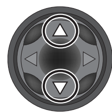
非表示設定・プロテクト設定された画像について

選択したフォルダ内に非表示またはプロテクト設定された画像がある場合、非表示またはプロテクト設定された画像およびそのフォルダは削除できませんが、フォルダ内の非表示およびプロテクト設定されていない画像はすべて削除されます。

フォルダの選択

フォルダを作成すると、画像を再生するフォルダや画像を保存するフォルダを選択できます。フォルダを選択すると、別のフォルダが選択されるまで撮影された画像はすべてそのフォルダに記録されます。

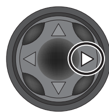
1





マルチセレクターでフォルダ名を選択します。

2





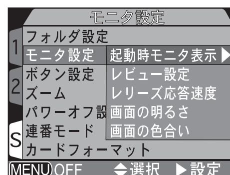
選択したフォルダ名が液晶モニタまたは電子ビューファインダーに表示されます（NIKONフォルダが選択されている場合、フォルダ名は表示されません）。

UH連写について

UH連写（ 98）で撮影した100枚の画像は、自動的に作成されるN_で始まる専用フォルダに保存されます。このフォルダは、フォルダ設定メニューで再生用に選択したり、フォルダごと削除することはできますが、新しい画像を記録することはできません。

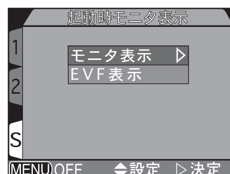
モニタ設定

モニタに関する設定をします。



起動時モニタ表示

電源をONにして、撮影モードにセットしたときに、液晶モニタおよび電子ビューファインダーのうち、どちらかを先に点灯させる設定を行います。設定は、カスタムNO.1、2、3のいずれかの場合のみ有効です。



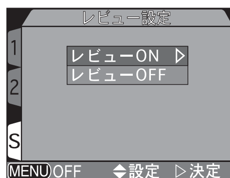
設定	内容
モニタ表示	電源をONにすると、液晶モニタが自動的に点灯します。ただし、液晶モニタを内側にしてカメラ本体に収納した場合には電子ビューファインダーが自動的に点灯します。
EVF表示	電源をONにする、または再生モードから撮影モードにかえると、電子ビューファインダーが自動的に点灯します。

(モニタ選択) ボタンについて

起動時モニタ表示の設定にかかわらず、撮影画面の表示は、液晶モニタを開いていればボタンでいつでも切り換えることができます。

レビュー設定

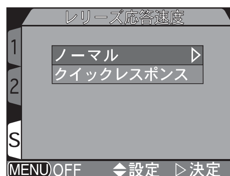
撮影した画像が撮影後に数秒間表示されるレビュー表示について設定します。



設　定	内　容
レビューON	撮影後に撮影画像を数秒間表示します。
レビューOFF	撮影後に画像を表示しません。

レリーズ応答速度

シャッターボタンを押してから、実際に画像が撮影されるまでに生じる若干の時間差を調整します。



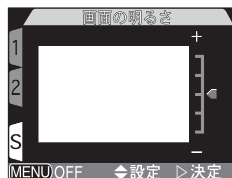
設　定	内　容
ノーマル	通常の撮影を行います。
クイックレスポンス	シャッターボタンを押してから、実際に画像が撮影されるまでに生じる時間差を最小限に押さえます。

「クイックレスポンス」についてのご注意

- 液晶モニタや電子ビューファインダーは、撮像素子（CCD）からの映像を処理して表示するため、実際の被写体の動きよりも若干遅れて表示されます。「クイックレスポンス」に設定すると、シャッターボタンを押してから実際に画像が撮影されるまでに生じる時間差を最小限におさえますが、液晶モニタや電子ビューファインダーに横線が入る場合があります（撮影する画像に影響はありません）。
- 撮影後に撮影した画像が数秒間表示（レビュー表示）される間にシャッターボタンを全押しすると、直前の撮影でのフォーカス、露出で撮影されます。なお、この場合撮影を優先させるために内蔵スピードライトは発光しません。

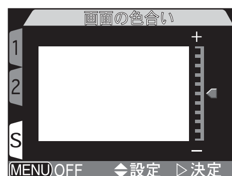
画面の明るさ

液晶モニタの画面の明るさを調整します。マルチセレクターの▲または▼を押して画面右の矢印を上下させ、明るさを調節します（マルチセレクターの▲を押すと画面が明るく、▼を押すと画面が暗くなります）。



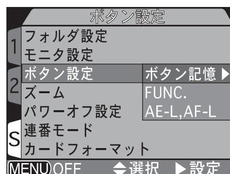
画面の色合い

液晶モニタの画面の色合いを調整します。マルチセレクターの▲または▼を押して画面右の矢印を上下させ、色合いを調節します（マルチセレクターの▲を押すと画面は青みがかり、▼を押すと画面は赤みがかります）。



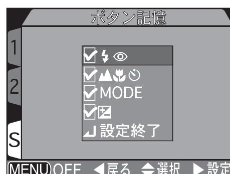
ボタン設定

各ボタン機能の設定を記憶したり、FUNC（FUNC）ボタンに別の機能を割り当てたり、LOCK（AE-L/AF-L）ボタンの機能を変更します。



ボタン記憶

カメラの電源をOFFにしたときに、各ボタンの設定内容を記憶させることができます。右の画面でチェックボックスにチェックされていない機能は、電源をOFFにすると、初期設定にリセットされます。チェックをするには、マルチセレクターの▶を押します（もう一度▶を押すとはずれます）。設定を終了するには「設定終了」選択してください。



ボタン	機　能	初期設定 *1
⚡ 👁	スピードライトモード	自動発光または赤目軽減自動発光 *2
▲ 🌷 ⏱	フォーカスモード	通常 AF
MODE	露出モード	プログラムオート（**P**）
±	露出補正	± 0

*1： チェックをはずすと初期設定に設定されます。
*2： 前回の撮影にしたがって、自動発光または赤目軽減自動発光のいずれかが設定されます。

FUNC.

FUNC ボタンに別の機能を割り当てることにより、メニュー画面を表示せずに、表示パネルを見ながら簡単に各機能を設定できます。初期設定ではカスタム NO. に設定されています。



設　定	内　容
カスタム NO.（初期設定）	FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、カスタム NO. が切り換わります（63）。
▲🌷⏲	FUNC ボタンを押すごとにフォーカスモードが切り換わります（51）。FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、マニュアルフォーカスの設定が行えます（76）。
⚡ 👁	FUNC ボタンを押すごとにスピードライトモードが切り換わります。 FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、撮像感度の設定が行えます（57）。
ホワイトバランス	FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバランスが切り換わります（95）。
測光方式	FUNC ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、測光方式が切り換わります（97）。

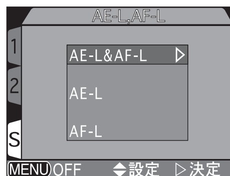


FUNC ボタンにホワイトバランス機能を割り当てた場合

- FUNC ボタンを押すと、**W-B**（ホワイトバランス表示）が表示パネルのシャッタースピード表示部に次のように表示されます：[**PrE**（プリセット）、**Sun**（太陽）、**Inc**（電球）、**Flu**（蛍光灯）、**Clo**（曇天）、**Fla**（スピードライト）、表示なし（オート）]
- FUNC ボタンを２秒間押し続けると、その時点の画面中央部の画像でプリセットホワイトバランスを新規設定します。

AE-L, AF-L

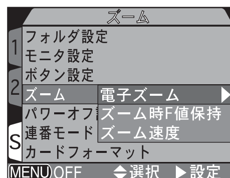
初期設定ではLOCKボタンを押すと、露出(AE)とフォーカス(AF)の両方がロックされます。AE-L,AF-Lメニュー画面により露出とフォーカスのいずれか一方をロックするように変更できます。



設定	内容
AE-L & AF-L	LOCK ボタンを押すと露出とフォーカスの両方がロックされます。
AE-L	LOCK ボタンを押すと露出のみがロックされます。フォーカスはシャッターボタンを半押しするとロックされます。
AF-L	LOCK ボタンを押すとフォーカスのみがロックされます。露出はシャッターボタンを半押しするとロックされます。

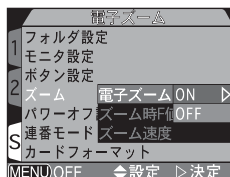
ズーム

ズームに関する設定をします。電子ズーム、ズームF値保持、ズーム速度の3項目があります。



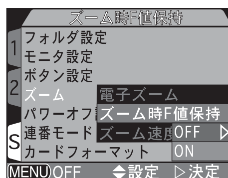
電子ズーム

電子ズームを作動させるかどうかを設定します。



設　定	内　容
ON	光学ズームが最も望遠側にある状態で T を2秒以上押し続けると自動的に電子ズームが作動します。
OFF	T を押し続けても電子ズームは作動しません（動画撮影時を除きます）。

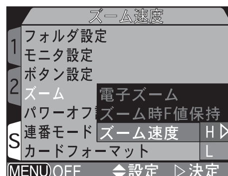
ズーム時F値保持



通常は、ズーミングに対応してF(絞り)値が変化しますが、「ズーム時F値保持」をONにすると、設定した絞り値の変化を最小限におさえながらズーミングします。

設　定	内　容
OFF	ズーミングに対応してF(絞り)値が変化します。
ON	露出モードがA、Mの場合、設定した絞り値の変化を最小限におさえながらズーミングします。ただし、ズーミングによって制御範囲を超えてしまうことがあります。絞りを約F5～F8の範囲でご使用ください。

ズーム速度



ズームする速度を次のように設定できます。

設　定	内　容
H	高速でズームします。
L	最初は低速でズームし、徐々にスピードを上げてズームします。細かいズーム調整を行いたいときにご使用ください。



ズーム時F値保持をONに設定時のご注意

ズーム時F値保持をONにした状態でオートパワーオフ機能（131）が作動して液晶モニタが消灯した場合、オートパワーオフ機能が解除されると、絞り値は開放F値（一番小さい数値のF値）を表示しますが、シャッターボタンを半押しすると、設定したF値に戻ります。

パワーオフ設定

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を設定します。初期設定では、バッテリーを使って操作する場合、30秒間カメラの操作を行わないとオートパワーオフ機能が作動して、自動的に液晶モニタが消灯し、省電力モードになります。ただし、ACアダプタ接続中は30分に固定されます。

パワーオフ設定
1 フォルダ設定
モニタ設定
ボタン設定
2 ズーム
パワーオフ設定
S 連番モード
カードフォーマット
30秒 ▷
1分
5分
30分
MENU OFF ⬍設定 ▷決定

設　定	オートパワーオフが作動するまでの時間
30秒	30秒間
1分	1分間
5分	5分間
30分	30分間

- 撮影モード（📷）時のオートパワーオフ機能の作動時間は、どのカスタムNO.からでもSET-UPメニューでセットすることが可能で、セットされた作動時間は全てのカスタムNO.に適用されます。ただし、再生モード（▶）時のオートパワーオフ機能には適用されません。
  再生モード（▶）時のオートパワーオフ機能は個別でセットされます。

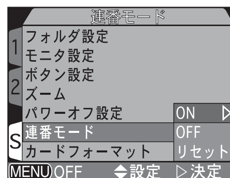
オートパワーオフについて

オートパワーオフは、次のいずれかの操作を行うことで解除されます。

- DISP、MENU、QUICK のいずれかのボタンを押します。
- シャッターボタンを半押しします。
- モードセレクターを切り換えます。

連番モード

COOLPIX5700 で撮影した画像ファイルや動画ファイルには、DSCN ＋ 4 桁の番号が付けられます（例：DSCN0001.JPG～DSCN9999.JPGなど）。「連番モード」を使用するとファイル番号を次のように管理できます。



設　定	内　容
ON	連番モードを ON にセットすると、フォルダを変えたりコンパクトフラッシュカードを交換しても、連続した番号で画像ファイル名を作成します。このため同一名のファイルが存在せず、パソコンで画像を管理する場合などに便利です。
OFF	ファイル番号は、フォルダごとに常に0001から0200まで撮影順にカメラが自動的に指定します。複数のコンパクトフラッシュカードを使用したり、複数のフォルダが作成されると同名のファイルが複数存在することになります。
リセット	連番モードをいったん解除し、次回の撮影以降再び0001から連番を付けます。フォルダ内にすでに画像ファイルがある場合、フォルダ内にある一番大きい番号の次の番号から連番を付けます。

「連番」について

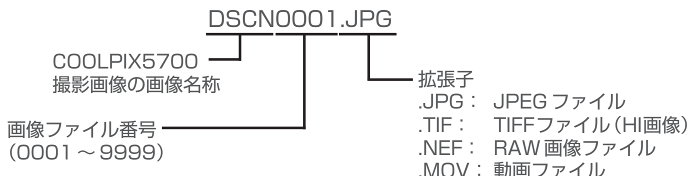
フォルダの中の画像ファイル番号が9999を超える場合、連番モードの設定がON/OFF にかかわらず、フォルダ番号に 1 を加えたフォルダ（例：100NIKON → 101NIKON）を自動的に新規作成し（3 桁のフォルダ番号は、100 から始まり999 まで連番で付けられます）、そのフォルダ内で新たに 0001 から連番で画像ファイルを保存していきます。なお、1 つのフォルダに保存できる画像ファイル数は 200 コマです。

ファイル名の連番を 0001 にリセットしたいときは

ファイル名の連番を 0001 にリセットする場合には、コンパクトフラッシュカードをフォーマット (134) した後、連番モードのリセットを設定してください。ただし、コンパクトフラッシュカードをフォーマットすると、プロテクト設定された画像を含むすべての画像が消去されます。消去された画像を元に戻すことはできませんのでご注意ください。

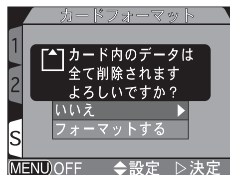
ファイル名について

COOLPIX5700 で撮影した画像のファイル名は次のようになります。



カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマット（初期化）を行います。フォーマットを行うとコンパクトフラッシュカードに記録されているすべてのデータが消去されます。



設　定	内　容
いいえ	フォーマットを行いません。
フォーマットする	マルチセレクターの▶を押すと、すぐにフォーマットが開始されます。

カードフォーマット中は右の画面が表示されます。



カードフォーマット中のご注意

「カードフォーマット中」のメッセージが液晶モニタに表示されている間は、電源をOFFにしたり、コンパクトフラッシュカードを取り出したり、ACアダプタ（別売）を抜いたりしないでください。コンパクトフラッシュカードが壊れることがあります。

大切なデータは保存を

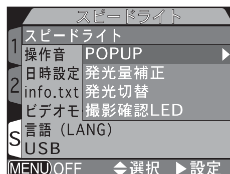
カードをフォーマットすると、カード内のデータは全て消去されます。フォーマットを取り消すことはできませんのでご注意ください。

コンパクトフラッシュカードのフォーマット

付属のコンパクトフラッシュカードはCOOLPIX5700用にフォーマットされています。その他のコンパクトフラッシュカードを初めてCOOLPIX5700で使用する場合は、あらかじめコンパクトフラッシュカードをフォーマットする必要があります。

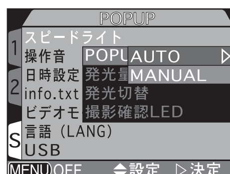
スピードライト

スピードライトの POPUP、発光量補正、発光切替、撮影確認 LED を設定します。



POPUP

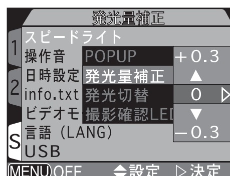
スピードライトが発光する条件で、収納しているスピードライトを自動的に上げるか、またはマニュアルで上げるかを設定します。



設　定	内　容
AUTO	スピードライトが発光する条件でシャッターボタンを半押しすると、内蔵スピードライトが自動的に上がり、撮影時に発光します。内蔵スピードライトが上がっていても、被写体が明るい場合は発光しません（強制発光に設定時を除く）。
MANUAL	ボタンを押すと内蔵スピードライトが上がります。被写体の明るさに関係なく、スピードライトが強制発光します。

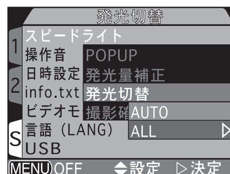
発光量補正

撮影目的や撮影条件に合わせてスピードライトの発光量を調整します。－2EV から＋2EV まで、1/3EV ステップで発光量が補正できます。



発光切替

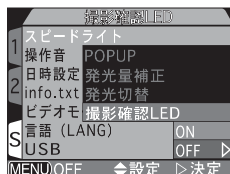
外付けスピードライトをカメラのアクセサリーシュー（4）に装着して使用する場合、内蔵スピードライトを同時に発光させるかどうかを設定します。



設　定	内　容
AUTO	外付けスピードライト使用時は外付けスピードライトが発光します。外付けスピードライトを使用しない場合は内蔵スピードライトが通常どおり発光します。
ALL	外付けスピードライトと内蔵スピードライトが同時に発光します。ただし外付けスピードライトで十分な光量が得られる場合には、内蔵スピードライトは発光しません。

撮影確認 LED

ONに設定すると、セルフタイマーランプ／赤目軽減ランプを撮影完了時に確認用ランプとして点灯するようにできます。ただし、スピードライト発光時は点灯しません。



設　定	内　容
ON	撮影確認 LED が発光します。
OFF	撮影確認 LED が発光しません。

外付けスピードライトの使用方法

外付けスピードライトを使用する場合は、次の手順にしたがってください。スピードライトの操作方法については使用するスピードライトの使用説明書をご覧ください。

1 **カメラおよびスピードライトの電源を OFF にします。**

2 **外付けスピードライトをカメラのアクセサリーシューに装着します。**

3 **カメラおよび外付けスピードライトの電源を ON にセットします。**

4 **外付けスピードライトの照射角を28mmより広角側に設定します。**

- オートパワーズーム機能のあるスピードライトを使用する場合は、照射角をマニュアルで設定してください。オートパワーズーム機能のあるスピードライトを装着しても、カメラのズーミングに連動しません。

5 **外付けスピードライトの発光モードを TTL に設定します。**

- スピードライトの発光モードはＴＴＬ ですが、実際はカメラの調光センサーを使用した自動調光になります（内蔵スピードライトが発光禁止になっている場合も、内蔵スピードライトが上がり調光センサーが作動します）。また、SB-80DX、SB-50DX、28DX を使用する場合、D-TTL モードでは撮影できません。

6 **撮影を行います。**

- SET-UP メニュー「スピードライト：発光切替」を AUTO に設定すると外付けスピードライトのみが発光し、ALL に設定すると外付けスピードライトと内蔵スピードライトが同時に発光します。撮影意図に合わせて設定してください。
- 外付けスピードライトの「スタンバイ」機能はカメラの電源ONと連動しますが、電源OFFとは連動しません。また、外付けスピードライトの「オートパワーズーム」、「アクティブ補助光」、「赤目軽減ランプ照射」機能は使用することができません（使用するスピードライトによって、該当する機能が異なります、詳細は使用する外付けスピードライトの使用説明書をご覧ください）。

他社製のスピードライトについてのご注意

他社製のスピードライト（カメラのアクセサリーシューにマイナス電圧や 250V 以上の電圧がかかるもの、アクセサリーシュー部の接点をショートさせてしまうもの）を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびスピードライトのシンクロ回路を破損するおそれがあります。

外付けスピードライト使用上のご注意

- 外付けスピードライトを発光させる場合は、内蔵スピードライトの調光センサーを使用します。「発光切替」をAUTOに設定して、内蔵スピードライトが発光禁止の場合も、調光センサーを使用するために内蔵スピードライトが自動的に上がりますので、内蔵スピードライトを指などで押さえないようにしてください。内蔵スピードライトが下がっていると、外付けスピードライトは発光しません。
- 「POPUP」をMANUALに設定している場合は、⚡👁 ボタンを押さない限りスピードライトが上がりません。調光センサーを使用するためには ⚡👁 ボタンを押してください。
- 調光センサーを指やストラップ、ACアダプタのコードなどでさえぎらないようにご注意ください。

外付けスピードライト使用時のスピードライトモード表示について

外付けスピードライトを装着して発光切替をAUTOに設定したときの、表示パネルと液晶モニタ（または電子ビューファインダー）に表示されるスピードライトモード表示は次のとおりです。

＜スピードライト：POPUPをAUTOに設定時＞

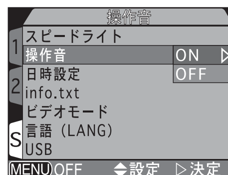
スピードライトモード	表示パネル	液晶モニタ
自動発光モード	AUTO ⚡	A(⚡)
発光禁止モード	(⚡)	(⚡)
赤目軽減自動発光モード	AUTO 👁 ⚡	👁(⚡)
強制発光モード	⚡	⚡(⚡)
スローシンクロモード	AUTO ⚡ 👤★	👤★(⚡)

＜スピードライト：POPUPをMANUALに設定時＞

スピードライトモード	表示パネル	液晶モニタ
強制発光	⚡	⚡(⚡)
赤目軽減強制発光	👁 ⚡	👁(⚡)
スローシンクロ強制発光	⚡ 👤★	👤★(⚡)

操作音

カメラの状態を知らせる操作音のON、OFFを設定します。



設定		内　容
ON	操作音1回	• カメラの電源をONにしたとき • シャッターボタンを押し込んで、シャッターがきれたとき • マニュアルフォーカス、コンバータモードが設定されたとき • 画像が削除されたとき、コンパクトフラッシュカードがフォーマットされたとき • 再生メニューで非表示設定、プリント指定、転送画像設定が設定されたとき • 「操作音」がONに設定されたとき
	操作音2回	• コンパクトフラッシュカードの空き容量が不足しているとき • コンパクトフラッシュカード未装着でシャッターボタンを半押ししたとき
OFF		操作音は鳴りません。

「クイックレスポンス」に設定した場合

操作音をONに設定していても、「SET-UPメニュー：レリーズ応答速度」で「クイックレスポンス」を設定すると、撮影を優先させるため、シャッターが切れたときの操作音は鳴りません。

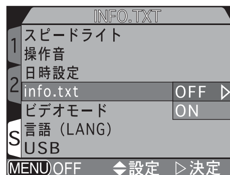
日時設定

カメラに内蔵された時計の日付と時刻を設定します。詳しくは「日付と時刻の設定」（ 19）をご覧ください。



Info.txt

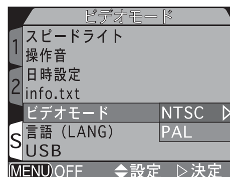
ONに設定すると、画像の撮影時に画像ファイル名や撮影データを記述したテキストファイルを作成します。このテキストファイルは対応する画像ファイルと同じフォルダに記録されます。テキストファイルの内容は次のとおりです。



DSCN0001.JPG（例）	：画像ファイル名
CAMERA	：カメラの名称とファームウェアのヴァージョン
METERING	：測光モード
MODE	：露出モード
SHUTTER	：シャッタースピード
APERTURE	：絞り値
EXP ＋/－	：露出補正値
FOCAL LENGTH	：焦点距離と電子ズーム
IMG ADJUST	：階調補正
SENSITIVITY	：撮像感度
WHITEBAL	：ホワイトバランス
SHARPNESS	：輪郭強調
DATE	：撮影日時
QUALITY	：画像サイズと画質モード
SATURATION	：彩度調整
FOCUS AREA	：フォーカスエリア

ビデオモード

テレビやビデオデッキなどの映像機器に接続した場合のビデオ出力方式を選択します。接続先の機器に合わせて選択します（44）。



設　定	内　容
NTSC	NTSC 方式に設定します。通常、日本国内で使われている方式です。
PAL	PAL 方式に設定します。通常、欧州で使われている方式です。

言語（LANG）

メニュー画面やメッセージ画面など液晶モニタに表示される言語を切り換えます。



設　定	言　語
De	ドイツ語
En	英語
Fr	フランス語
日	日本語
Es	スペイン語

USB

使用するパソコンのOS（オペレーティングシステム）によってUSB通信方式が異なります。USBケーブルでカメラとパソコンを接続する前に、使用するパソコンのOSに合わせてUSB通信方式を選択します（初期設定では「Mass Storage」に設定されています）。



OS	USB通信方式
Windows XP Home Edition/Professional Mac OS X（10.1.2～10.2）	PTPまたは Mass Storage
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition （Me） Windows 98 Second Edition（SE） Mac OS 9.0、9.1、9.2	Mass Storage



Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Mac OS 9 をご使用の場合のご注意

上記OSのパソコンにCOOLPIX5700を接続する場合は、「USB」を「Mass Storage」に設定してください（初期設定ではMass Storageに設定されています）。

「USB」を「PTP」に設定して上記OSのパソコンと接続した場合には、下記の要領でパソコンの接続をはずし、Mass Storageに設定し直して、再度パソコンと接続してください。

Windows 2000 Professionalの場合：
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されます。「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。

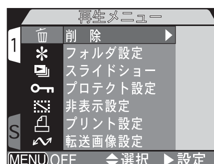
Windows Meの場合：
「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されます。「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。

Windows 98SEの場合：
「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されます。「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。

Mac OS 9の場合：
「USB装置“Nikon Digital Camera E5700_PTP”に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを探しますか？」と表示されます。「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。

再生メニュー

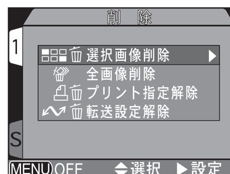
ここでは、再生モード時に使用する再生メニューについて説明します。



メニュー項目	👁
削 除	143
フォルダ設定	146
スライドショー	147
プロテクト設定	149
非表示設定	150
プリント指定	151
転送画像設定	153

削 除

画像の削除やプリント指定の解除、転送画像設定の解除を行います。



画像の削除について

- 削除された画像を元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像は、パソコンに転送して保存することをおすすめします。
- プロテクト設定されている画像には 🔑(プロテクト)アイコンが表示され、削除することはできません。
- 非表示設定 (👁 150) されている画像は、削除選択画面に表示されず削除できません。

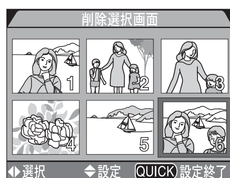
選択画像削除

1



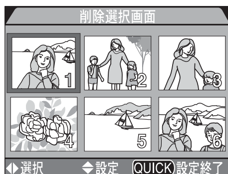

「選択画像削除」を選択します。

2

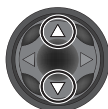
「削除選択画面」のサムネイル画像が表示されます。

3

マルチセレクターの◀または▶を押して、画像を選択します。

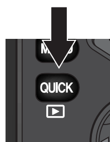
4




▲または▼を押して、削除する画像を設定します。

- 設定した画像には 🗑 が表示されます。手順の3と4を繰り返して、削除する画像を選んでください。
- 画像の選択を取り消すときは、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼を押して、🗑 の表示を消してください。

5





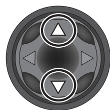
QUICK（クイックレビュー）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。

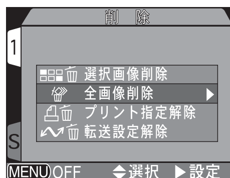
- **いいえ**：選択された画像は削除されません。
- **はい**：　選択された画像がすべて削除されます。

全画像削除

コンパクトフラッシュカード内のすべての画像を削除します。ただし、プロテクト設定または非表示設定されている画像は削除されません。

1





「全画像削除」を選択します。

2





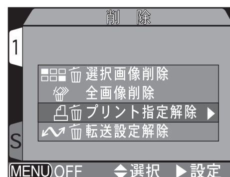
削除確認画面が表示されます。▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。

- **いいえ**：画像は削除されません。
- **はい**：コンパクトフラッシュカード内のすべての画像が削除されます。

プリント指定解除

再生メニューのプリント指定（ 151）の設定を解除します。「プリント指定解除」を選択して、▶を押すと設定が解除されます。

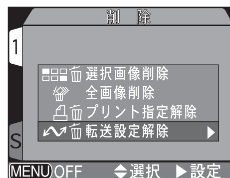




転送設定解除

再生メニューの転送設定（ 153）を解除します。「転送設定解除」を選択し、▶を押すと設定が解除されます。





「プリント指定解除」についてのご注意

プリント指定の解除を実行すると、プリント指定とともに動画にセットされた転送マークも解除されますので、ご注意ください。

✻ フォルダ設定

コンパクトフラッシュカード内の全フォルダ内の画像を再生するか、または個別のフォルダ内の画像を再生するかを設定します（118）。



1





フォルダを選択します。「全てのフォルダ」を選択すると、全てのフォルダ内の画像を再生することができます。

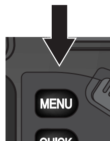
2

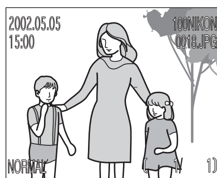




マルチセレクターの▶を押すと、選択が実行され、再生メニュー画面に戻ります。

3





MENU ボタンを押すと、選択したフォルダ内で最後に撮影された画像が表示されます。



UH 連写の撮影画像の再生について

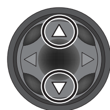
UH連写（98）で撮影された画像は、N_で始まる専用フォルダに記録されます。UH連写で撮影された画像を再生するときは、「全てのフォルダ」を選択するか、N_で始まる専用フォルダを選択してください。

スライドショー

画像を一定間隔で順番に再生するスライドショーを行います（非表示設定された画像は再生されません）。



1

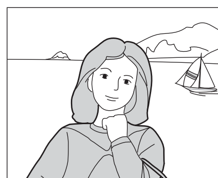




マルチセレクターの▲または▼を押して、「開始」を選択します。

2





▶を押すとスライドショーが開始されます。コンパクトフラッシュカード内の画像が記録された順に 1 コマずつ一定間隔で再生されます。動画は、最初のフレームが静止画再生されます。

オートパワーオフ機能

スライドショーを開始してから、カメラの操作を行わないまま 30 分経過すると、オートパワーオフ機能により液晶モニタが消灯します。

スライドショー終了後

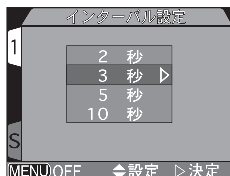
スライドショー終了後は一時停止画面が表示されます。マルチセレクターの◀を押すと再生メニューに、MENU ボタンを押すと再生画面に戻ります。

スライドショーの再生中は次の操作が可能です。

再生メニュー	操作ボタン	内　容
一時停止	QUICK	QUICK ボタンを押すと、スライドショーが一時停止し、一時停止画面が表示されます。スライドショーを再開するには、「再開」を選択して▶押します。
コマ送り／コマ戻し	▲▼◀▶	▼、▶を押すとコマ送り、▲、◀を押すとコマ戻しします。
終了	MENU	MENU ボタンを押すと、スライドショーを終了して再生画面に戻ります。

インターバル設定

スライドショーする画像の1コマごとの表示時間を設定します。一時停止画面で「インターバル設定」を選択し、マルチセレクターの ▶を押すと、右の画面が表示されます。設定する時間を選択し、▶を押して設定します。

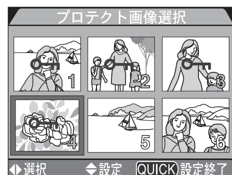



インターバル設定についてのご注意

実際のインターバル設定時間は、画像のファイルサイズやコンパクトフラッシュカードから読み込むスピードによって、設定した時間と異なる場合があります。

プロテクト設定

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を誤って削除しないようにプロテクト（保護）をかける画像を選択します。



1





マルチセレクターの◀または▶を押して、画像を選択します。

2

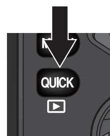


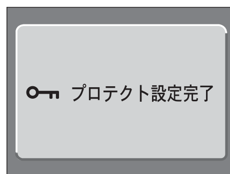


▲または▼を押して、プロテクト設定を行います。

- プロテクト設定された画像には が表示されます。
- 1と2の手順を繰り返し、プロテクトをかける画像すべてを選択します。
- プロテクトを解除する場合は、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼を押して を消してください。

3





QUICK ボタンを押すとプロテクトの設定が実行され、「プロテクト設定完了」の画面が表示されます。

カードフォーマットについてのご注意

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行うとプロテクト設定した画像も削除されますのでご注意ください。

非表示設定

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を、非表示画像選択画面以外では表示されないように個別に設定します。



1





マルチセレクターの◀または▶を押して、画像を選択します。

2

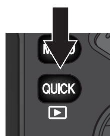




▲または▼を押して、非表示設定を行います。

- 非表示設定された画像には が表示されます。
- 1と2の手順を繰り返し、非表示にする画像すべてを選択します。
- 非表示を解除する場合は、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼を押して を消してください。

3





QUICK ボタンを押すと非表示の設定が実行され､｢非表示設定完了」の画面が表示されます。

カードフォーマットについてのご注意

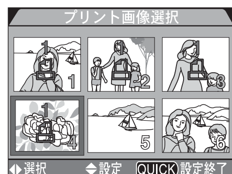
コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行うと非表示設定された画像も削除されますのでご注意ください。

フォルダ内の全ての画像が非表示設定されている場合

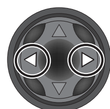
フォルダ内の全ての画像が非表示設定されている場合、再生時に「表示可能な画像がありません」という警告表示が表示されます（168)。

プリント指定

プリントしたい画像を選択し、プリント枚数を指定します。選択した画像には、プリント時に撮影情報（シャッタースピード、絞り値）や撮影日を印字することができます。ここで設定した内容は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）に対応しています。



1

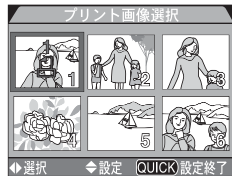




マルチセレクターの◀または▶を押して、画像を選択します。

2





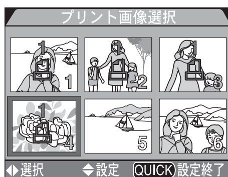
▲を押して、プリント指定を設定します。設定された画像には 🖶 が表示されます。



デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）

「プリント指定」で設定した情報は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）でコンパクトフラッシュカードに保存されます。従来の写真と同様に、デジタルプリントサービス取扱店に依頼するか、DPOF対応プリンタを使用すると、プリント指定した画像をコンパクトフラッシュカードから直接プリントすることができます（ニコンデジタルフォトプリンタ NP-100 は、画像情報、日付機能に対応していません）。

3

マルチセレクターを使ってプリントする枚数を指定します。

- ▲を押すとプリント枚数は増加し（最高９枚）、▼を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が１のときに▼を押してください。
- １～３の手順を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。

4




QUICK ボタンを押すと操作が完了し、プリント指定画面が表示されます。▲または▼を押してプリント時に印字する情報を選択してください。

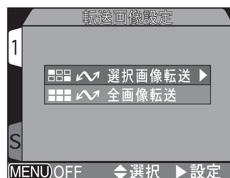
- 選択したすべての画像のシャッタースピードと絞り値をプリントするときは、「撮影情報」を選択して▶を押します。項目の前のボックスにチェックが入ります。
- 選択したすべての画像の撮影日をプリントするときは、「日付」を選択して▶を押します。項目の前のボックスのチェックが入ります。
- 選択した項目のチェックをはずすときは、その項目を選んで▶を押してください。
- プリント指定を終了し、再生メニューに戻るときは、「設定終了」を選んで▶を押します。
- プリント指定を終了し、再生画面に戻る場合は、MENU ボタンを押してください。

プリント指定の解除

一括してプリント指定を解除するときは、「再生メニュー：削除」の「プリント指定解除」( 145)を選択します。

転送画像設定

画像の転送設定を行います。転送設定された画像は転送マーク付きの画像として、付属のNikon Viewソフトウェアを使用したときに一括してパソコンに転送することができます。

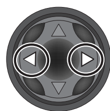


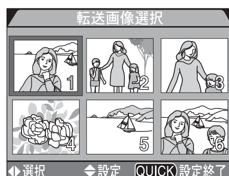
選択画像転送

転送画像設定項目の「選択画像転送」を選択してマルチセレクターの▶を押すと、右のように「転送画像選択」画面に切り換わります。転送する画像の選択は以下の手順で行います。



1

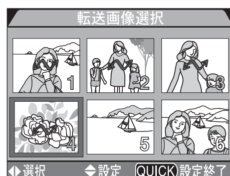




マルチセレクターで画像を選択します。

2

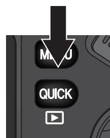




▲または▼を押して、転送設定を行います。

- 転送設定された画像には が表示されます。
- 1と2の手順を繰り返し、転送する画像をすべて選択します。
- 転送を解除する場合は、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼を押して を消してください。

3





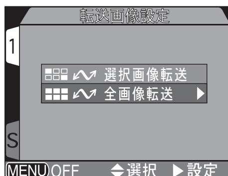
QUICK ボタンを押すと設定完了です。転送画像設定を終了するには、MENU ボタンを押します。

全画像転送

全画像の転送を設定する場合は、次のように行います。

1

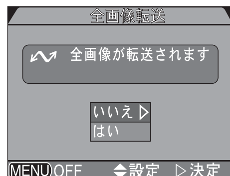




マルチセレクターで「全画像転送」を選択します。

2





転送確認画面が表示されます。▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。

- **いいえ**：画像は転送設定されません。
- **はい**：　全画像が転送設定されます。



全画像転送設定時のご注意

「全画像転送」で一度に転送設定できる画像は999コマまでです。1000コマ以上の画像を一括転送する場合は、Nikon Viewの「ニコントランスファ」の （転送）ボタンをご使用ください。

全画像の転送設定を解除するには

「再生メニュー：削除」の転送設定解除（145）を選択します。

付録

カメラのお手入れ方法、別売アクセサリー、カメラがうまく作動しない場合の対処方法、カメラの仕様などについて説明しています。

別売アクセサリー

COOLPIX5700には次の別売アクセサリーを使用できます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブルバッテリー	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1
ACアダプタ／バッテリーチャージャー	ACアダプタ／バッテリーチャージャーEH-21 ACアダプタ EH-53 バッテリーチャージャー MH-53C（車載用充電器）
バッテリーパック	バッテリーパック MB-E5700
ソフトケース	ソフトケース CS-CP11
PCカードアダプタ	PCカードアダプタ EC-AD1
アダプタリング	アダプタリングUR-E8（WC-E80、TC-E15ED装着時に必要）
コンバータレンズ	COOLPIX5700では、次の2種類のコンバータレンズのみ使用できます。 • ワイドコンバータ WC-E80（0.8倍） • テレコンバータ TC-E15ED（1.5倍）
リモートケーブル	リモートケーブル MC-EU1
レンズフード	レンズフード HR-E5700
スピードライト／スピードライトアクセサリー	ニコンスピードライトSB-80DX・50DX・30・28DX・22s



レンズフード HR-E5700 使用上のご注意

内蔵スピードライト撮影時は、撮影画面の一部に影ができる「ケラレ」を生じますので、必ずレンズフード HR-E5700 を取り外してください。

外付けのニコン製スピードライトについて

COOLPIX5700は外付けのニコンスピードライトを直接装着して、コードレスで自動調光撮影を行うことができるアクセサリシューを備えています(SB-23、27、29 は直接アクセサリーシューに取り付けて使用できません)。内蔵スピードライトでは十分に照明されないときなどに効果的です。このアクセサリシューはセーフティーロック機構（ロック穴）を備えていますので、セーフティロックピン付きのスピードライト（SB-80DX · 30 · 28DX · 28 · 26 · 25 · 22s など）を装着すると、スピードライトが不用意にはずれるのを防止できます。外付けスピードライトの使用方法については、「外付けスピードライトの使用方法」をご覧ください(137)。

使用できるコンパクトフラッシュおよびマイクロドライブ

付属のコンパクトフラッシュカードおよびニコンコンパクトフラッシュカード EC-CF シリーズ以外に、次の他社製カードが動作確認されております。

コンパクトフラッシュカード

- SanDisk 社製：
  SDCFB シリーズ 16MB、32MB、48MB、64MB、96MB、128MB
- LEXAR MEDIA 社製：
  4 × USB シリーズ　8MB、16MB、32MB、48MB、64MB、80MB
  8 × USB シリーズ　8MB、16MB、32MB、48MB、64MB、80MB
  10 × USB シリーズ　128MB、160MB

マイクロドライブ

- IBM 社製：
  DSCM-11000

その他のメーカーのコンパクトフラッシュカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。上記カードの詳細については、各社にご相談ください。

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●お手入れ方法について

手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

保護ガラスや液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固いもので拭くと傷になりますのでご注意ください。

●保管する際には

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーおよび電池を必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安に電池を入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーやACアダプタを取り外すときは必ず電源オフの状態で行ってください

電源オンの状態で、バッテリーの取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記操作は行わないでください。

●液晶モニタと電子ビューファインダーについて

液晶モニタおよび電子ビューファインダーの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。記録される画像には影響はありません。

- 屋外では日差しの加減で液晶モニタおよび電子ビューファインダーが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ画面を強くこすったり、強く押したりしないでください。故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタや電子ビューファインダーの画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ／ファインダー	レンズやファインダーのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようにご注意ください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。
液晶モニタ	ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。
カメラ本体	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水を湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーまたは電池を取り出しておいてください。バッテリーまたは電池を取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることをご確認ください。

カメラを保管するとき、下記のような場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50℃以上、または−10℃以下の場所
- 湿度が 60%をこえる場所

バッテリーの取り扱いについて

●バッテリー使用上のご注意

- バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますので注意してください。
- 残量がなくなったリチャージャブルバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。残量がなくなったリチャージャブルバッテリーは充電してご使用ください。

●撮影の前にリチャージャブルバッテリーをあらかじめ充電する

撮影の際は、リチャージャブルバッテリーを充電してください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

●予備のバッテリーを用意する

撮影の際は、予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時の電池について

バッテリーには一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温で使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の十分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は新しいバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

商標説明

- CompactFlash™（コンパクトフラッシュ）は米国SanDisk社の商標です。
- Microsoft®およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBMはInternational Business Machines Corporationの米国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTimeは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- MMXおよびPentiumは米国インテル社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

インターネットをご利用の方へ

ニコンデジタルカメラの最新情報は、下記のアドレスのホームページ上でご覧いただけます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

故障かな？と思ったら

カメラがうまく作動しない時は、お買い上げの販売店や本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターへお問い合わせする前に、下記の症状と原因をご確認ください。

症　状	原　因	参照ページ
表示パネルに何も映らない	• カメラの電源が入っていません。 • バッテリーが正しい向きで入っていません。またはバッテリーカバーがしっかりと閉まっていません。 • バッテリーが消耗しています。 • AC アダプタが正しく接続されていません。 • カメラがオートパワーオフになっています。DISP ボタンを押すか、シャッターボタンを半押ししてください。	22 14 23 16 24
電源が入ってもすぐ切れる	• バッテリーの残量が少なくなっています。 • 低温下で使用しています。	23 160
液晶モニタに何も映らない	• 撮影画像は電子ビューファインダーに表示され、液晶モニタが消灯しています。[□] ボタンを押して液晶モニタを点灯させてください。 • レンズキャップが装着されています。レンズキャップを取りはずしてください。 • USB ケーブルが接続されています。 • オーディオビデオケーブルが接続されています。 • リモートコードMC-EU1 が接続され、通信待機状態になっています。	9 13 39 44 —
液晶モニタにカメラの撮影情報、画像情報が表示されない	• 撮影情報、画像情報を非表示に設定している可能性があります。DISP ボタンを押して情報を表示してください。 • スライドショーが行われています。	6 147

症　状	原　因	👁
液晶モニタの画面がよく見えない	• 周囲が明るすぎます。電子ビューファインダーを使用するか明るくない場所へ移動してください。 • 液晶モニタの明るさを調整してください。 • 液晶モニタが汚れています。	10 125 158
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • バッテリーが消耗しています。 • 撮影可能コマ数が 0 になっています。コンパクトフラッシュカードに十分な容量がありません。 • AF表示が点滅しています。ピントを合わせることができません。 • スピードライト表示が点滅しています。スピードライトの充電中です。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーに「フォーマットされていません」というメッセージが表示されます：コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX5700用に初期化されていません。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーに「カードが入っていません」というメッセージが表示されます：コンパクトフラッシュカードがカメラに挿入されていません。 • セルフタイマー撮影になっています。	78 23 23 28 28 18 132 17 54
撮影した画像が暗すぎる（露出アンダー）	• スピードライトが発光禁止になっています。 • スピードライトが指などでさえぎられています。 • 被写体がスピードライトの調光範囲外にあります。 • 露出補正がマイナス側にかかりすぎています。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーのシャッタースピード表示が点滅しています。シャッタースピードが速すぎます。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーの絞り値表示が点滅しています。絞りを絞りすぎ（数値が大きすぎ）ています。	57 27 171 61 68 70

症　状	原　因	👁
撮影した画像が明るすぎる（露出オーバー）	• 露出補正がプラス側にかかりすぎています。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーのシャッタースピード表示が点滅しています。シャッタースピードが遅すぎます。 • 液晶モニタまたは電子ビューファインダーの絞り値表示が点滅しています。絞りを開きすぎ（数値が小さすぎ）ています。	61 68 70
ピントが合わない	• シャッターボタンを半押ししたときや AE-L/AF-L ボタンを押したときに、被写体が AF エリア内に入っていません。 • オートフォーカスが苦手な被写体である可能性があります。	53 52
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。シャッタースピードを上げてください。 • シャッタースピードを上げると露出不足の恐れがある場合は： 　• スピードライトを使用してください。 　• 撮像感度を上げてください。 　• 絞りを開放側（小さい数値）に設定してください。 • 低速シャッタースピードでブレを最小に抑えるには： 　• BSS を使用してください。 　• セルフタイマーを使用してください。 　• 三脚を使用してください。	68 57 74 68 100 54 —
画像にノイズが発生する	• 撮像感度が 100 より高感度に設定されています。 • シャッタースピードが遅すぎます。1/30 秒以下の低速シャッタースピードで長時間露出撮影を行う場合はノイズ除去を ON に設定してください。 • クリアイメージモードが設定されていません。クリアイメージモードを設定してください。	74 68 113

症　状	原　因	
内蔵スピードライトが発光しない	• 内蔵スピードライトが発光禁止になっています。 • 内蔵スピードライトが発光しない機能が設定されています： 　• フォーカスモードが ▲（遠景モード）に設定されている場合 　• 連写モードが「単写」以外に設定されている場合 　• 「BSS」が ON に設定されている場合 　• コンバータがOFF以外に設定されている場合 　• 露出固定が ON に設定されている場合 　• クリアイメージモードが設定されている場合 　• 外付けスピードライトが接続されている状態で、「スピードライト：発光切替」がAUTOに設定されている場合 • バッテリーの残量が少ない場合	57 51 98 100 104 105 113 135 23
画像が自然な色合いにならない	• ホワイトバランスが光源と合っていません。 • 彩度調整が適切に設定されていません。	95 103
画像が再生できない	• パソコンや他社製のカメラで、画像が上書き、または名前が変更されました。	—
画像が上下逆に表示される	• UH 連写または動画で対面撮影を行っているか、これらの設定で対面撮影された画像を再生しています。	73 98
テレビに液晶モニタの画面が映らない	• AV ケーブルが正しく接続されていません。 • テレビの入力切換が「ビデオ」になっていません。 • ビデオモードの設定が間違っています。	44 44 141
再生時で画像の拡大表示ができない	• 表示画像が動画です。 • 表示画像が UH 連写の画像です。	81
カメラをパソコンに接続したとき、またはコンパクトフラッシュカードをカードリーダやカードスロットに挿入したときに、Nikon View が自動的に起動しない	• カメラの電源が入っていません。 • ACアダプタが正しく接続されていません。またはバッテリーが消耗しています。 • USBケーブルが正しく接続されていません。またはカードがカードリーダ、PCカードアダプタ、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 Nikon ViewについてはNikon Viewリファレンスマニュアルをご参照ください。	22 23 39 42 36

警告表示について

液晶モニタまたは電子ビューファインダーに下記の警告メッセージ、その他の警告が表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処法をご確認ください。

表　示	原　因	対処法	
◷（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	19
▭（点滅）	バッテリーが消耗しています。	カメラの電源をOFFにして充電済みのバッテリーまたは6Vリチウム電池（2CR5）と交換してください。	23
AF○（AF表示の緑色点滅）	ピントを合わせることができません。	シャッターボタンを半押しして被写体と同じ距離のものにピントを合わせ、そのまま構図を元にもどして撮影してください。	28
SB○（SB表示の赤色点滅）	スピードライトが充電中です。	シャッターボタンから指を離して、もう一度押し直してください。	28

表示パネルに ▭ が点滅している場合は、バッテリーが消耗しています。表示パネルに Card が点滅している場合は、カメラがコンパクトフラッシュカードを認識できないか、コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常もしくはコンパクトフラッシュカードが COOLPIX5700 用にフォーマットされていません。

表　示	原　因	対処法	👁
カードが入っていません	カメラがコンパクトフラッシュカードを認識できません。	カメラの電源を OFF にしてコンパクトフラッシュカードが正しく挿入されていることをご確認ください。	17
このカードは使用できません	コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのコンパクトフラッシュカードをご使用ください。 • カードの端子部分が汚れていないかどうかをご確認ください。 • カメラの電源を OFF にして、再度電源を ON にしてください。再度警告が表示される場合はカードがこわれている可能性がありますので、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターまでご連絡ください。	157 — 22
カードに異常があります			
カード記録中 しばらくおまちください	• 画像の記録中にカメラの電源を OFF にしました。 • 画像の記録中に QUICK ボタンを押しました。 • 画像の記録中にモードセレクターを ▶（再生モード）に切り換えました。	画像記録終了時にメッセージが消えます。	—

表　示	原　因	対処法	👁
フォーマットされていません フォーマットする▷ いいえ	コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX 5700用にフォーマットされていません。	マルチセレクターの▲または▼を押して「フォーマットする」を選択し、▶を押してカードをフォーマットするか、カメラの電源をOFFにしてCOOLPIX5700用にフォーマットされたカードと交換してください。	134
メモリー残量がありません	画像を記録する空き容量がありません。	• 画質モード、または画像サイズを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 新しいカードと交換してください。	46 143 17
	プリント指定情報または転送画像設定情報を書き込む空き容量がありません。	不要な画像を削除して再度設定してください。	33 143 151 153
画像を登録できません	• コンパクトフラッシュカードのフォーマットが異なります。 • 画像の保存中にエラーが発生しました。 • フォルダ、またはファイル番号のオーバーフローです。	• コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 • 新しいカードを挿入するか、カードをフォーマットしてから連番モードをオフまたはリセットにセットしてください。	134 132

表　示	原　因	対処法	👁
撮影画像がありません	• コンパクトフラッシュカードに撮影された画像が入っていません。 • レビュー再生または再生モード時、選択されているフォルダに画像が入っていません 。	• 撮影モードに戻り、撮影してください。 • 画像を再生するために、再生メニューの「フォルダ設定」で画像が入ったフォルダを選択してください。	28 31 146
表示可能な 画像がありません	選択されているフォルダ内の画像が全て非表示設定されています。	他のフォルダを選択するか、「非表示設定」メニューでフォルダ内の画像の非表示設定を解除してください。	146 150
このファイルは 表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイル（画像）です。	ファイル(画像)を削除するか、コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。	121 134
フォルダの削除が できません	フォルダ内に、非表示設定またはプロテクト設定された画像があるか、もしくはCOOLPIX5700以外で作成された画像が入っています。	• パソコンや他社製のカメラでファイルが上書きされた場合はファイルを削除するか、コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 • 非表示設定またはプロテクト設定された画像がある場合は、設定を解除してください。	121 134 149 150

表　示	原　因	対処法	👁
レンズエラー	レンズの作動不良です。	カメラの電源をOFFにしてください。レンズエラー表示が続く場合は、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターまでご連絡ください。	22
システムエラー ※表示パネルにはErrが表示されます。	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにして、バッテリーを取り出します（ACアダプタを使用している場合はACアダプタを外します）。再度バッテリーを入れるか、ACアダプタを使用して、カメラの電源をONにします。この操作の後もシステムエラー表示が続く場合は、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターまでご連絡ください。	14 16 22
スピードライトがポップアップしていません	被写体が暗いと自動的に上がるスピードライトを、指で押さえています。	スピードライトから指を離して、再度シャッターボタンを半押ししてください。	27

主な仕様

型式	ニコンデジタルカメラ E5700
有効画素数	5.0 メガピクセル
撮像素子	2/3 型高密度 CCD 総画素数：5.24 メガピクセル
記録画素数	• 2560 × 1920 (FULL) • 2560 × 1704 (3 : 2) • 1600 × 1200 (UXGA) • 1280 × 960 (SXGA) • 1024 × 768 (XGA) • 640 × 480 (VGA)
レンズ	8 倍ズームニッコールレンズ
焦点距離	f = 8.9 ～ 71.2 mm （35mm 判換算 35 ～ 280mm）
絞り	F2.8 ～ 4.2
レンズ構成	10 群 14 枚
電子ズーム	4.0 倍
オートフォーカス	コントラスト検出方式TTL AF、マルチエリアオートフォーカス可能
撮影距離	50cm ～∞（マクロモード・マニュアルフォーカス時はレンズ前約 3cm［ズームのミドルポジション］～∞）
AF エリア	5ヶ所、自動選択／手動選択切り換え可能
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー、0.44 型高温ポリシリコン TFT 液晶、180,000 画素、視度調節機能付き
倍率	約 0.27 ～約 2.1 倍
視野率	上下左右とも約 97%（対実画面）
視度調節機能	$-4 \sim +1 m^{-1}$
液晶モニタ	1.5型低温ポリシリコンTFT液晶、110,000画素、輝度調整・色調調整可能
視野率	上下左右とも約 97%（対実画面）

記録形式

記録媒体	コンパクトフラッシュカード(Type I/II)、マイクロドライブ(1GB)
画像ファイル	Design rule for Camera File system (DCF)、Exif2.2準拠、Digital Print Order Format (DPOF) 準拠
ファイル形式	圧縮:JPEG-baseline 準拠 FINE (約1/4)、NORMAL (約1/8)、BASIC (約1/16) 非圧縮:RAW (NEF)、HI (TIFF-RGB) 動画:Quick Time

露出

測光方式	4モードTTL測光方式 • 256分割マルチ測光 • スポット測光 • 中央部重点測光 • AFスポット測光
露出制御	プログラムオート(プログラムシフト可能)、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、露出補正(−2.0〜+2.0 EV、1/3 EVステップ)、オートブラケティング
露出連動範囲(ISO100換算)	EV −2.0〜18.0(広角側)、EV −0.5〜18.0(望遠側)

シャッター	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッタースピード	8〜1/4000秒、露出モードMに設定時、最大5分までの長時間露出(BULB)可能
絞り	7枚羽根虹彩絞り
絞りステップ数	10段階、1/3 EVステップ
撮像感度	ISO100相当、感度切り換え可能(オート、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800相当)
セルフタイマー	約10秒、約3秒から選択可能

内蔵スピードライト

調光範囲	W:約0.5m〜約4m T :約0.5m〜約2.8m
調光方式	自動調光制御

アクセサリーシュー	ホットシュー接点、セーフティロック機構付き
シンクロ接点	X 接点のみ
使用可能なスピードライト	Nikon SB-80DX、50DX、30、28DX、28、26、25、24、22s、22
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PAL から選択可能
入出力端子	• DC 入力端子 • オーディオビデオ出力端子 • デジタル端子（USB）
電源	• Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL 1（付属）、6V リチウム電池 2CR5（DL245）（別売） • バッテリーパック MB-E5700（別売）［単３形アルカリ、リチウム、ニカド、ニッケル水素電池各 6 本使用］ • AC アダプタ EH-53、AC アダプタ／バッテリーチャージャー EH-21（別売）
連続撮影時間	約 90 分（当社試験条件による［液晶モニタ点灯時、撮影ごとにズーム操作、約３割のスピードライト撮影、FULL、NORMAL モード］）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
大きさ (W × H × D)	108 × 76 × 102mm
質量（重さ）	約480g（バッテリー、コンパクトフラッシュカードを除く）
使用条件	
温度	0 ～ 40℃
湿度	85% 以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温(20℃)、同梱専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1 をフル充電で使用時のものです。
- 電池の使用期間は、電池の種類および使用状況により異なりますのでご注意ください。電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により電池性能に差があるため、撮影時間が短い場合があります。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 使用説明書の誤りになどについての補償はご容赦ください。

Nikon View 動作環境

Windows

OS	Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition (Me)、Windows 98 Second Edition (SE)、Windows 98※プリインストールモデル、標準装備されたUSB ポートのみ対応 ※ Windows 98 は一部の機能に制限があります。
CPU	Pentium 300 MHz 以上
RAM	RAW 画像を扱う場合：128MB 以上の空き容量 RAW 画像を扱わない場合：64MB 以上の空き容量
ハードディスク	Nikon Viewインストール時に60MB以上の空き容量 Nikon View 動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍＋10MB以上の空き容量（起動ディスク）
解像度	800 × 600、16 bit カラー以上
その他	インストール時に CD-ROM ドライブが必要

Macintosh

OS	Mac OS 9.0～9.2、Mac OS X（version 10.1.2～10.2）対応
機種	iMac、iMac DV、Power Macintosh G3（Blue & White)、Power Mac G4以降、iBook、PowerBook G3 以降、標準装備されたUSB ポートのみ対応
RAM	RAW 画像を扱う場合：128MB 以上の空き容量 RAW 画像を扱わない場合：64MB 以上の空き容量
ハードディスク	Nikon Viewインストール時に60MB以上の空き容量 Nikon View 動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍＋10MB以上の空き容量（起動ディスク）
解像度	800 × 600、16 bit カラー以上
その他	インストール時に CD-ROM ドライブが必要

索引

記号・英数

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

カスタマーサポートについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら下記のニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

ニコンカスタマーサポートセンター



TEL 0570 - 02 - 8000

受付時間：祝日を除く月〜金（9：30 〜 18：00）

＊このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

- お電話は、市内通話料金でご利用いただけます。
- 全国共通電話番号「0570 - 02 - 8000」にお電話いただき、音声によるご案内にしたがってご利用の製品グループ窓口の番号を入力していただければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせていただきます。
- 携帯電話、PHS 等をご利用のお客様は、**03 - 5977 - 7033** におかけください。
- FAX でのご相談は、**03 - 5977 - 7499** におかけください。

■お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■製品の修理に関するお問い合わせは

ニコンカメラ販売株式会社　サービス部

〒 140 - 8601　東京都品川区西大井 1 - 6 - 3

TEL　03 - 3773 - 2221　受付時間：祝日を除く月〜金（9：00 〜 17：45）

＊ このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

＊ サービス部では、修理品の直接受け付けならびに受け渡しに関する業務は行っておりません。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL:0570-02-8000　　FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：		年	月	日
お買い上げ年月日：		年	月	日
製品名：	シリアル番号：			
フリガナ お名前：				
連絡先ご住所：□自宅　□会社 〒 TEL： FAX：				
ご使用のパソコンの機種名： メモリ容量：　　ハードディスクの空き容量： OS のバージョン：　　ご使用のインターフェースカード名： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン：				
問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。）				

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

Nikon

■技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞



0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号「0570-02-8000」にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間 9:30～18:00（土・日曜日・祝日を除く毎日）

・このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033**におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499**におかけください。

株式会社 **ニコン**
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
SB3D01000401(10)
6MAA2010-A